

『戦旗』 総目次

編集：竹内 栄美子

第1版：2026年3月17日

出典：『戦旗 別巻(資料編)』（1977年6月10日発行、戦旗復刻版刊行会）および『戦旗』復刻版目次による

著者名	タイトル	ページ	ジャンル
1928年5月号（第1巻第1号――5月5日発行）			
〔広瀬宏〕			表紙
〔鈴木賢二〕		P. 5～5	〔扉・詩と画〕
全日本無産者芸術聯盟	日本プロレタリア芸術聯盟 前衛芸術家同盟合同に関する声明	P. 6～7	
中野重治	文芸戦線は何処に門を開くか？ ――その「正統左翼主義」とは何か？――	P. 8～13	
蔵原惟人	プロレタリア・レアリズムへの道	P. 14～20	
李北満	朝鮮に於ける無産階級芸術運動の過去と現在（二） ――プロレタリア芸術四月号より続く――	P. 21～25	
森山啓	四月の作品その他	P. 26～29	
上野壮夫	一度に立ち上るんだ！	P. 30～31	
	メーデー写真集	P. 32～34	
鹿地亘	或る手帖から	P. 35～40	メーデーを迎ふ
小川信一	メーデーの歴史	P. 40～43	メーデーを迎ふ
李北満	メーデーを迎へるに際して	P. 43～44	メーデーを迎ふ
星川周太郎	メーデー最初の犠牲者	P. 35～40	メーデーを迎ふ
李炳燦	メーデーは近づいた	P. 40～44	メーデーを迎ふ
仁木二郎	メーデー	P. 44～44	メーデーを迎ふ
東京プロレタリア音楽家同盟 訳編	ワルシヤワ労働者の歌	P. 45～45	

中野 山田 川口浩 永田一修*〔脩〕 *修=ママ	前哨線	P. 46~47	
全日本無産者芸術聯盟	第2回プロレタリア芸術祭	P. 48~49	
エス・マルゴリン (吉田好正訳)	モスコー プロレットカルト劇場	P. 50~55	
大月源二	国難来る!	P. 56~56	漫画
鈴木賢二	野田の兄弟よ! 飽くまで戦へ!	P. 57~57	漫画
竹本賢三	世界から武器を葬れ!	P. 58~58	漫画
広瀬宏	支那ブルジョアジーは没落する	P. 59~59	漫画
松山文雄	飼犬横行	P. 60~60	漫画
	〔写真〕 最近のゴリキー	P. 61~61	
大滝友二	プロレタリアの子守唄	P. 62~62	詩
波立一	五月一日	P. 63~63	詩
仁木二郎	広場よりレーマーデーに捧ぐ	P. 64~65	詩
三川秀夫	蠟燭の焰	P. 65~66	詩
上野壮夫	五月一日だけ、兄弟!	P. 67~68	詩
藤森成吉	放す	P. 69~72	創作
江馬修	黒人の兄弟	P. 73~92	創作
山田清三郎	出世——聯編「巷に喘ぐ人々」の中	P. 93~104	創作
西沢隆二	街(二)	P. 105~112	創作
立野信之	軍隊病	P. 113~123	創作
森山啓	火	P. 124~137	創作
ア・ファチエーエフ (蔵原惟人訳)	特別連載 壊滅(三) —— 「前衛」4月号より続く	P. 138~155	創作
戦旗編輯局	編輯後記	P. 156~156	

1928年6月号 (第1巻第2号——6月1日発行)

〔木部正行〕

〔表紙・画〕

〔広瀬宏〕			〔扉〕
	支那に於ける白色テロの犠牲者を救へ！	P. 6～6	〔写真〕
	こんな目に合ふのが当然と云ふのか！	P. 7～7	〔写真〕
全日本無産者芸術聯盟	逼迫せる帝国主義××の危機を戦へ！	P. 8～9	
佐田孝之助	〔漫画〕 『兵卒』	P. 10～10	
小川信一	支那の同志へ	P. 11～13	
藤枝丈夫	禁戦区域	P. 13～14	
鹿地亘	何の為に武器を取るか	P. 14～15	
中野重治	いはゆる芸術の大衆化論の誤りについて	P. 16～22	
森山啓	プロレタリア詩に就いて	P. 23～28	
佐々元十	玩具・武器――撮影機	P. 29～33	
王独清（山口慎一訳）	故国よ、私は帰つて来た	P. 34～37	
能勢行蔵	馬場先門まで	P. 38～41	メーデーに参加して
平野衛	旗を振る！	P. 41～42	メーデーに参加して
上野壮夫	進行する列の中に	P. 42～44	メーデーに参加して
山田清三郎	感想と散文詩と	P. 44～47	メーデーに参加して
ケルジエンツエフ（杉本良吉訳）	サヴェート・ロシアの農民劇場	P. 48～52	
波立一	〔漫画〕 囚はれた同志	P. 53～53	
鹿地 壺井 佐々木	前哨線	P. 54～55	
頼勇吉	商人を喰ふ	P. 56～58	随筆・感想
金風菊	固き握手の下に	P. 58～60	随筆・感想
片岡鉄兵	青野氏・小堀氏	P. 60～60	随筆・感想
西沢隆二	ブツクレビウー 『プロレタリア詩集一九二八年版』	P. 61～61	
白須孝輔	わしの倅は殺されたのだ！――四月貳拾七日の時事新報を読み	P. 62～64	詩
狭間二郎	畜生つ！――女工夫の日記の一部	P. 64～65	詩
上田進	一九七一・三・一八の巴里――叙事詩「巴里コムミュン」第一章	P. 65～67	詩
緒方貞翁	台湾の兄弟へ	P. 68～68	詩

長谷川進	とび魚運搬船	P. 68～70	詩
村田憲	〔漫画〕 かう握りや強いもんだぜ、兄弟！	P. 71～71	
杉本良吉	左翼劇場第一回公演を了へて	P. 72～73	
	全日本無産者芸術聯盟創立大会の記	P. 72～76	
鹿地亘	山梨より	P. 74～75	山梨地方文芸講演会の記
壺井繁治	一里のデモ	P. 75～76	山梨地方文芸講演会の記
木部正行	〔漫画〕 『待て！ 待たねえか！』	P. 77～77	
西沢隆二	東亜工業の争議応援 鬼タビの家族懇談会	P. 78～81	移動劇場
	〔写真〕 プロレタリア芸術祭は行はれつゝある	P. 82～82	
	我等の闘争歌 青年××団	P. 84～84	
左翼芸術同盟	左翼芸術同盟解体に関する声明	P. 85～85	
闘争芸術聯盟	闘争芸術聯盟解体声明書	P. 85～85	
志村和夫	〔漫画〕 田中義一像	P. 86～86	
田口憲一	(ブツク・レビウー) 『プロレタリア文学論』を読む	P. 87～87	
立野信之	赤い空	P. 88～100	創作
大森二郎	三月十八日	P. 101～115	創作
松隈研二	露台へ！	P. 116～124	創作
明石鉄也	冬眠	P. 125～133	創作
久板栄二郎	父 5場 メーデ記念・プロレタリア芸術祭左翼劇場上演台本	P. 134～160	創作
ア・ファチエーエフ (蔵原惟人訳)	特別連載 壊滅(四)	P. 161～169	創作
『戦旗』編輯局	編輯後記	P. 170～170	

1928年7月号 (第1巻第3号—7月1日発行)

〔海老原一郎〕	〔表紙・画〕		
	〔扉〕〔画 広瀬宏〕		
モール	〔漫画〕 軍閥的反革命或はパリスの審判	P. 6～7	
川口浩	闘争に輝く R・F・Bの歴史	P. 8～13	

アンリ・バルビュス (植村貞訳)	フアシストの暴虐に関してイタリー大使に与ふ	P. 13~20	
全日本無産者芸術聯盟本部	見よ！この狂暴——聯盟員の不当検束拘留について	P. 20~21	
高井安太郎 高松 A 君 東京 T 君 東京 I 君 東京 O 君 東京 T 君 東京 H 君 東京 K 君 東京 N 君 東京 I 君	鉄窓裡の同志より	P. 8~21	
鹿地亘	小市民性の跳梁に抗して	P. 22~32	
藤森成吉	此の報道	P. 33~33	
壺井繁治	正宗白鳥のニヒリズムに就いて	P. 34~40	
上田進	六月創作批評	P. 41~45	
山田清三郎	支那の二作家を訪れて	P. 46~47	
藤枝丈夫	中国の新興文芸運動	P. 47~48	
秋田雨雀	モスクワの国際婦人会	P. 49~51	
佐々木孝丸	ジャン・ジヨレスを憶ふ	P. 52~55	七月の歴史
小川信一	七月の思ひ出	P. 56~59	七月の歴史
佐々木 平野 大月 森山 猪野	前哨線	P. 60~61	
藤森成吉	演説	P. 62~63	随筆・感想
江馬修	京都から	P. 63~67	随筆・感想
星川周太郎	勤人	P. 67~69	随筆・感想
三川秀夫	立禁に直面して	P. 69~70	随筆・感想
小川信一	ブツクレビウ「新選藤森成吉集」	P. 71~71	
川越篤	〔漫画〕 治維法緊急勅令	P. 72~72	
三好十郎	棺の後ろから	P. 73~76	詩
吉田薛俊	搾取機	P. 76~77	詩
上野壮夫	戦争へ！	P. 77~79	詩
秀島武	汽車の中で	P. 79~80	詩

西沢隆二	沖電気大崎分会家族懇談会 無産者新聞読者懇談会 東海道争議 応援	P. 81~83	移動劇場
「ナツプ」音楽部	移動合唱団に就いて	P. 82~83	移動劇場
永田一脩	プロレタリア美術展移動展覧会並に造形のプチ・ブル性を排撃す	P. 84~87	
(ママ) 高木新〔進〕二	文芸講演会—芸術祭、五・一一、日誌の断片	P. 87~88	
佐渡俊一	大阪の芸術運動近勢	P. 88~90	
	大阪公演記	P. 90~91	
西本喬	留置場に壁新聞	P. 91~91	
川口浩	最近の支那事情 北支那をめぐる戦渦	P. 92~98	
山田清三郎	(ブツクレビュー) 戦争ニ対スル戦争	P. 99~99	
窪川いね子	彼女等の会話	P. 100~107	創作
本庄陸男	移住する彼の家	P. 108~117	創作
西沢隆二	街 (三)	P. 118~125	創作
猪野省三	童話 鎌	P. 126~134	創作
ア・フアヂエーエフ (蔵原惟人訳)	特別連載 壊滅 (五)	P. 135~147	創作
千田是也	独逸の労働者演劇に関する覚書 1 労働者煽動の為の演劇に就いて (翻訳) 2 煽動の為の演芸会に関する二三の实际的暗示 (翻訳) 3 伯林でみたこの種の催し物の印象	P. 148~174	
戦旗編輯局	編輯後記	P. 175~175	

1928年8月号 (第1巻第4号—8月1日発行)

〔鈴木賢二〕	〔表紙〕		
	〔扉〕		
「ナツプ」東京支部音楽部作曲	我らの闘争歌 葬式の歌—黒き嵐は	P. 6~7	
	〔写真〕 ゴリキイを迎えるソビエートの同志	P. 8~8	
江馬修	甲板船客	P. 8~22	

中野重治	春さきの風	P. 23～32	
片岡鉄兵	夫婦――シナリオ断片	P. 33～39	
三好十郎	疵だらけのお秋（四幕）	P. 40～53	
ワルテル・トロツペンツ （左翼劇場訳編）	白蟻（一幕五部）――工場細×新聞宣伝劇	P. 54～70	
山田清三郎	一九一八年八月――米騒動の追憶	P. 72～74	八月の追憶
中野正人	神戸の米騒動追憶――鈴木焼打	P. 74～76	八月の追憶
鈴木賢二	〔漫画〕 無産大衆党――日和見	P. 77～77	
蔵原惟人	芸術運動当面の緊急問題	P. 78～85	
上野壮夫	文芸時評	P. 86～91	
波立一	毒草	P. 92～95	
三好十郎	山東へやつた手紙	P. 96～97	
長谷川進	労働する女たちよ	P. 98～101	
森山啓	年寄つた水夫	P. 102～105	
西沢隆二	プロレタリア詩に関する断片	P. 106～108	
上田進	（ブックレビウ） 労農詩集第一輯	P. 109～109	
本荘可宗	「意識」批判主義の排撃	P. 110～114	
平野衛	「戦争に対する戦争」出版記念	P. 115～115	
壺井 永田 山下 中野重治	前哨線	P. 116～117	
佐々本十	移動映画隊	P. 118～124	
平野衛	（ブック・レビウ） 検束・拘留・押収・搜索と如何に闘ふべきか	P. 125～125	
槇本楠郎（木内敬画）	童話 二匹の狼	P. 126～132	
大月源二	〔画〕 「囚人運動」（習作）	P. 134～134	
壺井繁治	市ヶ谷雑記	P. 134～136	
西沢隆二	残された家族と家族への手紙	P. 136～141	
立野信之	百姓について	P. 142～144	随筆・感想
金浩永	大塚君の死の前後――同君の一周忌に際して	P. 144～147	随筆・感想
秋田雨雀	ソビエツトの農村生活	P. 147～149	随筆・感想

北海道××聯隊一等卒	〔カット〕 将校当番	P. 150～150	詩
鳴田好夫	妹よ	P. 150～150	詩
赤尾カンジ	俺は再び劔をもつて立つ	P. 150～151	詩
失名氏	失題	P. 151～152	詩
北野秀雄	東九条——京都からのレポート	P. 152～152	詩
橋本一彦	断れ	P. 152～152	詩
K S 生	少年雑誌へ進出せよ！	P. 153～153	戦列からの叫び
針尾島麟郎	追放から追放へ	P. 153～153	戦列からの叫び
箕浦光子 左昌雄 花藤要之 輔 中井一夫 横野富三郎	救援金に	P. 153～154	戦列からの叫び
J・O生	壺井氏へ	P. 154～154	戦列からの叫び
岸田光男	この暴圧！！	P. 154～154	戦列からの叫び
	〔写真〕 ペテルスブルグの最後	P. 155～155	
在ベルリン 太田三郎	「ペテルスブルグの最後」	P. 156～167	
ア・ルナチヤルスキイ (辻恆彦訳)	ロシアの映画プロダクションの道	P. 167～169	
『戦旗』編輯局	編輯後記		

1928年9月号（第1巻第5号——9月1日発行）

〔海老原一郎〕	〔表紙〕 〔写真 傾聴 マツカン〕		
鈴木賢二	〔カット〕 ××された老人の顔		
	〔扉〕 〔写真〕 “用意はいゝか”“いゝとも”——ピオニールの合言葉	P. 5～5	
	〔写真〕 国際無産青年デーと英国炭坑総罷業	P. 6～7	
	〔写真〕 ゴリキイを迎えるソビエートの同志	P. 8～8	創作
林房雄	密偵	P. 8～28	創作
橋本英吉	少年工の希ひ	P. 29～36	創作
三好十郎	疵だらけのお秋（承前）	P. 37～43	創作
村山知義	父と娘	P. 44～53	創作

大森二郎	橋と飴屋	P. 54~77	創作
壺井繁治	十五円五十銭	P. 78~82	震災追想記
越中谷利一	戒厳令と兵卒	P. 83~86	震災追想記
能勢行蔵	九月十六日	P. 86~88	震災追想記
目黒生	(ママ) 〔漫画〕 満蒙ニ於ける彼奴等!	P. 89~89	
中野重治	問題の捩じ戻しとそれに就いての意見	P. 90~99	
森山啓	再び詩に関して	P. 100~109	
エ・ブリンコフ	憤怒に燃えた地—おやぢレーニンの遭難	P. 110~113	
ア・ルナチヤルスキイ (蔵原惟人訳)	マルクス主義文芸批評の任務に関するテーゼ	P. 114~125	
壺井 上野 山田 K・K 山田	前哨線	P. 126~127	
佐野碩	『巡洋艦ザリヤー』に就いて—演出者の覚書	P. 128~138	
庵原穎介	(ブツク・レビウ) シンクレアの『スパイ』	P. 139~139	
久板栄二郎	一週年記念の芝浦争議	P. 140~143	ストライキの九月
佐倉啄二	岡谷の争議	P. 144~146	ストライキの九月
山田清三郎	北九州の炭礦争議—大正七年九月	P. 147~149	ストライキの九月
広瀬宏	〔漫画〕 対満蒙政策	P. 149~149	
布施辰治	検閲制度といかに戦ふべきか	P. 150~152	
名古屋刑務所内 高××太郎	鉄窓から	P. 150~156	追放と囚はれの同志
李北満	追放	P. 152~155	追放と囚はれの同志
秀島武	(ママ) 九洲からの手紙	P. 155~156	追放と囚はれの同志
	無産大衆党とは何ものか?	P. 158~159	
北海道××聯隊一等卒	〔カット〕 将校当番	P. 160~160	詩
真殿正好	死ぬ友に—メーデーの日の事	P. 160~160	詩
三村無根広	一体それは何の為だ	P. 160~162	詩
疋泰介	よく俺んこの家族を見てくれ	P. 162~162	詩

	〔写真〕 詩人ヨハネス・R・ベツヒエルの肖像 ル・メルテンの 「詩人と裁判官」の原稿と署名	P. 163～163	特別附録
ル・メルテン（津代堯一訳）	詩人と裁判官	P. 164～165	特別附録
千田是也	詩人よ、いつわれ！！――ヨハネス・R・ベツヒエルの裁判事件	P. 166～180	特別附録
「戦旗」編輯局	編輯後記	P. 181～181	

1928年10月号（第1巻第6号――10月1日発行）

〔柳瀬正夢〕	〔表紙〕		
	〔写真〕 労農ロシアの農婦		
	〔扉〕 〔写真 コミンテルン黒人代表〕		
	〔写真〕 追放されし同志を迎へて！〔ハンガリーの同志ベラクン独 乙の同志マクスヘリツ〕		
〔大月源二〕	〔カット〕	P. 8	
藤森成吉	草間中尉	P. 8～12	創作六篇 小説
上野壮夫	燻る	P. 13～28	創作六篇 小説
久板栄二郎	旗（一幕）――移動劇場用脚本	P. 29～38	創作六篇 戯曲
三好十郎	疵だらけのお秋（四幕）（3）	P. 39～47	創作六篇 戯曲
立野信之	豪雨	P. 48～63	創作六篇 小説
山田清三郎	ある演説会	P. 64～72	創作六篇 小説
	〔写真と文〕 不戦条約と労農大衆	P. 73～73	
小川信一	十月の歴史 ハンガリー革命	P. 74～77	
蔵原惟人	芸術運動に於ける左翼清算主義――再びプロレタリア芸術運動に対す る中野・鹿地両君の所論に就いて	P. 78～92	
壺井繁治	文芸時評	P. 93～97	
林房雄	プロレタリア大衆文学の問題	P. 98～104	
京都刑務所 大××一郎	同志の手紙	P.104	
ナツプ常任中央委員会	論争の方法に関する意見書	P. 105～105	
中野重治	夜苺の思ひ出	P. 106～107	詩

波立一	檻の中	P. 107~107	詩
松田解子	坑内の娘 母よ!	P. 108~109	詩
白須孝輔	戦争は なにも残してくれなかったー或る少女の手記	P. 109~111	詩
宮本喜久雄	独房 眼には眼を! 勲章	P. 111~112	詩
森山啓	河	P. 112~113	詩
鹿地 山田 中野	前哨線	P. 114~115	
目黒生 島崎蕨助 大月源二	二科展合評	P. 116~118	
権田原松造	「生きた新聞」の実例	P. 120~125	読物
杉本良吉	労農ロシアの倶楽部演劇その他	P. 126~132	読物
関東出版労働組合 鈴木千代	中間派幹部の裏切	P. 133~135	
マルセル・マルチネ (佐野碩)	屍	P. 136~143	詩
佐々木孝丸	憎まれ役ドウゼルジンスキイ	P. 144~147	革命家列伝
N A P F 全日本無産者芸術聯盟	ヨハネス・R・ベツヒエルに関するヒンデンプルグ共和国ライプチヒ 聯邦裁判所への抗議書	P. 148~149	
平野泰三	後でまた逢はうぜ	P.150	詩
高木進二	鼻緒たての阿母	P.150	詩
片泰介	溜息	P.151	詩
野中一美	感謝と歓喜	P.152	戦列から
奥村勇一	二三の叫び	P.152	戦列から
島中一夫	俺達の希望	P.153	戦列から
大森猛夫	苦言二三	P.153	戦列から
森島潔	関東の山中から	P.154	戦列から
熊本 一労働者	九月号を読んで	P.154	戦列から
	〔写真〕「正直な兵卒シユウエイク」の死体収容所の場面とジムラン (ママ) トに紛したツオバーピール	P.155	特別附録
千田是也	ドイツの労働者演劇に関する覚え書 その2	P. 156~171	特別附録

柳瀬正夢	狂犬に噛まれる (挿絵五枚)	P. 172~186	特別附録
「戦旗」編輯局	編輯後記	P. 187~187	
	維持員募集	P. 191~191	

1928年11月号 (第1巻第7号—11月1日発行)

永〔永田一脩〕	〔表紙〕		
	〔扉〕〔写真 レーニンと11月7日〕		
	犇めく脅威より、労働者農民の国を守る	P.6	〔グラフ〕
	建設の道を歩む労働者・農民・兵士!	P.8	〔グラフ〕
	我らの闘争歌—十一月の暦から 自由ロシア讃歌	P.10	〔グラフ〕
〔大月源二〕	〔カット〕	P.12	
片岡鉄兵	ある経験	P. 12~14	小説
西沢隆二	お加代	P. 15~28	小説
三好十郎	疵だらけのお秋 (四幕) (4)	P. 29~40	戯曲
本庄陸男	過剰なる弟達	P. 41~54	小説
小林多喜二	一九二八年三月十五日(一)	P. 55~72	小説
伊丹美代治	西光万吉さんを思ふ	P. 73~73	
秋田雨雀	十週年記念祭前後	P. 74~78	十一月の暦から
茂森唯士	十月記念祭と××の諸段階	P. 79~81	十一月の暦から
山田清三郎	日本最初の記念祭	P. 82~83	十一月の暦から
金親清	忘れられてゐた記念日—十一月七日のK開墾	P. 84~86	十一月の暦から
関次郎	ソウエツト十週年記念の催	P. 87~87	十一月の暦から
中野重治	解決された問題と新しい仕事	P. 88~95	
村山知義	プロレタリア・テーマ美術について	P. 96~104	
大月源二	〔画〕 留置場の一隅	P. 105~105	
永田一脩	プロレタリア美術運動に於ける二つの傾向に就いて	P. 106~110	
全日本無産者芸術聯盟造形美術家協会	A Rの共同闘争	P.110	
宇野圭	〔漫画〕 階級裁判に抗議しろ!	P. 111~111	

中野 壺井 山田 蔵原 支	漫画 前哨線	P. 112~113	
	〔写真〕 プロパガンダの合間に読書に耽ける農村のオルガナイザー	P.114	
狭間二郎	一女工より	P. 114~115	詩
森山啓	港町	P. 116~116	詩
波立一	運勢	P. 117~117	詩
長谷川進	職場大会へ	P. 118~119	詩
仁木二郎	兄弟	P. 120~121	詩
	1 左翼劇場第二回公演を了へて	P. 122~123	無産者新聞防衛のための催 ――演劇と文芸と美術
	2 文芸講演会	P.123	無産者新聞防衛のための催 ――演劇と文芸と美術
須山計一	3 移動美術展記――青森地方	P.124	無産者新聞防衛のための催 ――演劇と文芸と美術
杉本良吉	マックス・ヘルツの手記	P. 126~130	革命家列伝(2)
名古屋 村井光枝	旧プロ芸 高井安太郎君 飯田治三郎君	P. 131~131	
全日本無産者芸術聯盟	第3回プロレタリア芸術祭	P. 132~133	
全日本無産者芸術聯盟福岡支部	渡辺憲治君	P.136	
	〔写真〕 プロ芸第一回全国大会に於ける古藤龍介君(福岡刑務所)	P.137	
柳瀬正夢	〔漫画〕 労働者農民の国を×〔守〕れ!	P. 134~134	
大月源二	帝展批判――主として第二部に関して	P.138	
米沢 金子泉	同志諸兄	P.144	戦列から
鎌倉 橋本一彦	××一言	P.144	戦列から
豊原 丸一恒雄	樺太から	P.145	戦列から
桐生 一中学生	学窓より	P.146	戦列から
東京 関口小六	作家に	P.147	戦列から
大阪 永田静三	救援金を送る	P.147	戦列から
白須孝輔	二十八日目で一人を	P.144	

セルゲイ・マラシュキン (広岡延夫訳)	労働者	P.148	
	〔写真〕 労働者に扮してゐるレーニン	P.148	
大月源二	〔画〕 苦力	P.159	特別附録
支健二	支那 上海印象記――挿絵二葉	P.160	特別附録
金英根 (李北満訳)	支那読物 苦力 (小説)	P.169	特別附録
柳瀬正夢	狂犬に噛まれる――2―― (挿絵四枚)	P.178	特別附録
公判公開要求聯盟	共産党事件公判を公開せよ!	P.187	
「戦旗」編輯局	編輯後記	P. 188～188	
	漫画 維持員募集	P. 200～200	

1928年12月号 (第1巻第8号――12月1日発行)

永〔永田一脩〕	〔表紙〕		
	〔写真〕 農村のボリシエヴィキら		
	〔扉〕 〔写真〕 一九二九年にそなへよ!		
	七転び八起しつゝ、歴史の歯車を廻す支那民衆ら!	P. 7～6	〔グラフ〕
	ある日の同志ら	P. 9～8	〔グラフ〕
小林多喜二	一九二八年三月一五日(二) ^(ママ)	P. 10～43	小説
丸山義二	拾円札	P. 44～54	小説
鹿地亘	牧歌的なもの	P. 55～68	小説
須山計一	〔漫画〕 ^(ママ) 墓堀人トーマを排撃せよ!	P. 69～69	
アンリ・バルビュス (堺誠一郎訳)	第六会世界大会の印象	P. 70～76	
アンリ・バルビュス (植村喬訳)	クララ・ツエトキンを訪ふ		
ナツプ音楽部	松坂・伊勢表整理職工争議団		
大月源二	〔画〕 その日の道路人夫達	P. 77～77	

マーツア (蔵原惟人訳)	欧州プロレタリア文学の道	P. 78~85	
鈴木友吉	同志からの通信	P. 85~85	
岡田頌二郎	奴等の仕打ち	P. 86~87	詩
白須孝輔	『買はれた姉妹』	P. 88~89	詩
狭間二郎	秋	P. 89~90	詩
高田一司	『日本社会主義同盟』の創立と解体	P. 91~95	十二月の暦
本沢春江	1 郵便局員	P. 96~102	生きた新聞
花島達夫	2 佐渡の赤陽——佐渡の×装一揆	P. 102~109	生きた新聞
山田 大月 X Y 佐々木 ×△	前哨線	P. 110~111	
榎本楠郎 (Meguro [目黒生画])	童話 文化村を襲った子供	P. 112~121	
三好十郎 (同画)	姉さん!	P. 122~126	
川越篤	[漫画] 共産党公判の公開を要求しろ!!	P. 127~127	
大山郁夫	敗北から勝利へ	P. 128~131	
[Atsushi [川越篤]]	[カット]		
藤森成吉	潮の音	P. 131~134	
山田清三郎	文芸家協会の職業組合化とその活動	P. 135~136	
山部繁夫	「大衆党」的批判に酬ゆ	P. 137~139	
波立一	I 移動美術展記—— ^(ママ) 九洲地方巡回戦跡	P. 140~144	ソヴェット革命十一周年記念 プロレタリア芸術祭と無産者 新聞防衛ののための催し
猪野省三 仁木二郎 壺井繁治	II 巡回文芸講演会記 イ 関西を振り出して ロ 臨監所々 山奥の同志 ハ 東北を巡る	P. 144~149	
	[写真] 十一月十七——十九日銀座ギャラリーに於ける柳瀬正夢個人展	P. 146~146	
幸田七郎	独房で	P. 150	詩

木下龍二	故郷	P.150	詩
津流島健	夜	P.150	詩
安田省三	用意はいゝか	P.151	詩
松下正身	俺達の新聞	P.151	詩
重政順平	戦ひの後	P.151	詩
丘文夫	××家	P.153~153	海外の同志より
秋田 秋山光	「戦旗秋田読者会」に就て	P.154~155	戦列から
長岡 石黒国雄	いかにポスターを使つたか	P.155~156	戦列から
王子 多田野生	林氏の所論から	P.156~157	戦列から
福井 井上健次郎	講演会をきっかけに	P.157~157	戦列から
	〔写真〕 ポスター柳瀬正夢作	P.159	特別附録
木部正行 大月源二 共編	プロレタリア・ポスターの作り方	P.160	特別附録
「戦旗」編輯局	編輯後記	P.182~182	
全日本無産者芸術聯盟	維持員募集	P.183~183	
矢島益夫	新党準備会とその結党	P.1~8	戦旗第一巻第八号附録〔別冊〕

1929年1月号（第2巻第1号—通巻第9号 1月1日発行）

〔柳瀬正夢〕	〔表紙〕〔無新を読む労働者〕		
	〔写真〕 ポリシエヴィキの言葉を語る戦旗		
	〔扉〕〔写真〕 縛られた労働者 川越治武作		
	〔グラフ〕 プロレタリアートの美術 —十一月 上野自治会館に於けるプロレタリア大美術展より—		
藤森成吉（Suz〔鈴木賢二画〕）	土堤の集会	P.14~24	創作九篇 小説
壺井繁治	踏みつけられる麦	P.25~37	創作九篇 小説
林房雄	檻の中の四人	P.38~47	創作九篇 小説
村山知義	少女と裁判	P.48~67	創作九篇 小説
江馬修	船大工	P.68~73	創作九篇 小説

越中谷利一	一兵卒多仲の死	P. 74～86	創作九篇 小説
片岡鉄兵	打倒六郷会	P. 87～97	創作九篇 小説
ベラ・イルレーシ (匈牙利) (大沢清三訳)	ペリシテびとの勝利	P. 98～107	創作九篇 翻訳
クララ・ツェトキン (川口浩訳)	一 ローザ・ルクセンブルグ 二 カール・リープクネヒト	P. 108～111	一月の暦
ルイス・ブライアン (支健二訳)	ナデジタ・クループスカヤ	P. 112～115	一月の暦
	一月の暦	P. 116～117	一月の暦
山田清三郎	戦線統一から具体的活動へ	P. 118～123	
大月源二	プロレタリア美術大展覧会を評す	P. 124～132	プロレタリア大美術展覧会評
小川信一	プロレタリア美術の道	P. 133～141	プロレタリア大美術展覧会評
中野 山田 永田 野原 佐藤	前哨線	P. 142～143	
	〔写真〕 1917・11・7	P.144	詩
森山啓	死んだ娘のうた	P. 144～145	詩
三好十郎	正直のところ	P. 146～148	詩
下川儀太郎	勝利のレポーター	P. 148～149	詩
白須孝輔	俺達を村へかえせ！――××××隊××事件	P. 150～151	詩
狭間二郎	復讐――老女工より	P. 151～153	詩
猪野省三 (鈴木賢二画)	創作九篇 童話 こんどは地主だ！	P. 154～162	
	〔写真〕 鉄窓の同志よりの手紙		解放運動犠牲者救援会の頁
江口渙	1 野田へ行く	P. 163～167	解放運動犠牲者救援会の頁
ドクトル・馬島	2 犠牲者の救援へ！	P. 167～170	解放運動犠牲者救援会の頁
布施辰治	3 分離裁判と戦ふ	P. 170～175	解放運動犠牲者救援会の頁
東京合同労働組合常任委員会	労働者農民の腕	P.176	資料欄
関東消費組合常任中央執行委員会	懸賞募集当選マーク発表	P.176	資料欄
新興童話作家聯盟	新興童話作家聯盟生る！	P.177	資料欄
山田清三郎	星川君の一文について	P.177	資料欄

森元宗二	一九二八年三月一五日	P.180	
片泰介	忍耐	P.180	
武田亜公	おい行け	P.181	
喜多孝雄	血祭りに中間チボからやつつけろ！！	P.181	
滝田出	「正月元旦」！！——交通労働者の歌	P.182	
盛岡 飯尾九郎	読者会の成立するまで	P.183	戦列から
山梨 農民芸術聯盟	甲府に読者会を	P.184	
東京 下川保	「オルガニザ」	P.185	
鹿地亘	1 赤鉛筆	P. 188～191	生きた新聞
藤枝丈夫	2 郭松齡の贈物	P. 192～196	生きた新聞
橋本英吉	3 共同印刷のストライキ	P. 196～198	生きた新聞
越中谷利一 (Suz〔鈴木賢二画〕)	4 軍隊の正月と鳥毛の帽子	P. 198～200	生きた新聞
一労働者 (Suz〔鈴木賢二画〕)	5 「×旗びらき」の思ひ出話	P. 200～202	生きた新聞
松田解子	6 A鉱山の娘	P. 202～210	生きた新聞
「戦旗」編輯局	編輯後記	P. 212～212	

1929年2月号（第2巻第2号——通巻第10号 2月1日発行）

	〔表紙〕〔写真 機関車と労働者〕		
	〔写真〕プロレタリアの母——故「渡政」のお母あさん		
全日本無産者芸術団体協議会	〔扉・巻頭言〕 ナツプ「全日本無産者芸術団体協議会」発会宣言		
	〔グラフ〕日本の農民大衆は何処へ行くか？	P. 6～7	
立野信之 (Suz〔鈴木賢二画〕)	小作人	P. 8～31	小説と詩 小説
鹿地亘 (Suz〔鈴木賢二画〕)	八月	P. 32～40	小説と詩 小説

本庄陸男 (Suz〔鈴木賢二画〕)	秋空の下	P. 41～62	小説と詩 小説
窪川いね子 (Suz〔鈴木賢二画〕)	煙草工場	P. 63～74	小説と詩 小説
鈴木賢二	〔画と文〕 これが宗教つて代物だ！	P. 75～75	
	最近の日本（第五十六議会開催中 市議員総選挙 東京〔写真〕 亀戸事件犠牲者八名組合葬を記念して）	P.76	二月の暦
金星波	怒濤！ 芝公園の夜――旧労働農民党総選挙報告演説会のデモ	P. 78～82	二月の暦
星野静夫	八幡製鉄所のストライキ	P. 82～86	二月の暦
蔵原惟人	プロレタリア芸術の内容と形式	P. 87～96	
鹿地亘	取材とその扱ひ方に就いて	P. 97～105	
日本プロレタリア劇場同盟東京左翼劇場	故小山内薫氏への弔辞	P.105	
中野 壺井 山田 鹿地	前哨線	P. 106～107	
	〔写真〕 1917・11・7	P.108	詩
小林園夫	あいつ、安んぜよ	P. 108～110	詩
森山啓	南葛労働者	P. 110～111	詩
丘文夫	レーニンの死せる日	P. 111～113	詩
仁木二郎	朝のデモ	P. 113～114	詩
重政順平	結党大会へ	P. 114～116	詩
猪野省三〔文と画〕	1 豊里労働少年団――日本最初のピオネール	P. 117～122	生きた新聞
林房雄	2 暗黒裁判と戦ふ	P. 123～127	生きた新聞
藤枝丈夫	3 京漢工人流血記	P. 128～137	生きた新聞
藤森成吉	新党創立大会記――代議員として	P. 138～140	労働者農民党結党大会記
小川信一	我々は「労働者農民党」結党大会に於て何を見、何を学ぶだか？	P. 141～149	労働者農民党結党大会記
波立一	結党の焰	P. 148～149	労働者農民党結党大会記
須山計一	〔漫画〕 さあ諸君 工場へ農村へ	P. 150～150	労働者農民党結党大会記
大山郁夫	バリケードの両側に――新党準備会の解散と日本大衆党の成立	P. 151～153	労働者農民党結党大会記

鈴木賢二 大月源二	労働者農民のためのニュースカッツ集	P.154~155	
鹿地亘	ナツプ大会の記	P.157	ナツプ大会と各団体の活動方針
山田清三郎	文学団体の活動方針	P.162	ナツプ大会と各団体の活動方針
佐野碩 中村栄二	プロレタリア演劇運動当面の任務	P.164	ナツプ大会と各団体の活動方針
大月源二	美術家同盟の闘はんとする道	P.168	ナツプ大会と各団体の活動方針
守田正義	一九二九年に展開さるべき音楽団体の簡単なる方針	P.170	ナツプ大会と各団体の活動方針
井坂次男	映画団体は如何に闘ふか！	P.171	ナツプ大会と各団体の活動方針
	左翼劇場第4回公演 ダントンの死 十一場	P.174	
戦旗社	戦旗支局は如何にして組織するか！	P.176~177	
	〔写真〕 労働者・農民の腕	P.178~181	戦列から
岡山 三木真佐二	一月号その他	P.178	戦列から
盛岡 吉野真夫	その後の盛岡読者会	P.179	戦列から
小樽 畑常雄	一九二八・三月十五日に関して	P.180	戦列から
秋田 戦旗読者会	ニュース第3号	P.181	戦列から
	〔写真〕 レポを書く同志	P.182	詩
朝紅児	獄窓の同志を想ふ 要求の為に戦はう	P.182~184	詩
畑常雄	ハンマーの響	P.183	詩
内田豊	村のデモ	P.183	詩
一労働者	発送部の兄弟	P.183	詩
疋泰介	戦へ！	P.184	詩
武田亜公	手	P.184	詩
セラフイモーウイツチ (蔵原惟人訳)	鉄の流れ(一)	P.186~200	小説と詩 小説
戦旗編輯局	編輯後記		

1929年3月号 (第2巻第3号—通巻第11号 3月1日発行)

	〔表紙〕 〔写真〕 法廷の一隅に寄合ふ朝鮮に於ける犠牲者の家族		
	〔写真〕 犠牲者家族		

	〔扉〕〔写真〕御××検束で××のために×××た大沢君の労働者農民葬	P.5	
	男子と共に戦ひつゝある婦人の勇姿を見よ！	P. 6～7	〔グラフ〕
	労働する婦人に勝利あれ！！戦ふ婦人に光栄あれ！！	P. 8～9	〔グラフ〕
クララ・ツエトキン (井沢操訳)	国際無産婦人デーは新たなる大衆を募集する！！	P. 10～13	
近藤みさを	プロレタリアの母――渡政のお母さん	P. 14～17	三月十五日事件犠牲者とその家族
大河原浩	南×一氏厳父の葬儀の日――写真師K君は語る	P. 18～23	三月十五日事件犠牲者とその家族
鈴木千代 (Suzuki〔鈴木賢二画〕)	獄窓に春日庄次郎を訪ねて	P. 23～26	三月十五日事件犠牲者とその家族
小野輝二	或るインテリの渡政の追憶	P. 26～28	三月十五日事件犠牲者とその家族
	共産党員の判決に不満の大阪検事局	P.25	
堺誠一（〔大月源二画〕）	1 同志太田の手紙	P.29	鉄窓通信
	2 宮井進一君からの手紙	P.25	鉄窓通信
	3 衛戍監獄の同志より	P.36	鉄窓通信
松岡二十世	4 捕囚の族――牢獄から牢獄へ	P.37	鉄窓通信
全日本無産者芸術団体協議会	三月の事件に連座して入獄中の我が旧聯盟員におくる	P. 40～41	
	〔三月十五日の同志の死を悼む葬式の歌（歌詞と曲）募集〕	P. 42～43	
大谷圭三	故渡辺政之輔を悼む	P.42	
窪川鶴次郎	札幌の同志へ	P. 44～45	創作と詩 詩
小林園夫	怪物	P. 45～46	創作と詩 詩
炭山の一労働者	二つの行列	P. 46～50	創作と詩 詩
江森盛弥	落馬した兵士	P. 50～53	創作と詩 詩
白須孝輔	おつ母さん――職場からの便り	P. 54～55	創作と詩 詩
三好十郎	敗れて帰る俺達	P. 55～57	創作と詩 詩
	1 第三インタナショナル成立さる――一九一九年三月六日	P.58	三月の暦
	2 ロシア第一革命――ケレンスキー政府樹立 一九一七年三月八日	P.59	三月の暦
	3 カール・マルクスの死――一八八三年三月十四日	P.62	三月の暦
	4 三・一事件	P.63	三月の暦

元山争議応援委員長 金重政	元山の××的労働者蹶起について	P.63	三月の暦
	〔漫画〕 議会つて代物	P.67	
宇野圭	労働者農民の斗争ニュースカット集	P. 68～69	
目黒生	労働者の為のカット		
鹿地亘	組織活動と作家の任務	P. 70～79	論文
窪川鶴次郎	作品に於ける左翼社会民主主義の曝露	P. 80～83	批評
(出席者) 村山知義 佐野碩 佐々木孝丸 小野宮吉 中村 栄二 西郷謙二 佐藤武夫	左翼劇場第四回公演「ダントンの死」合評会	P. 84～93	
支〔健二〕	〔カット〕 ロベスピエールのダントンへの挑戦	P.84	
山田清三郎	雪の新潟に旅して――レエニン追悼講演会	P.94	紀行と大会の記
	日本プロレタリア作家同盟創立大会	P.98	紀行と大会の記
	〔写真〕 労働者・農民の腕	P.99	戦列から
本所 林順平	シツカリやれ!	P.99	戦列から
東京 小島与二郎	感想	P.101	戦列から
信濃 佐久良生	ナツブ諸兄へ	P.102	戦列から
姫路 鉄島大吾	姫路より	P.102	戦列から
盛岡 失名氏	希望五つ	P.103	戦列から
	〔写真〕 レポを書く同志		詩
築地文夫	よあけが来たぞ		詩
高田宮治	山の記念日		詩
金炳昊	ありやあ朝鮮人だ		詩
中野重治 (〔大月源二画〕)	鉄の話その――繩を維の首にかけるか?	P. 106～119	創作と詩 小説
藤森成吉 (tom〔村山知義画〕)	光と闇 (三幕五場)	P. 120～164	創作と詩 長篇戯曲
佐々木孝丸編	パリ・コンミュン	P.165	特輯附録 三月の暦から
	〔写真〕 パリーにあるコムミュン記念碑	P.165	特輯附録 三月の暦から
	忘れてならぬ人々 (十人)	P.168	特輯附録 三月の暦から

(堺誠一郎訳)	コンミュン日記	P.168	特輯附録 三月の暦から
佐々木孝丸	コンミュン史の輪画 (ママ)	P.175	特輯附録 三月の暦から
アレキサンダー・トラクテンバーク (佐野碩訳)	マルクス、レーニン及びコムミーン	P.188	特輯附録 三月の暦から
新無産者新聞発刊発企人会	宣言	P.198	
戦旗編輯局	編輯後記	P. 200~200	
1929年4月号 (第2巻第4号—通巻第12号 4月1日発行)			
—白色テロル犠牲者追悼号—			
	〔表紙〕〔写真 告別式場本郷仏教青年会館へ柩を運ぶ同志達〕	P. 表紙	
鈴木賢二 (堀野正雄写)	〔口絵・写真〕同志山本宣治のデスマスク	P. 4~5	
	我等の行くところは戦場であり 墓場である	P. 6~7	〔グラフ〕
	団結して戦ふ労働者万歳!	P. 8~8	〔グラフ〕
	労働者農民の代表を市会へ送れ! —東京市会議員選挙戦から		〔グラフ〕
全日本無産者芸術団体協議会	弔辞	P. 9~9	白色テロルに抗して
江馬修	1 同志山本の遺骸を前にして	P. 10~13	白色テロルに抗して
江口渙	2 山本宣治氏暗殺真相記	P. 14~21	白色テロルに抗して
城北一働労者	3 白色テロルを粉碎せよ!	P. 21~25	白色テロルに抗して
山田清三郎	5 青山齋場にて	P. 26~29	白色テロルに抗して
後藤潔	6 葬ひの日	P. 29~32	白色テロルに抗して
一労働者	山宣の追憶	P.25	白色テロルに抗して
政獲労働同盟本部	我等の山宣暗殺さる	P.26	白色テロルに抗して
解放運動犠牲者救援会病院設立基金募集委員会	三月十五日記念事業 労働者農民の病院を作れ!	P. 33~33	白色テロルに抗して
田木繁	拷×〔問〕を耐える歌	P. 34~35	詩
朴達	暴圧に抗して	P. 35~36	詩
高木進二	居残りの夜	P. 36~37	詩
松崎啓次	「三月十五日」に送る	P. 37~39	詩

上野実彦	立毛押へに抗して	P. 39～39	詩
	俺達の字引	P. 40～40	
	〔写真〕 本部から争議団溜場へと報告をもつて急がしく走りまわる レポーター（伝令）	P.41	生きた新聞
横浜の波止場労働者	1横浜市電大争議の一面	P. 42～49	生きた新聞
横浜の一金属工	2ドツク遂に起つ	P.49	生きた新聞
ゼンパー・アヴァンテイ （牟婁堯訳）	3戦争を打倒せ！	P. 50～54	生きた新聞
ケーテ・コルウイツ	〔画〕 アヂる労働青年	P.51	生きた新聞
佐倉啄二 （ふみを〔松山文雄画〕）	4岡谷の暗黒面	P. 55～57	生きた新聞
×××丸 高木洋三 （Meguro〔目黒生画〕 ふみを〔松山文雄画〕）	5俺達船員七万の血を啜る海員組合の正体	P. 58～63	生きた新聞
	斗争ニュース・ピラのカット	P. 64～65	
松山文雄	争議用カット その三	P.65	
立野信之（大月源二画）	1岐阜暴動と農民――「安八」流血事件	P. 66～74	農民の闘争記録
鹿地亘（支〔健二画〕）	2木崎村の農民学校	P. 74～78	農民の闘争記録
森山啓 （ふみを〔松山文雄画〕）	漫詩 組合の安さん	P. 79～79	
	四月の暦から	P. 80～87	
^{（ママ）} 星安出一	同志の死	P.87	
	〔続き漫画・市会議員選挙〕	P.80	
	斗争エピソード	P. 82～84	
〔大月源二〕	〔カット〕	P.82	
	同志春日庄次郎よりの手紙	P.85	鉄窓通信
（井沢操訳）	レナの銃殺――一九二二年四月十七日	P. 86～87	

中野重治	我々は前進しやうー前進か退却か、そこにはたゞ運動があるだけだ。ースターリン	P. 88~104	論文
東大阪労働組合 阪本雄登	馬脚を現はす文戦一派	P. 105~106	戦列から
某地 鈴川三一	一言	P. 106~107	戦列から
関東出版労働組合 大門巖	我々の要求する作品	P. 107~107	戦列から
ア・フェチエーエフ 〔蔵原惟人訳〕	小説「壊滅」日本版の序文 自伝	P. 108~109	
	五月号編輯方針	P. 111~111	
林房雄 (Shimazaki〔島崎翁助画〕)	謄写版の奇蹟	P. 112~120	小説
壺井繁治	兵營へ	P. 121~146	小説
細野孝二郎	雪崩	P. 147~164	小説
明石鉄也	火線ーー一九二九年の兵營生活記録	P. 165~180	小説
セラフイモーウイツチ (蔵原惟人訳)	鉄の流れ(2)	P. 181~191	翻訳
「戦旗」編集局	編輯後記	P. 192~192	
	「無新」を日刊にしろ	P. 193~193	
1929年5月号 (第2巻第5号ー一通巻第13号 5月1日発行)			
ーメーカー戦旗一週年記念号ー			
〔大月源二〕	〔表紙〕		
	〔写真〕 一九二八年フランスのメーカー		
	全労働者はメーカーへ!	P. 4~5	〔グラフ〕
	横浜ドツクの大争議団入場式 東京モスの争議女工さんの団結万歳! A R 移動美術展 ナツプ葬祭壇	P. 6~6	〔グラフ〕
	メーカーの足跡	P. 7~7	〔グラフ〕
	『戦旗』一年間の飛躍的發展の跡!	P. 8~8	〔グラフ〕
	〔写真〕 第五回メーカーに於ける東京機械工組合	P.9	五月一日・メーカー来る!

レーニン (川口波〔浩〕 訳) <small>(ママ)</small>	プロレタリアの五月祭	P. 10~12	五月一日・メーデー来る!
ローザ・ルクセンブルグ (中村雅男訳)	メーデーに際して	P. 12~14	五月一日・メーデー来る!
川口浩	ドイツ メーデーの今昔	P. 15~18	五月一日・メーデー来る!
月島光	ポーランド ワルシャウに於ける流血のメーデー	P. 19~22	五月一日・メーデー来る!
権田原松造	アメリカ 一八八六年シカゴのメーデー	P. 22~25	五月一日・メーデー来る!
秋田雨雀	ロシア モスクワのメーデー	P. 25~27	五月一日・メーデー来る!
藤枝丈夫	支那 広東のメーデー とその意義	P. 27~32	五月一日・メーデー来る!
金斗鎔	朝鮮 朝鮮のメーデー	P. 32~36	五月一日・メーデー来る!
松崎流子	日本 弾圧のメーデー——千九百二十八年五月の京都	P. 36~38	五月一日・メーデー来る!
白須孝輔	日本 日本のメーデー〔史〕	P. 38~40	五月一日・メーデー来る!
(川口浩訳)	シュブレッツヒコール 赤の五月	P. 41~43	五月一日・メーデー来る!
全日本労働組合全国協議会総本部	メーデーを期して逆襲せよ!	P.44	五月一日・メーデー来る!
宇野圭	〔続き漫画〕 プロ吉のメーデー	P. 28~28	五月一日・メーデー来る!
	我等の五月	P. 46~49	
Suz〔鈴木賢二〕	〔カット〕 マルクスの像	P.46	
	コミンテルン世界大会の発展	P.49	
川口浩	平林初之輔氏の所論その他	P.50	
伊藤三郎	一、南京と武漢	P.56	社会時評
小川信一	二、トロツキー追放 三、議会と社会民主々義者 四、全国市町村会議員選挙 五、築地小劇場の分裂	P.60	社会時評
木部正行	ニュース・カット その四	P. 65~65	
森山啓	一人の行路病者が死んだ メーデー近く	P.66	詩
重政順平	組合	P.69	詩
高木進二	おいらの春	P.70	詩
鹿地亘	戦旗一年の跡をたどる	P. 72~75	
佐藤碩	A 同志佐藤が歩んだ道	P.76	同志佐藤武夫を悼む

中野重治	B 発病から死まで	P.79	同志佐藤武夫を悼む
全日本無産者芸術団体協議会	同志佐藤武夫に――告別に際して	P.76	同志佐藤武夫を悼む
ゲ・グラードフ (杉本良吉訳)	{ジエネヴのペトルーシユカ}	P. 80～93	
村田憲	労農ニュース用カット その五	P.94	
松崎啓次	京都山宣葬の撮影	P.95	
関東金属労働組合××支部員 M・T生	ナツプの映画を初めて見て	P.97	
大井鉄太郎	×製案内状――スパイ政策の一例	P. 101～103	生きた新聞
大塚良平	農民学校の成果に就て	P. 103～111	生きた新聞
横浜ドツク工信会 浜本松一 宮原虎雄	横浜ドツク大争議の真相	P. 112～120	生きた新聞
藤枝丈夫	支那農民は如何に戦つて居るか	P. 120～127	生きた新聞
許氷 (藤枝丈夫訳)	海陸豊ソフエートに於ける赤色新年の思ひ出	P. 128～131	生きた新聞
東京 金親駿子	婦人の立場から希望と注文	P.132	戦列から
大分 星出安一	同志星出の最後の言葉――弟は斯う言つて死んだ	P.133	戦列から
東京 和田生	よくなるぞ!	P.134	戦列から
大阪 天王寺読者会	大衆へ!	P.135	戦列から
戦旗 山田清三郎	同志並に支持者諸君に――「戦旗」は大衆のものだ!	P.136	戦列から
群馬 島田吉郎	最後まで頑張らう!	P.137	戦列から
大阪 須佐美均	戦旗三月号から	P.138	戦列から
元山 伊藤元一	朝鮮元山から	P.139	戦列から
東京 佐藤きく子	山本代議士を悼みて	P.139	戦列から
京都 山本英治	『山宣』の遺族から	P.139	戦列から
	俺達の字引 その二	P. 132～134	
×見×夫	獄に迎へる×の三月	P. 134～139	獄窓通信
	六七月号編輯方針	P. 140～140	
小林多喜二	蟹工船 其の一	P. 141～171	(小説)

村山知義	妥協はない！	P. 172～176	(小説)
山田清三郎 (支〔健二画〕)	五月祭前〔後〕――愉快的な小話を三つ	P. 177～189	(小説)
セラファイモウイツチ (蔵原惟人訳)	鉄の流れ(3)	P. 190～201	(小説)
「戦旗」編集局	編輯後記		

附録 少年戦旗5月号(1929年5月1日発行)

〔川尻東次〕	〔表紙・画〕		
	五月一日メーデー来る！	P.2	
長野昌千代	米は誰が作るのか？	P.4	
立野信之	土陸少年少女争議団	P.6	
尋六 笠原きみ	芋売	P.7	
尋六 一原 勇	おうえんのきりぼし	P.8	
ミンスクレオ・メトロツキー	僕のピオニーロ分隊はどのやうに活動してゐるか？	P.9	
秋田雨雀	ソヴェートロシアのピオニーロの生活について	P.10	
	闘争通信	P.11	
	おれ達はかぢやだ…… (ソヴェート××主義青年同盟の歌)		

1929年6月号(第2巻第6号――通巻第14号 6月1日発行)

永〔永田一脩〕	〔表紙〕〔海上労働者〕		
	〔写真〕 働きを楽しむロシアの婦人労働者		
	労働者農民とスポーツ	P. 4～5	〔グラフ〕
	メーデー後報と六月の思ひ出	P. 6～7	〔グラフ〕
	〔福島県棚倉町の移動展 在米ポスター展 ナツプのピクニック〕	P. 8～8	〔グラフ〕
	我等の六月	P. 9～11	
アンリ・バルビュス (阿部正訳)	ジョン・クレエシヤの改宗	P. 12～15	読物

アレクサン ベロフ パラ モーノフ ウオコフ (須摩一郎訳)	ロシア農民は地主と如何に戦つたか？	P. 15～21	読物
東大吉	事件の真相	P. 21～29	読物
中条辰夫	総検束の中に旗は進む！	P. 30～32	市町村会議員選挙闘争記
下川儀太郎	散弾三つ四つ！――静岡地方選挙闘争挿話	P. 33～35	市町村会議員選挙闘争記
須山計一	〔さし画〕	P.30	市町村会議員選挙闘争記
伊東三郎	昭和御前試合と産業総動員練習	P.36	社会時評
小川信一	日魯漁業問題と労働者 汽車と社会主義 軍縮会議と反帝国主義 同盟大会	P.38	社会時評
	日本プロレタリア美術家同盟結成	P. 45～45	
月島光	光輝ある無産者新聞の歴史――無新防衛日刊実現運動を支持せよ！	P. 46～53	
下川儀太郎	彼はゐない！――静岡市会議員松田辰雄兄へ	P. 54～55	詩
杉浦半一郎	俺達の××樹立へ	P. 56～57	詩
小林園夫	出発	P. 56～57	詩
浅野純一	五月一日の朝の工場	P. 57～58	詩
南荘造	虎に喰われろ	P. 57～60	詩
姜文錫	われらはピオニール	P. 58～59	詩
高木進二	別れ	P. 59～60	詩
寺島真一	左翼劇場公演を見る	P. 61～63	
神田生	左翼劇場を観て	P.63	
東京自由労働者 A B 生	協議会の旗を守つて	P.64	一九二九年のメーデー――ダラ幹を蹴飛ばして労働者農民は進む
若杉鳥子	婦人の一人として	P.71	一九二九年のメーデー――ダラ幹を蹴飛ばして労働者農民は進む
名古屋 井上進	五月の街頭戦	P.73	一九二九年のメーデー――ダラ幹を蹴飛ばして労働者農民は進む
島藪秀雄	金沢の最初のメーデー	P.75	一九二九年のメーデー――ダラ幹を蹴飛ばして労働者農民は進む

編輯局	ベルリンのメーデー	P.77	一九二九年のメーデー――ダラ幹を蹴飛ばして労働者農民は進む
戦旗社及各支局	各地のメーデー	P.65	一九二九年のメーデー――ダラ幹を蹴飛ばして労働者農民は進む
北村孝太郎	京浜乗合争議	P. 78～82	レポーター
吉松郎	日本紙業罷業に（高知）於けるストライキブローカーの曝露	P. 82～84	レポーター
	全国労農青年同盟東京府支部創立大会記	P. 84～87	レポーター
東京合同労働組合 吉村一雄	東京朝日の争議と労農派のデマ	P. 88～90	レポーター
佐倉啄二（〔凡画〕）	農民の繭は斯して搾取される	P. 91～97	レポーター
	俺達の辞引	P. 98～99	
ミハレフスキー （蔵原惟人訳）	誰にも判る経済学	P. 100～103	
山田清三郎	手近な二三の問題――それに対する若干の意見	P. 104～109	
一労働者	芸術に対する一労働者の手紙	P. 110～113	
中野浩一	農民闘争と芸術家の活動	P. 114～118	
日本プロレタリア作家同盟	労働者農民解放の為に芸術を生産する全国の同志に檄す	P. 119～119	
ニューヨーク 日本人労働協会	在米同志よりの通信	P.120	海外の同志より
ニューヨーク 滝尾生	親愛なる戦旗読者諸兄！	P.121	海外の同志より
蒲田労友会××鉄工所 東京 K・H生	感謝と希望	P.122	戦列から
元山 ×藤×一	朝鮮から	P.123	戦列から
東京 武井一雄	四月号に就て	P.125	戦列から
岡下一郎	何故文戦を見捨てたか	P. 122～126	
	七、八月号編輯方針	P. 127～127	
小林多喜二	蟹工船 其の二	P. 128～157	創作小説
徳永直 （Meguro〔目黒生画〕）	太陽のない街（前編）	P. 158～172	創作小説

セラフイモウイツチ (蔵原惟人訳)	鉄の流れ(4)	P. 173~183	創作 小説
戦旗編輯局	編転後記	P. 184~184	
	無産者の夕	P. 185~185	

附録 『少年戦旗』 6月号 (第2号—6月1日発行)

Tozi〔川尻東次〕	〔表紙・画〕		
大河原浩 (Suz〔鈴木賢二画〕)	煙突を見上げやう!	P.2	
	童話 太陽と蛙たち (イソツプの話から)	P.5	
	一口噺 理科 歴史	P.5	
本庄陸男 (Suz〔鈴木賢二画〕)	仏様の正体はデクの棒だ	P.6	
	〔続き漫画〕 少年工貧チヤンの一生	P.9	
尋四 内田 優	おひる前	P.10	
尋四 根岸喜代子	金持の子のばか	P.10	
尋四 河内良夫	煙突	P.11	
失名	ドンドンタイハウ	P.11	
藤森岳夫	〔画〕 藤森成吉の演説	P.11	
難波又三郎	古帽子	P.12	童謡
榎本楠郎	わんわん	P.13	童謡
島影盟 (Suz〔鈴木賢二画〕)	王様の頓死	P.14	
マキシム・ゴリキー (伊東三郎訳)	戦争に行つたイワンのお噺	P.16	
浜清	アメリカのヤング・バイオニアに就いて	P.19	
	憎しみのるつぽに		

1929年7月号（第2巻第7号—通巻第15号 7月1日発行）

	〔表紙〕 〔写真〕 レーニン夫人を囲んだ東方諸民族婦人代表		
	〔写真〕 全代会議に於けるロシア農民代表		
	反帝国主義同盟第二回世界大会万歳	P. 4~5	〔グラフ〕
	七月の思ひ出 力には力を以て！	P. 6~7	〔グラフ〕
	〔松本青服劇場舞台 P・P移動展〕	P. 8~8	〔グラフ〕
	〔扉〕		
村山知義（同画）	暴力団記 四幕九場—左翼劇場第十二回公演台本	P. 10~50	創作 戯曲
徳永直 （ふみを〔松山文雄画〕）	太陽のない街(2)	P. 51~69	創作 小説
池田夫	七月の暦から	P. 70~72	
杉本良吉	伯林プロレタリアートの示威—一九二九年メーデーの実況	P. 73~76	ブル新聞で歪められた二つの事件
金斗鎔	川崎乱闘事件の真相	P. 77~80	ブル新聞で歪められた二つの事件
五十嵐進	プリントにつかえるニュースカット集	P. 81~81	
後藤潔	弾圧下の町議戦	P.82	市町村議員選挙戦から
京都合同労働組合 一組合員	大阪市議戦無産団体協議会推薦候補市議戦挿話	P.83	市町村議員選挙戦から
瀧沢二一	しやつぼをかぶらない農夫等	P. 86~88	詩
高木進二	支那	P. 88~89	詩
市ヶ谷刑務所 ×××××	奪へ、奪へ何でも奪へ	P. 89~89	詩
^(ママ) 浅見弘	工場が建つ・心臓は敵意にたぎつとる	P. 90~90	詩
細迫兼光	日本大衆党の分裂と労農一派の新たなる陰謀	P. 91~95	
藤野啓次	第二次労働党内閣	P. 95~97	
志村要吉	金解禁の問題	P. 98~105	
	反帝国主義同盟第二回世界大会万歳	P. 106~106	
ミハレフスキー 蔵原惟人	誰にも判る経済学	P. 107~111	
	俺達の辞引	P. 112~113	

下川儀太郎（鶴丸睦彦画）	喜劇一束――四・一六静岡×圧挿話	P. 114～115	検束拘留闘争記
竜岡生（鈴木賢二画）	^(ママ) ブルの弾よけ実つ平、御免だ。	P. 115～117	検束拘留闘争記
中本まさ子	ひどい三等郵便局員の生活――私たちの不平不満	P. 118～121	工場農村職場から
女良鉄義	目覚ゆく俺達	P. 121～125	工場農村職場から
	各地のストライキ	P. 118～125	
秀島武	鶴見の「おかみさん」	P. 126～132	犠牲者家族訪問
山田清三郎	あきれた救世軍の病院	P. 133～137	犠牲者家族訪問
	(1) 同志×野からお母さんへ	P.126	獄窓通信 ――獄中の婦人同志からの手紙
	(2) 獄中から救援会へ	P.131	獄窓通信 ――獄中の婦人同志からの手紙
	(3) 同志鈴木の手紙	P.132	獄窓通信 ――獄中の婦人同志からの手紙
関東消費組合聯盟	労働者農民無産市民諸君 国際消費組合デーに参加せよ	P.138	
大阪 阿部生	俺達の「小岩井」	P.139	戦列から
名古屋 小川忠一	「少年戦旗」について	P.139	戦列から
九州 八幡鉄工	労農派を蹴飛ばせ！	P.140	戦列から
東京 一労働者	地所を買ったダラ幹	P.141	戦列から
東京 KO生	帰郷みやげ	P.141	戦列から
東京 染野喜怒	写真を利用せよ	P.143	戦列から
福岡 一読者	全国から写真を送ろふ	P.143	戦列から
東京 横山芳夫	群小プロレタリア文芸雑誌――特に雑誌「十月」に就て	P.144	戦列から
編輯局（編）	その他の叫び	P.145	戦列から
星川周太郎	休日二日の獲得――新聞争議最初の勝利	P. 147～151	レポーター
高木喬松 （Suz〔鈴木賢二画〕）	丸善の争議から学べ	P. 152～158	レポーター
全農埼玉県聯 渋谷定輔	農民四千豪雨を衝いて県庁へ！	P. 159～159	レポーター
吉田富士夫	スタジオの裏――勘チャンの話	P. 161～165	レポーター

荒井国吉	合理的賃銀制定委員会の正体ーードツク争議とダラ幹の裏切ぶり	P. 166~168	レポーター
大村五郎	早大事件真相記	P. 168~173	レポーター
P. P宣伝部	暴圧の中を行く移動美術展	P. 173~173	
	八九月号編輯方針	P. 174~174	
セラフイモーウイツチ (蔵原惟人訳)	鉄の流れ (5)	P. 175~183	創作 小説
	「大山郁夫全集」刊行中止について	P. 183~183	
戦旗編輯局	編輯後記	P. 184~184	
	左翼劇場第十二回公演	P. 185~185	

附録 『少年戦旗』 7月号 (第3号ーー7月1日発行)

Tozi〔川尻東次〕	〔表紙・画〕		
	〔写真〕 ウンドウ シテ カラダ ヲ ツヨクシヨウ		
(tom〔村山知義画〕)	僕達の偉人マルクス	P.3	
村山知義	童話 学校の話	P.4	
石田茂	顔あそびの歌 (遊戯)	P.5	
光成信男 (T〔川尻東次画〕)	科学読物 あな蜂の話	P.6	
岡一太	憎いこん畜生	P.8	童謡
伊東欣一	戦争せずに	P.9	童謡
秋田雨雀	夏が来たー避暑に行く人は誰か?	P.10	
	笑話	P.11	
(Tozi〔川尻東次〕)	モグラモチとお嬢さん	P.12	
尋三 中村春雄	高等係が労働者におしかけられたところ	P.13	〔画〕
尋四 笠原きみ	ポスターはり	P.13	〔画〕
尋四 関清志	おれはなぜびんぼうだ	P.13	
尋四 杉村 賢太	じゅんさ	P.13	
	オリニナルの話	P.14	

槇本楠郎	葉っぱのお金	P.15	
坂梨光雄	童話 その後の桃太郎	P.16	
	判じ絵	P.19	
マツヤマ・フミヲ	マンガ ドッチガツヨイ?		
1929年8月号（第2巻第8号—通巻第16号 8月1日発行）			
	〔表紙・画〕		
	露支国境に戦雲みなぎる イギリス労働党の正体 婦人のビケ	P. 5~5	〔グラフ〕
	俺達の無産者新聞を護れ！ 東京に来た新潟地方の日本共産党被告諸君 深川木材労働者大会 自治会、現実同盟の合同成る 山宣殺しの黒田保久二	P. 6~6	〔グラフ〕
	左翼劇場と移動展とその活動	P. 8~8	〔グラフ〕
	〔扉〕〔写真 ドイツ少年少女の避暑旅行〕		
吉野律子	ドイツ赤色少年団夏季学校訪問記	P. 10~16	特輯
攻石（東大吉訳）	支那の赤衛軍兵士の手紙	P. 17~21	読物 革命支那の動き
福永豊	一九二七年第二回汎太平洋労働組合会議の頃	P. 22~24	八月の暦から
小川信一	日本最初の反戦運動	P. 24~26	八月の暦から
齋藤恒	楽器争議の記憶	P. 26~29	八月の暦から
池田寿夫	サツコ・ヴァンセツチ事件——一九二七年八月廿二日の夜	P. 30~32	八月の暦から
奥村甚之助	京都に於ける往年の米騒動	P. 32~33	八月の暦から
町田工作	汎太平洋労働組合会議へ！	P. 34~40	
後藤潔	浜口内閣の出現と議会主義者の態度	P. 41~44	
川口浩	文芸時評	P. 45~52	
Shi〔島崎翁助〕	斗争ニュース・カツト集	P. 53~53	
浅弘見	土坑夫	P. 54~55	詩
村上俊一	山宣へ捧げる言葉	P. 56~57	詩
ビー丸のK	俺達だ	P. 57~59	詩
河野健二	野田から	P. 59~59	詩

岡下一郎	血に燃える怨恨 その他	P. 60～67	真夏の労働四題
今東光	文戦七月号の逆宣伝ー水野晴作の今東光の裏切にいつて	P. 68～69	
島崎翁助	一切の××準備を止めろ！	P.70	〔漫画〕
目黒生	「サア今度は俺の番だ！」	P.71	〔漫画〕
岩松淳	オツペケペノペ	P.72	〔漫画〕
志村和夫	武勲	P.72	〔漫画〕
松山文雄	むくいられた裏切者の独語	P.73	〔漫画〕
竹〔竹本賢三〕	夏の日スパイ	P.73	〔漫画〕
	俺達の辞引	P. 74～75	
ミハレフスキー (蔵原惟人訳)	誰にも判る経済学 (承前)	P. 76～81	
大阪金属労働組合東淀川支部 稲畑分会 山花秀雄	勅選議員稲畑の下では、俺達職工がこんなに苦しんでゐる。	P. 82～88	工場農村職場から
白島湖農場 野田五郎	樺太から	P. 88～89	工場農村職場から
	各地のストライキ	P. 82～88	
東京 篤本勉	闘争断片	P.90	戦列から
T N 生	よくなつて来たぞ	P.91	戦列から
シヤトル 江崎生	アメリカで俺達を裏切つた安部磯雄	P.92	戦列から
京城 京山敦	朝鮮から	P.92	戦列から
函館 水谷三重三	函館は左翼のものだ	P.93	戦列から
海上 一労働者	「蟹工船」と藤原氏の批評	P.95	戦列から
奈良 川原誠之助	奈良では	P.95	戦列から
佚名氏	編輯局へ注文	P.96	戦列から
神奈川 金山次郎	もつとやさしく	P.96	戦列から
	その他の叫び	P.97	戦列から
	第二無新基金応募者氏名	P. 97～97	
石黒国男 (さし絵松島和)	東信電気発電所鮮人土工暴動事件	P. 98～102	レポーター
	「新興映画」 九月創刊	P. 102～102	

星川周太郎 (ママ) (さし絵竹本堅〔賢〕三)	借家人同盟闘争記	P. 103~109	レポーター
東朝一配達人 (さし絵松島和)	あはて出した岩月新聞舗――「通学奨励金」にだまされるな	P. 109~111	レポーター
	九十月号編輯方針	P. 112~112	
立野信之 (SHI〔島崎翁助画〕)	少年隊	P. 113~132	創作
越中谷利一 (さし絵支健二)	不発弾	P. 133~156	創作
徳永直 (Suz〔鈴木賢二画〕)	太陽のない街 (3) 前編	P. 157~167	創作
セラファイモーウイチ (蔵原惟人訳)	(ママ) 鉄の流れ (7)	P. 168~183	創作
戦旗編輯局	編輯後記	P. 184~184	
	暴圧に抗して	P. 185~185	
	維持員募集	P. 185~185	

附録 『少年戦旗』 8月号 (第4号――8月1日発行)

tom〔村山知義〕	〔表紙・画〕		
	〔写真〕 レーニン		
村山知義 (同画)	僕達の偉人レーニン	P.3	
光成信男	科学読物 寄生蜂の話――昆虫界の泥棒、強盗、乞食	P.4	
岡一太 (ふみを〔松山文雄画〕)	地主	P.6	
榎本楠郎 (ふみを〔松山文雄画〕)	旗ふり爺さん	P.7	
島影盟 (Tozi〔川尻東次画〕)	童話 白蟻の手柄	P.8	

石田茂 (tom〔村山知義画〕)	歴史物語 英雄スパルタクス	P.10	
(tom〔村山知義画〕)	童話 王様と乞食	P.13	
	批評 誰がこんな手紙を書くか?	P.14	
岡一太	童謡 ピオニール (労農少年団員)	P.15	
佐々木孝丸 (Tozi〔川尻東次画〕)	ロシア童話 ピエロオの新しい服	P.16	
	豆読物 (通信 投書)	P.10	
	懸賞 考へ物	P.19	
松山文雄	マンガ プロスケバンザイ		

1929年9月号 (第2巻第9号—通巻第17号 9月1日発行)

Meguro〔目黒生〕	〔表紙・画〕		
	思ひ起す関東大震災とプロレタリアの犠牲	P. 4~5	〔グラフ〕
	解放運動の犠牲者とその家族を救へ!	P. 6~7	〔グラフ〕
	我々の移動展ますます活躍	P. 8~8	〔グラフ〕
	〔扉〕		
全日本無産者芸術団体協議会	いはゆる「新労農党樹立の提案」について	P. 10~11	
中野重治	わかもの	P. 12~31	創作
江馬修 (さし絵村山知義)	阿片戦争 五幕十三場	P. 32~82	戯曲
徳永直 (さし絵松山文雄)	太陽のない街 (4)	P. 83~123	創作
榎本楠郎	童話劇 案山子万歳	P. 124~129	
セラファイモーウイツチ (蔵原 惟人訳)	鉄の流れ (8)	P. 130~139	創作
大月源二	ヘーグ賠償会議	P. 140~140	時事漫書
木部正行	剣の長さで争ひあふ平和の使徒達	P. 141~141	時事漫書
須山計一	「緊縮」と「戦争」	P. 142~142	時事漫書
川越篤	〔無題〕	P. 143~143	時事漫書

Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.144	婦人欄
ケーテ・ポール (柴田幹雄訳)	労働婦人の中でいかに活動すべきか	P. 144～150	婦人欄
照屋炭子	階級闘争とプチ・ブル婦人の立場	P. 150～153	婦人欄
若山和夫(さし絵岡野埋果)	真夏の松本紡績女工日記	P. 154～157	婦人欄
青バス 野村よし子 (さし絵五十嵐進)	女車掌の日誌	P. 157～158	婦人欄
京都 石野光子 (さし絵五十嵐進)	ガソリン売子より	P. 158～160	婦人欄
(茂森唯士訳)	断乎として労農の祖国を護れ	P. 161～161	
支那反帝国主義青年聯盟	全青年労働者農民×卒学生諸君に檄す	P. 162～163	
佐々木孝丸	余興用寸劇 勸進帳	P. 164～167	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.168	
田木繁	搾り×〔殺〕すためには搾り×〔殺〕す稽古を	P. 168～169	詩
女良鉄良	夜にゐりて進め	P. 169～170	詩
野田亀良	酷熱の下に	P. 170～172	詩
KMS	屑屋	P. 172～173	詩
河野健二	^(ママ) 堀らう！	P. 173～173	詩
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.174	P.P 移動展
美術家同盟京都支部	京都に於けるプロ展	P. 174～175	P.P 移動展
前田房次	移動展の幕は総検(大阪)	P. 175～177	P.P 移動展
吉村英二郎	移動展神戸闘争記	P. 177～178	P.P 移動展
いわまつ・じゅん	闘争ニュースカット	P. 179～179	
	俺達の字引	P. 180～180	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.180	
ミハレフスキー (蔵原惟人訳)	誰れにも分る経済学(第四回)	P. 181～184	

戦旗社	少年戦旗の独立に就て――全国二万の読者諸君に檄す	P. 185～185	
	十・十一月号編輯方針	P. 186～186	
岩手 農夫生	文戦青野よ恥を知れ	P. 187～188	戦列から
東京 大島正雄	俺達自身の民謡	P. 188～189	戦列から
和歌山 相田隆二	南紀州の一角から	P. 189～190	戦列から
大宮 一青年	民政党と社民党	P. 190～191	戦列から
新潟 ××生	いつまでも黙つてゐねえ	P. 191～192	戦列から
山梨 農村青年	社民党青年同盟員から	P. 192～193	戦列から
東京 高橋啓	悪検閲制度を撤廃しろ	P. 193～193	戦列から
	全国的編輯会議	P.187	
今東光	日本共産党事件の身上調査（上）	P. 194～201	特輯読物
明野啓三	ラヂオ物語	P. 202～209	特輯読物
町田工作	ガストニヤの十四人の同志を殺させるな	P. 210～215	特輯読物
日本労働組合全国協議会	『新労農党樹立』に対し声明す	P. 216～217	資料
労農同盟全国委員会	所謂新労農党樹立の提案に対し我等の態度を声明す	P. 217～221	資料
全国農民組合関東地方協議会	合法的『労農党』樹立にあつて我等の態度を声明す――合法主義を粉砕せよ！	P. 221～223	資料
全国農民組合中央常任委員会	新労農党樹立の提案に対する告示	P. 223～223	資料
戦旗編輯局	編輯後記	P. 224～224	
	救援会全国的機関紙発刊に際して	P. 225～225	
	暴圧に抗して	P. 226～226	
	維持員募集	P. 226～226	

附録 『少年戦旗』 9月号（第5号――9月1日発行）

ふみを〔松山文雄〕	〔表紙・画〕		
	〔写真〕 ローザ・ルクセンブルグ		
村山知義（同画）	僕達の偉人ローザ・ルクセンブルグ	P.3	
江口渙	少年小説 勇しい少年	P.4	

光成信男	科学読物 雷と避雷針	P.6	
坂梨光雄 (Tozi〔川尻東次画〕)	歴史童話 因幡の地主	P.8	
松山文雄 (同画)	廃兵	P.10	
榎本楠郎 (Tozi〔川尻東次画〕)	猿と蟹	P.11	
島影盟 (Tozi〔川尻東次画〕)	童話 頓吉の夢	P.12	
永島一 (〔Tozi〔川尻東次画〕〕)	誰が一番凶々しい泥棒か？	P.14	
村山籌子 (Tozi〔川尻東次画〕)	童話 こほろぎの死	P.16	
松浦泉三郎	豆童謡 (投書) おいらは強いぞ！ 人真似大豚	P.12	
榎本楠郎作歌 (泉貞雄作曲)	雀追ひ	P.14	
	笑話	P.16	
	懸賞あてもの	P.17	
	懸賞作文募集 題「僕達の毎日」	P.18	
	急告 少年戦旗は独立する	P.18	
ふみを〔松山文雄〕	〔マンガ〕 プロスケ		

1929年10月号 (第2巻第10号—通巻第18号 10月1日発行)

大月源二	〔表紙・画〕		
	火工廠 航空母艦 ストライキ 洪水	P. 4~5	〔グラフ〕
	婦人は戦ひつゝある	P. 6~6	〔グラフ〕
	傍聴する婦人たち	P. 7~7	〔グラフ〕
	支那婦人の活動	P. 7~7	〔グラフ〕
	飛行機とラヂオ	P. 8~8	〔グラフ〕
	〔扉〕		

目黒生	教化者	P.10	〔漫画〕
川越篤	尻つぼを掴まれた犬三匹	P.11	〔漫画〕
草根剛	ブル展をボイコットせよ！	P.12	〔漫画〕
須山計一	^(ママ) 立禁立毛押差と戦へ！	P.13	〔漫画〕
外山克	ハンガリア反革命	P. 14～18	十月の暦から
藤野啓次	ファシズムの政権奪取	P. 18～22	十月の暦から
反帝国主義同盟日本支部準備会	反帝国同盟日本支部準備会創立の檄！	P. 23～24	
荒井礼二	総同盟大阪聯合会の分裂問題	P. 25～29	
鈴木安蔵	『左翼』日和見主義者の詭弁	P. 30～39	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.40	
滝沢二一	機関庫の俺等	P. 40～42	詩
長沢佑	貧農のうたへる詩	P. 42～43	詩
久保田経	村の集会	P. 44～45	詩
高木進二	水呑百姓	P. 46～47	詩
マイケル・ゴウルド (柁不二夫訳)	死の家に於けるヴァンゼツチ	P. 48～51	詩
〔木部正行〕	〔カット〕 組合へ！	P.52	工場農村から
牧田良一	^(ママ) 模範局の裏面――成る集配人の話	P. 52～53	工場農村から
悪三太郎	小僧はどうしてくれる	P. 53～55	工場農村から
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.56	婦人欄
大谷きくえ	1 ボタン工場より	P. 56～57	婦人欄
	無産者新聞基金応募者	P. 57～57	
木村てる代	2 派出婦の一日	P. 57～58	婦人欄
山陰K子	3 山陰の紡績工場から	P. 59～60	婦人欄
私立病院看護婦 日下部とも子	4 私達の日	P. 60～61	婦人欄
	俺達の字引	P. 62～63	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.62	

ミハレフスキー (蔵原惟人訳)	誰れにも分る経済学 (第五回)	P. 64~73	
本播 一労働者	大山氏だとてだまされないぞ	P. 74~75	戦列から
××丸 大本義夫	蟹工船の底から	P. 75~76	戦列から
滝田哲次	「赤い星」のデマ	P. 77~78	戦列から
甲府 戦旗支局	弾圧された講演会	P. 78~80	戦列から
東京 中野生	^(ママ) 一支持として	P. 80~81	戦列から
鹿児島 戦旗支局	読者会を開け	P. 81~81	戦列から
大阪 守田生	気づいた儘を	P. 81~82	戦列から
小樽 伊藤信二	反戦小説について	P. 82~83	戦列から
^(ママ) 茨城一読	編輯に関して	P. 74~78	
本所 打越哲次	講座を急設せよ	P. 79~79	
岸田進蔵	八月号を見よ	P. 80~80	
	無新を守れ	P. 83~83	
大月源二	〔カット〕	P.84	レポーター
東京自由労働者組合 大島正	如何にして大会を持ちしか?	P. 84~88	レポーター
東京瓦斯工組合第×支部 神代藤平	東京瓦斯増資と瓦斯工組合ダラ幹	P. 88~95	レポーター
横山軍治	不平不満からストライキを起し勝利の日まで	P. 95~100	レポーター
	火工廠設置問題に奮起した埼玉の農民遂に陸軍省に押寄す	P. 100~101	レポーター
青木恵一	秋・農民・鎌・蓆旗――「戦旗」を通じて全国の農民諸君へ	P. 102~107	レポーター
	各地のストライキ	P. 85~107	
tom〔村山知義〕	〔カット〕	P.108	左翼劇場パンフレット
小野宮吉	素人芝居のやり方――工場農村の諸君に	P. 108~117	左翼劇場パンフレット
村山知義	戯曲「鋏と銃」について	P. 108~111	
吉村英二郎	瓢箪山のデモ――大阪戦旗座の移動劇場活動	P. 111~117	
村山知義	点呼 (二場) ――移動劇場用喜劇	P. 118~126	

峰桐太郎	プロレタリア琵琶 山宣追悼	P. 127～127	
政治的自由獲得労農同盟島根支部 日本大衆党島根県聯合会有志 労農青年同盟島根支部準備会	「新労農党樹立」に対し声明す	P.128	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
全国農民組合島根聯合会常任 執行委員会	大山氏等の新労農党結党に対する声明書	P.129	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
全国農民組合島根聯合会常任 執行委員会	新労農党樹立に対する声明書	P.130	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
全日本無産者芸術団体協議会	新党樹立の策動についてナツプ参加全同盟員に檄す	P.131	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
全国夜学学生聯盟本部	大山氏の新労農党	P.133	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
日本労働組合協議会関東金属 労働組合大崎支部	檄	P.134	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
無産者新聞荏原支局	「新労農党」樹立提案に就いて檄す	P.135	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
政獲労働同盟摂陽支部 摂陽 合同労働組合	新党樹立の提案に対し全国の同志に檄す！！	P.137	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
日本労働組合全国協議会知多 一般労働者組合	大山、細迫、上村、三氏の合法政党樹立に対し我が組合の態度を声明す	P.139	新労農党樹立の陰謀をたたきのめせ！
	十一月十二月号編輯方針	P. 140～140	
鹿地亘（竹本賢三画）	動員線 その一	P. 1～26	創作
三好十郎 （jun〔岩松淳画〕）	ごくつぶし	P. 27～47	創作
槇本楠郎 （竹〔竹本賢三画〕）	土工	P. 48～57	創作
大森二郎 （竹〔竹本賢三画〕）	P Nパン製造所	P. 58～78	創作

イズベスチヤ（編輯局）	清算主義の新種	P.78	
戦旗編輯局	編輯後記	P.79～79	
1929年11月号（第2巻第11号—通巻第19号 11月1日発行）			
tom〔村山知義〕	〔表紙・画〕		
	〔扉〕		
	ソヴェートロシアに於ける労働者農民の生活	P.2～3	〔グラフ〕
	赤衛軍と婦人 ソヴェートロシアの文化施設	P.4～5	〔グラフ〕
	モスクウに開かれた万国少年軍大会万歳	P.6～7	〔グラフ〕
	日本のブルジョアは何をしてゐるか	P.8～8	〔グラフ〕
〔朝野〕方夫	〔カット〕	P.9	ソヴェートロシア文化建設の十二週年間 ^(ママ)
茂森唯士	ソヴェート文化の発展 — 革命十二年の戦跡を顧て	P.10～17	ソヴェートロシア文化建設の十二週年間 ^(ママ)
明石省二	労働者と農民との国から—ウラジオストクにて	P.18～23	ソヴェートロシア文化建設の十二週年間 ^(ママ)
秋田雨雀	ソヴェート・ロシアの女性活動に就いて	P.23～26	ソヴェートロシア文化建設の十二週年間 ^(ママ)
藤野光二	ソヴェート・ロシアの『赤軍』の概況	P.26～32	ソヴェートロシア文化建設の十二週年間 ^(ママ)
杉本良吉	ソヴェート大学生の生活	P.32～37	ソヴェートロシア文化建設の十二週年間 ^(ママ)
藤枝丈夫	支那最近の労働者農民の生活	P.38～42	
〔全日本無産〔者〕芸術団体 協議会ほか六団体〕	ガストニヤ争議指導者死刑陰謀に対する抗議	P.43～43	
目黒生	労働者農民の国ソヴィエツトを×〔守〕れ	P.44～44	〔漫画〕
宇野圭	産業合理化物語	P.45～45	〔漫画〕
小河伊太郎	同志山田の検束—神戸に於ける講演会	P.46	関西に於ける講演会
原理充雄	戦闘的労働者に守られて—大阪に於ける講演会	P.47	関西に於ける講演会
深見政雄 木村茂	新潟県下農村移動展記	P.49～51	
片岡鉄兵	戦旗十月号の作品	P.52～57	

中野重治	『五月祭前後』を読む	P. 58～58	ブツクレビュー
立野信之	『蟹工船』について	P. 59～59	ブツクレビュー
猪野省三	『光と闇』を読む	P. 60～60	ブツクレビュー
戦旗編輯局	^(ママ) 文書〔章〕の書き方について――全読者諸君に	P. 61～65	
	俺達の字引	P. 66～67	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.66	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P. 68～70	工場農村職場からの不平不満をぶちまけろ！
横山芳夫	教場から――小学校教員の現場	P.68	工場農村職場からの不平不満をぶちまけろ！
	写真を送れ	P. 70～70	
マイケル・ゴールド (西村みち子訳)	訳詩 一億二千万	P. 71～71	
	〔カット〕	P.72	婦人欄
窪川いね子	婦人労働者とプチ・ブル婦人	P. 72～76	婦人欄
一女工	一女工の手紙	P. 76～77	婦人欄
市営バス 深水ヒト美 (Hashi〔橋本錦永画〕)	女車掌の日記	P. 78～80	婦人欄
並木よう (〔朝野〕方夫〔画〕)	貯金局から	P. 80～83	婦人欄
佐々木静子 (〔朝野〕方夫〔画〕)	或看護婦の義憤	P. 83～85	婦人欄
tom〔村山知義〕	〔カット〕	P.86	闘争の経験から学べ！
篤本勉	スパイの陋策	P. 86～88	闘争の経験から学べ！
松原貫一	俺達のピラ撒き	P. 88～92	闘争の経験から学べ！
收本小太郎	闘争エピソード	P. 92～93	闘争の経験から学べ！
大阪 鈴木真	芸術運動とアヂ・プロ	P. 94～95	戦列から

埼玉 ××支局	批評と希望	P. 95～96	戦列から
京都 哲雄生	九月号の感想及希望	P. 96～97	戦列から
東京 青木生	編輯其他	P. 97～97	戦列から
樺太 大木義夫	樺太から	P. 97～97	戦列から
大月源二	〔カット〕	P.98	レポーター
糺園人 (〔朝野〕方夫〔画〕)	(ママ) 大部屋の同志よ起て！――撮映所内部のからくり	P. 98～102	レポーター
重政順平	鶴見豊橋上抜剣事件当時の記憶	P. 102～105	レポーター
東自××支部 S・M (SK〔鈴木賢二画〕)	自由労働者の手記	P. 105～108	レポーター
鹿地亘 (〔橋本錦永画〕)	動員線 その二	P. 1～23	創作小説
橋本英吉 (〔橋本錦永画〕)	金融資本の一断面	P. 24～32	創作小説
徳永直 (ふみを〔松山文雄画〕)	太陽のない街 (4)	P. 33～70	創作小説
N.V.N-v. (岡一太訳) (竹〔竹本賢三画〕)	死の列車	P. 71～74	創作小説
戦旗編輯局	編輯後記	P. 183～183	
	第三回プロレタリア芸術祭 東京左翼劇場第十三回公演	P. 184～184	
	第三回プロレタリア芸術祭 第二回プロレタリア大美術展	P. 185～185	
	暴圧に抗して	P. 186～186	
	維持員募集	P. 186～186	

1929年12月号 (第2巻第12号――通巻第20号 12月1日発行)

ふみを〔松山文雄〕	〔表紙・画〕		
	〔扉〕		
	解禁された日本共産党事件		〔グラフ〕
	軍備縮小会議と大演習 国際労働会議とソヴェートの水兵		〔グラフ〕
	失業者・教化動員・警官検閲式		〔グラフ〕

	プロレタリアの文化		〔グラフ〕
小林多喜二〔大月源二〕	戦ひ	P. 9～20	創作四篇 小説
林房雄	地底の火花――「虚無党実記鬼啾啾」	P. 21～35	創作四篇 小説
越中谷利一	「貴様は敵だ」	P. 36～49	創作四篇 小説
鹿地亘 (K.H〔橋本錦永〕)	動員線 その三	P. 50～66	創作四篇 小説
山田清三郎	新刊紹介 二つの論集――蔵原惟人著「芸術と無産階級」 中野重治著「芸術に関する走り書」	P. 67～67, 116～117	
須山計一	一九二九年のプロレタリア日誌	P.68	〔漫画〕
岩松淳	海軍会議？	P.70	〔漫画〕
鈴木賢二	「お慈悲深き主なる神よ！」	P.71	〔漫画〕
片岡鉄兵	時評 十一月「戦旗」の作品	P. 72～78	
平井総三	プロレタリアのハ-モニカ隊	P. 79～83	
〔大月源二〕	〔カット〕	P.84	
山田清三郎 (〔朝野〕方夫画)	関西旅日記	P. 84～92	
壺井繁治 (〔木部正行画〕)	香川をあるく	P. 92～97	
〔大月源二〕	〔カット〕	P.98	
北村巖	不戦条約と英国海軍会議	P. 98～100	
松本正雄	軍縮のからくり――マクドナルドとフーバーと	P. 100～103	
池田寿夫	新労農党結党大会傍聴記	P. 103～107	
	一月号予告 見よ、弾圧に抗して前進する新年号	P. 108～109	
成田梅吉 (K E I〔須山計一画〕)	落語 演説会	P. 110～113	
戦旗編輯局	俺達の字引	P. 114～115	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.114	
	新刊紹介――良書推薦	P.116	
松井圭子	プロレタリアートと両性問題	P. 118～130	婦人欄

岡沢みとり (ママ)	電話交換手の手記	P. 118～121	婦人欄 婦人労働者の生活記録
野田しげ	村でも工場でも私達は苦しい	P. 122～127	婦人欄 婦人労働者の生活記録
中原滲	砲兵工廠より	P. 127～130	婦人欄 婦人労働者の生活記録
	第二回プロ美術展	P. 131～131	
川辺利行	昭和陰謀事件	P. 132～135	
久坂栄二郎	左翼劇場の関西公演	P. 136～138	
マイケル・ゴウルト	労働者芸術団体に檄す	P. 139～139	
上野壮夫編	解禁されれ日本共産党事件	P. 140～153	
和田清	エラ・メイの殺害ーガストニア事件とエラ・メイ・ウイギンス	P. 154～161	特輯読物
テオドル・ドライザー (中村雅雄訳)	新ロシア風景	P. 162～175	特輯読物
K e i〔須山計一〕	〔カット〕	P.176	短歌と俳句
中田郎一	土工	P.176	短歌と俳句
田辺一子	〔無題〕	P.176	短歌と俳句
浅野純一	新聞争議から	P.176	短歌と俳句
赤石茂	〔無題〕	P.176	短歌と俳句
足立富児	太平洋会議	P.176	短歌と俳句
米田英一	闘旗輝く	P.177	短歌と俳句
泉本三樹男	××の歌	P.177	短歌と俳句
田辺駿一	村の源ちゃん	P.177	短歌と俳句
坪野哲久	H署へ行く	P.177	短歌と俳句
槇本楠郎	亡き子の百ヶ日忌に	P.177	短歌と俳句
河津癸	血を吹く煙突	P.178	短歌と俳句
青木宏	年貢にとられる米	P.178	短歌と俳句
京都 河野十助	『文戦』のたわごと	P. 179～180	戦列から
和歌山 一労働者	断然左翼を	P. 180～181	戦列から
大阪 印刷工	感想	P. 181～182	戦列から

山形 高村善昭	批評その他	P. 182～183	戦列から
深川 中山信一郎	苦言一つ	P. 183～183	戦列から
大阪 尼崎暹	ナツプ総動員演習	P. 183～185	戦列から
大阪 国原竜夫	大山一派演説会の馬脚	P. 185～186	戦列から
高崎 交通労働者	彼等のやりさうな事だ	P. 186～186	戦列から
姫路 鉄島大吾	戦旗十月創作評其他	P. 186～187	戦列から
	〔プロレタリア数へ歌その他〕	P.179	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 188～189	
	維持員募集	P. 190～190	
	第二無新基金応募者	P. 190～190	

1930年1月号（第3巻第1号—通巻第21号 1月1日発行）

H V〔柳瀬正夢〕	〔表紙・画〕		
K E I〔須山計一〕	〔画〕		
	〔扉〕〔写真〕 サヴェートルシア建設十二周年記念日・クレムリンの空を飛ぶ赤軍飛行隊		
	サヴェートルシヤ建設十二週〔年〕記念日ニュース		〔グラフ〕
	第二回プロレタリア美術展		〔グラフ〕
	高知の漁民騒動と東京市電の争議		〔グラフ〕
	プロレタリアの芝居と講演会		〔グラフ〕
林房雄（須山計一画）	アヂ太プロ吉世界漫遊記 第一回 アメリカの巻（1）	P. 9～21	
〔大月源二〕	〔カット〕	P.22	時事解説
布施辰治	左翼雑誌に対する言論の弾圧	P. 22～25	時事解説
葛木民平	軍縮？ 軍拡？	P. 25～30	時事解説
横浜事務所 工藤勝行	獄窓からの手紙	P. 30～30	
リンクスクリフエの編輯者	独逸から来た手紙	P. 31～31	
エルンスト・トルレル （新島繁訳）	プロレタリアートの日	P. 32～35	詩劇

中林愼太郎	安田善次郎物語――第一回・銀行の開祖となるまで	P. 36～44	
猪野省三	紹介批評 「太陽のない街」	P. 45～45	
村山知義〔同画〕	莫迦の療治	P. 46～55	喜劇
S K〔鈴木賢二〕	〔カット〕	P.56	講座
奈良正路	税金の話	P. 56～69	講座
光成信男	科学物語 近世科学の発生	P. 70～76	講座
	解散された政治結社――明治より現在まで	P. 69～69	
岩松淳	俺達の信念と彼等の新年	P. 78～79	〔漫画〕
鈴木賢二	「お目出度う 今年も相変らず」	P.79	〔漫画〕
中川ナツ子	労働婦人の現状	P. 80～93	婦人欄
松井圭子	人間としてのローザ――ローザ・ルクセンブルグの手紙	P. 80～93	婦人欄
在ベルリン 小川辰雄	ヨーロツパ通信――ブルジョア新聞にのらぬ	P. 94～97	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.94	
	ワルシヤワ労働者の歌	P. 98～99	楽譜
	俺達の字引	P. 100～101	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.100	
秦巳三雄	高知の漁民騒動――底曳網全廃運動	P. 102～108	
山田清三郎	「戦旗」及び戦旗社の活動	P. 109～111	戦旗クラブ
須山計一	闘争の一九三〇年を迎える――ナツプ参加各同盟員の漫画の似顔！	P. 112～113	〔漫画〕
東京 有明一	郵便局の窓口から	P. 114～116	戦列から
朝鮮 山元生	朝鮮だより	P. 116～117	戦列から
門司 一鉄道従業員	ガツチリ腕をくめ	P. 117～117	戦列から
東勝文三	全国参拾万の製糸工女に叫ぶ	P. 117～118	戦列から
三村保雄	新年と新聞配達員	P. 118～119	戦列から
宋闘千、農民の子	読者の編輯室	P. 114～119	
合田綱夫	獄――富造に呉れる詩	P.120	詩
大谷圭三	裏切者に	P.121	詩
坪野哲久	月島の渡場	P.122	短歌

赤石茂	血塗られたただ村の一頁	P.122	短歌
吉田竜次郎	資本家地主のデマに乗るな	P.122	短歌
岡部文夫	奉公袋	P.122	短歌
林田茂雄	ト口縛り	P.123	短歌
田中一郎	土工	P.123	短歌
半田静爾	俺は小作だ	P.123	短歌
北沢孝夫	秋田の小作争議を守れ	P.123	短歌
河津癸	不正工事	P.124	俳句
西八十八	鎌	P.124	俳句
青木宏	俺達 ^(ママ) の嘴鶴	P.124	俳句
永田一脩	新刊紹介 無産階級の画家ゲオルゲ・グロツス	P. 125~125	
藤森成吉 (鈴木賢二画)	急行列車 (一幕二場)	P. 126~134	創作 戯曲
立野信之 (大月賢二画)	情報	P. 135~155	創作 小説
鹿地亘 (橋本錦永画)	動員線 その四	P. 156~179	創作 小説
今東光 (朝野方夫画)	クロンスタツトの春——十一景	P. 180~194	創作 戯曲
解放運動犠牲者救援会本部	同志にまもられて長島君逝く	P. 155~155	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 196~197	

1930年2月号 (第3巻第2号—通巻第22号 1*〔2〕月1日発行) *1=奥付ママ

Meguro〔目黒生〕	〔表紙・画〕		
	モスコウにゐる朝鮮の同志	P. 1~1	〔グラフ〕
	囚れた外国の同志達 未来の俺達の闘士達	P. 2~3	〔グラフ〕
	世界を動かす労働者の力	P. 4~5	〔グラフ〕
	彼等の軍縮会議	P. 6~7	〔グラフ〕
	ピクニックと旅立つ同志藤森	P. 8~8	〔グラフ〕
	〔扉〕		
貴司山治 (朝野方夫画)	忍術武勇伝	P. 10~23	創作 小説

久板栄二郎	労働者ニコニコ劇 トラックのお土産（一幕）	P. 24～50	創作 戯曲
鹿地亘（橋本錦永画）	動員線 その五	P. 52～70	創作 小説
小林多喜二（松山文雄画）	救援ニュースNo.18附録	P. 71～81	創作 小説
	門司浅野セメントの兄弟起つ！	P.50	
^(ママ) 猪務省三	新刊紹介 軍隊病	P. 51～51	
在ベルリン 山本三郎	ヨーロツパ通信 故国の同志 後れをとるな！	P. 82～90	
徳永直	新刊紹介 「明治維新史」附「絶対主義論」	P. 91～91	
森山啓	生き埋め	P. 92～93	詩
北村巖	ダラ幹罪悪史	P. 94～98	
鶴彬 （ふみを〔松山文雄画〕）	プロレタリア川柳	P. 99～99	
岩松淳	失業位が何のその！	P. 100～100	漫画
竹本賢三	弾圧	P. 101～101	漫画
松山文雄	大衆は左へ！	P. 102～102	漫画
関根藤平	豚は豚連れ	P. 103～103	漫画
須山計一	社会民主主義者百態	P. 104～105	漫画
永島一（Jun〔岩松淳画〕）	落語 「家賃値下げ」	P. 106～109	
白須孝輔	北秋田に翻る蓆旗	P. 110～115	
坂井徳三〔大月源二〕	戦闘艦サンドウイツチー—フランス革命後日譚	P. 116～123	
神近市子	婦人団体を警戒せよ	P. 124～131	婦人欄
村上しゆん	女工を組織するには	P. 131～135	婦人欄
中村かつ子	同志ゾヤの手紙	P. 124～127	婦人欄
田木繁	女工小唄集	P. 127～129	婦人欄
スワ 一女工	「製糸工場に働く姉妹へ！兄弟へ！」を読んで	P. 129～130	婦人欄
浅井花子	迫害されつゝある×員の妻より	P. 131～132	婦人欄
九津見房子	獄中の女性から	P. 132～135	婦人欄
根津野次郎吉	売勲、売官、売鉄—昭和疑獄百物語の一節	P. 136～143	

作詩 上野壮夫 作曲 村田信	男の歌	P. 144~145	詩と曲譜
	俺達の字引	P. 146~147	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.146	
S K〔鈴木賢二〕	〔カット〕	P.148	講座
高山洋吉	コミンテルン発達史（一）	P. 148~155	講座
布施辰治	選挙の話ー甘い立候補の勧誘	P. 155~158	講座
松井剛	金解禁の話	P. 159~165	講座
北海道 小林多喜二	総選挙と「我等の山懸」	P. 166~168	戦列から
横浜 秋田晴夫	月賦の傷害扶助料	P. 168~171	戦列から
関東出版労働組合 町田晃	銀座街頭のデモ	P. 171~175	戦列から
李生	朝鮮学生事件	P. 176~178	戦列から
林房雄（須山計一画）	アチ太プロ吉世界漫遊記 第二回 アメリカの巻2	P. 179~193	
Jun〔岩松淳〕	〔カット〕	P.195	戦旗クラブ
中野重治	ヨーロツパからアメリカからナツプおよび戦旗に伸ばされる同志の手	P. 195~197	戦旗クラブ
秋田雨雀	読者の一人としての読者に	P.198	戦旗クラブ
立野信之	「兵士」と「農民」と	P.199	戦旗クラブ
	赤い隅	P. 196~203	
S U S U M U〔五十嵐進〕	〔カット〕	P.200	
武田星郎	労働の姿	P.200	
星川清吉	小作米	P.201	
	短歌	P. 202~202	
寒川涉	檻房の歌	P.203	俳句
北里武	村	P.203	俳句
河津癸	飼犬	P.203	俳句
青木宏	俺達の鶴嘴	P.203	俳句
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 204~205	

1930年2月臨時増刊号* (第3巻第3号—通巻第23号 2月18日発行) —選挙闘争号—

[*本号の扉に「『インターナショナル』『戦旗』『プロレタリア科学』『産業労働時報』『プロ美術』『新興映画』『法律戦線』(協同編輯)と記されている。]

	〔表紙〕		
	〔扉〕		
選挙闘争同盟全国委員会	社会民主主義者をタタキノメシテ俺達の代表を議会に送れ!	P. 4~5	
	俺達の代表者はきまつた!!	P. 6~7	
	総選挙闘争を如何に闘ふか!?	P. 8~13	
	労農党ダラ幹大阪金属より除名さる—選挙で争議軟化を策動して	P.13	
	総選挙闘争のスローガンについて	P. 14~21	
	ブルジョア政党の批判	P. 22~31	
	ブルジョア政党の政策	P. 32~43	
(ふみを〔松山文雄画〕)	〔続き漫画〕	P.33	
	ベルリン市会選挙に共産党の大勝利	P.43	
	資料(一) 一年間の政治経済情勢と階級闘争の新なる前途	P. 44~48	
須山計一	〔漫画〕 大砲かついだ安部・鈴木・麻生・大山のお歴々!	P. 49~49	
	社会民主主義諸党の批判	P. 50~59	
コミンタン西欧事務局 プロフィンタンヨーロツパ書記局	絞×者の腕を抑止せよ	P. 60~63	
	〔写真〕 山本宣治 渡辺政之輔 三田村四郎 鍋山貞親 佐野学 山本懸蔵	P.60	
アルナ	日本に於ける大衆的死刑將に迫る	P. 64~68	
高山洋吉	イギリスに於ける総選挙とイギリス共産党	P. 69~77	
大河原浩	同志南喜一への信頼	P. 78~81	読物
山田清三郎	『清き一票』—ある職場の昼休みで	P. 82~85	読物
小林多喜二	総選挙と「我等の山懸」	P. 85~89	読物
	議員病患者をケトバシた全農千葉県聯理事会	P.78	闘争通信
	××青年労働者の愉快的な座談会 四工場××名集まる	P.79	闘争通信
	裏切者大山をやツツケロ 市電×××車庫の兄弟起つ!	P.80	闘争通信

	果然進展！ 各地の闘争 続々できる地方委員会	P.82	闘争通信
	大活躍の反帝同盟と救援会 社会民主主義者の裏切りを見よ！	P.83	闘争通信
	農民組合の兄弟たちは――かういつて戦つてゐる！	P.84	闘争通信
	大臣ケン蔵演説に三拝九拝 見よ！ 社会民主主義者のシツポのふりぶり	P.86	闘争通信
	地方委員会の活躍 先端を切る東京大阪の労働者	P.88	闘争通信
	全国委員会の猛奮闘 いよいよ白熱化の選挙闘争	P.89	闘争通信
松山文雄	総選挙	P. 90～90	〔漫画〕
大月源二	帝国主義戦争の危機と戦へ！ ―ソヴェートロシアを守れ！	P. 91～91	〔漫画〕
鈴木賢二	ブルジョアの掌に踊るその手先	P. 95～95	〔漫画〕
	総選挙と労働組合全国協議会の任務	P.92	資料（二）
	朝鮮の兄弟を援助しろ！ ―日本反帝同盟書記局の檄	P.94	資料（二）
	編輯後記	P.96	

1930年3月号（第3巻第4号――通巻第24号 3月1日発行）

〔柳瀬正夢〕	〔表紙・画〕		
	〔モスクウのスキー大会で優勝した二婦人労働者〕	P. 1～1	〔グラフ〕
	法廷に立つ前衛と保釈運動に奔走する農民	P. 2～3	〔グラフ〕
	闘争を以て国際婦人デーを記念	P. 4～5	〔グラフ〕
	サヴェートロシア婦人の生活	P. 6～7	〔グラフ〕
	「太陽のない街」の公演	P. 8～8	〔グラフ〕
	〔扉〕 赤い三月	P. 9～9	
橋本英吉（朝野方夫画）	市街戦	P. 10～48	創作
江馬修（大月源二画）	隠れ家	P. 49～60	創作 戯曲
鹿地亘（橋本錦永画）	動員線 その六	P. 61～79	創作
徳永直（岡本唐貴画）	小資本家	P. 80～93	創作
	朝鮮紡績の争議	P.60	
日本プロレタリア音楽同盟	新なプロレタリア音楽運動に参加せよ	P.93	
小川辰雄	ヨーロツパ通信	P. 94～97	インタナショナル通信

和田清	アメリカ通信	P. 97～99	インタナショナル通信
浜口毅	サヴェート通信	P. 100～104	インタナショナル通信
松山正雄	ジョン・リード・クラブに就いて	P. 105～105	
京都 長谷川政男	「飢餓線上の西陣」	P. 106～110	戦列から
高橋政	A君の失敗物語	P. 110～112	戦列から
伯馬光洋	船底の戦ひ	P. 113～115	戦列から
戦旗読者会北九州協議会	戦旗を工場に持こんだ経験	P. 116～117	戦列から
秋田 吉田武	前田村の争議	P.112	〔短歌〕
東京 守屋芳明	デモ	P.112	〔短歌〕
(ママ) 東東 砂島重一	誓ひ	P.115	〔短歌〕
松山文雄	紡績工女と製糸工女と	P. 118～118	〔漫画〕
岩松淳	団結すれば！！	P. 119～119	〔漫画〕
世田良平	農村の姿（1） 餓死か？ 闘争か？	P. 120～125	
野川隆	科学の頁 飛行機の話	P. 126～134	
戦旗編輯局	戦旗通信員の組織について全読者諸君に檄す	P. 135～135	
外山克	特輯（一）パリコンミュウン	P. 136～143	
中島幸子	① 国際無産婦人デー	P. 144～146	婦人欄
山内田鶴子	② モスクワ托児所訪問記	P. 146～150	婦人欄
〔マルクス「フランスに於ける内乱」〕（岡一太訳）	③ パリ・コムミュンと婦人	P. 150～152	婦人欄
大阪 京山あい子	④ 労働婦人の家庭日誌	P. 153～155	婦人欄
神近市子	⑤ 三月八日と婦人労働者	P. 155～157	婦人欄
川口浩	クララ・ツェトキン—少女時代から亡命にいたるまで	P. 158～162	革命家列伝（一）
和田清	特輯（二）ムーニー・ビリング事件	P. 163～167	
	俺たちの字引	P. 168～169	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.168	
井上修吉	プリントの書き方	P. 170～175	

上野壮夫	1 三月	P.176~177	俺達の胸に刻まれた三月!
白須孝輔	2 ×の名に誓ふ	P.177~177	俺達の胸に刻まれた三月!
秦巳三雄	3 残された前衛の家族はどうしてゐるか?	P.178~182	俺達の胸に刻まれた三月!
正木美津子	4 北海道の党員の妻から	P.182~183	俺達の胸に刻まれた三月!
田木繁	三月十五日	P.180	俺達の胸に刻まれた三月!
大阪 徳島一郎	特輯(三)ゼネラルモータースの争議	P.184~189	
山野巖夫	特輯(四)インドに於けるストライキの波	P.190~196	
Jun〔岩松淳〕	〔カット〕	P.197	戦旗クラブ
藤森成吉	旅先からー第一信	P.197~199	戦旗クラブ
山田清三郎	身体を丈夫にして	P.198~199	戦旗クラブ
SUSUMU〔五十嵐進〕	〔カット〕	P.200	詩
××郵便局 大谷東兵	用意はよいか	P.200	詩
島谷耕一郎	トラツクは走る	P.201	詩
	赤い隅	P.200~206	
築豊炭田青年坑夫	築豊炭田に戦旗を持ち込め!	P.202	戦旗の下に
加藤一郎	ゼラネル争議と二三の煽動	P.203	戦旗の下に
S生	新×第一報	P.205	戦旗の下に
戦旗編輯局	編輯ノート	P.206~207	
1930年3月臨時増刊号(第3巻第5号ー一通巻第25号 3月20日発行)			
ー三・一五、四・一六記念号ー			
ふみを〔松山文雄〕	〔表紙・画〕		
	〔扉〕		
	コミンテルン西欧事務局の〇〇×××に関する決議(全文)	P.4~5	
安村孝太郎	三・一五、四・一六の記念に際して	P.6~11	
蔵原惟人	1 三・一五と同盟共産党機関誌	P.12~15	三・一五、四・一六の国際的反響
川口浩	2 三・一五のドイツに於ける反響	P.16~18	三・一五、四・一六の国際的反響
東大吉	3 支那では如何に見、如何に戦つたか?	P.18~21	三・一五、四・一六の国際的反響
小島健治	投票	P.21	

岩松淳	〔無題〕	P.22	〔漫画〕
五十嵐進	〔吾等ノ前衛即時釈放セヨ！ 死刑法絶対反対〕	P.24	〔漫画〕
久板栄二郎	「三・一五」記念労働者余興劇 ×ケン万歳！！（一場）	P. 25～31	
槇本楠郎	詩 さらはれた兄よー残された妹の歌	P. 32～33	
田×△×生	×員の弟のたより 九州の一角から	P. 32～33	
	ドイツ赤色救援会規約（資料その一）	P. 34～35	資料
	アメリカ救援運動（資料その二）	P. 36～36	資料
	国際赤色救援会に関する決議（資料その三）	P. 68～70	資料
〇〇×××中央執行委員会	同志山宣刺殺復讐に関する檄（資料その四）	P. 70～71	資料
	国際赤色救援会の活動	P. 37～43	
	世界各国の赤色救援会の活動	P. 44～46	〔グラフ〕
〔太田慶太郎〕	刑務所にゐる犠牲者に対する救援会の方針	P. 47～49	
〔太田慶太郎〕	救援会はどんなに活動してゐるか？	P. 50～52	
	一九三〇年初頭の感想	P.53	獄窓からの手紙
豊多摩刑務所 佐野学	支那史の研究について	P.54	獄窓からの手紙 論説
市ヶ谷刑務所 徳田球一	日本に於ける農村企業の発展	P.55	獄窓からの手紙 論説
札幌刑務所 森良玄	総選挙について	P.56	獄窓からの手紙 論説
水戸刑務所 山代吉宗、 秋田刑務所 三浦雷太郎	公判闘争へ	P.56	獄窓からの手紙
横浜刑務所 江藤勝行、 豊多摩刑務所 清信清寿、 市ヶ谷刑務所 仁木次郎	牢獄生活所感	P.57	獄窓からの手紙
	同志を憶ふ	P.59	獄窓からの手紙
	感謝と注意	P.65	獄窓からの手紙
	日本共産党事件在監者一覧表	P. 72～82	
松本正雄	アメリカ共産党の活動	P. 84～88	
有馬啓一	一九二九年ベルリンのメーデー	P. 88～91	
函館 光村山之輔	同志はいかにして戦つたか？	P. 84～88	戦列から

福岡 桐谷桐五郎	鉄砲かつぎその他の話	P. 88～91	戦列から
	面会室で息子を励ました同志砂間の母	P.91	
富井照夫	総選挙の結果について	P. 92～101	
	編輯後記	P. 112～112	

1930年4月号（第3巻第6号—通巻第26号 4月1日発行）

	〔表紙・画〕		
	生誕七〇年を迎えたわれらの同志片山潜	P. 1～1	〔グラフ〕
	戦ふ農民の意気を見よ！	P. 2～3	〔グラフ〕
	帝都復興のバケの皮	P. 4～5	〔グラフ〕
	東洋モスのストライキ 三井の山野炭坑労働者諸君 無産者診療所 高知の街頭座	P. 6～6	〔グラフ〕
	ソヴェート同盟の労働者と大学生	P. 8～8	〔グラフ〕
〔大月源二〕	〔扉・画〕		
村岡博	池上電車の争議	P. 10～15	工場から農村から
野々村毅	南葛、南埼玉の戦闘的農民立つ	P. 15～17	工場から農村から
横山芳夫	油断するな、奴等もバカではないぞ！	P. 17～19	工場から農村から
原理充雄	新聞と「シソ」	P. 20～23	工場から農村から
富山合同労働 二上哲 富山紡労ラミー分会 前川進	富山市最初のデモ	P. 23～25	工場から農村から
全国農民組合北聯 畑常雄	蜂須賀の兄弟は闘つてゐるぞ	P. 25～29	工場から農村から
中沢峰雄	惨敗した東洋モスリンの争議	P. 29～34	工場から農村から
戦旗編輯局	通信員組織について全読者諸君に檄す	P. 35～35	
佐藤耕一	「ナツプ」芸術家の新しい任務——××主義芸術の確立へ	P. 36～42	
竹下五郎	モスクワ訪問記	P. 43～51	
森山啓	育て、子供達よ	P. 52～53	詩
浅野純一	ストライキ	P. 54～55	詩
立野信之	「市街戦」について	P. 56～56	

壺井繁治	日本プロレタリア文芸運動史	P. 57～57	
松井圭子	婦人と政治	P. 58～66	婦人欄
信州岡谷にて 山中兆子	製糸女工の唄	P. 62～63	婦人欄
市電車掌 志津子	支那の兄弟に負けないやうに	P. 58～60	婦人欄
大阪 徳本ちか子	夫に感化されて	P. 60～64	婦人欄
友田のぶ子	市電の女車掌をこうして組織しました	P. 64～66	婦人欄
	戦旗防衛三千円基金募集	P. 67～67	
世田良平	農村の姿の2 自由の楽園か？ この世の地獄か？	P. 68～73	
須山計一 松山文雄 合作	〔漫画〕 正にかくの如し	P. 74～75	
小林多喜二	銀行の話	P. 76～84	講座
高木二郎	消費組合の話	P. 85～93	講座
成田梅吉	落語 味田プロ吉選挙闘争記	P. 94～97	
編集部	俺達の字引	P. 98～99	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.98	
	少年戦旗と腕をくめー戦旗全読者諸君に訴へる	P. 100～101	
川口浩	クララ・ツエトキン（承前）ー亡命、帰国、戦争、革命	P. 102～107	革命家列伝（二）
茂森唯士	鋼鉄の指導者スターリンー彼れの生誕五十年記念に際して	P. 108～111	
	各国××党のデモ	P.111	
	戦旗に発禁差押へ頻々として来る！	P. 112～115	
片岡鉄兵（須山計一画）	アヂ太プロ吉世界漫遊記（第三回） イギリスの巻	P. 116～127	
松本正雄	アメリカ資本主義の破綻	P. 128～133	
在米 和田清	セントラリア事件	P. 134～138	
茨城 牧本生	「戦旗」の大衆化について	P.139	戦旗の下に
東京 明野啓次	プリントの書き方を補ふ	P.142	戦旗の下に
大津 野間文雄	帝麻工場閉鎖問題	P.143	戦旗の下に
東京 香山八郎	鉄道従業員に訴へる	P.144	戦旗の下に
東京 東哲二	全国の逋信事務員団結せよ！！	P.145	戦旗の下に
信越 山田耕作	戦旗を読んで	P.147	戦旗の下に

	赤い隅	P.140	
上野壮夫（朝野方夫画）	跳弾	P. 148～167	創作
松田解子（寄元司麟画）	風呂場事件	P. 168～195	創作
鹿地亘（橋本錦永画）	動員線 その七	P. 196～209	創作
高木次郎	「消費組合の話し」追補	P.167	
戦旗編輯局	編輯ノート	P.210	

1930年5月号（第3巻第7号—通巻第27号 5月1日発行）

—二週年記念号—

〔柳瀬正夢〕	〔表紙・画〕		
	〔写真〕 モスコウ、神戸、メキシコ、ニューヨークのメーデー		
	戦ひの五月一日！	P. 1～1	〔グラフ〕
	戦へ戦へ今日こそは俺達の日だ！！		〔グラフ〕
	この日国際プロレタリアートはかくの如く戦ふ		〔グラフ〕
	日に日に進む全国労農少年団の組織		〔グラフ〕
	「土地を農民へ！」のスローガンのもとに	P. 6～7	〔グラフ〕
	全国農民組合第三回大会	P. 8～8	〔グラフ〕
	メーデーの歌		
	〔扉〕		
窪川鶴次郎	千九百三十年のメーデー来る	P. 12～26	
少年戦旗編輯局	少年戦旗をきたへ上ろ	P. 27～27	
鍛冶満夫	暴動化した米子のメーデー	P. 29～32	工場から農村から
東京交通労働組合自動車部第二支部 桂井敏雄	如何にして幹部は除名されたか？	P. 32～36	工場から農村から
滝川誠三郎	産業別単一労働組合を結成せよ！	P. 36～38	工場から農村から
大阪 安藤雄三郎	歯ブラシ工場から	P. 38～39	工場から農村から
森正三	台湾の水利事業とはこんなものだ！	P. 39～44	工場から農村から
全農北聯 畑常雄	血を以つて、毒蜂を倒せと、死力をツクす雨竜争議（第二報）	P. 44～49	工場から農村から
開城 閔生	朝鮮から	P. 49～51	工場から農村から

新潟 田村四郎	血塗られた王番田の小作争議	P. 51～53	工場から農村から
	鐘紡四万の兄弟総罷業に入る	P. 54～57	
戦旗社 戦旗・少年戦旗編輯局	メーデーと共に迎える戦旗の二週年	P. 58～63	
伊藤信吉	燕	P. 64～65	メーデー詩集
橋本正一	メーデーの歌	P. 65～66	メーデー詩集
仙庭康	百万の中の母と子	P. 66～69	メーデー詩集
森山啓	広場でーメーデーの日に	P. 69～70	メーデー詩集
藤野啓次	支那に於ける軍閥戦争	P. 71～84	
デニー	スターリンのパイプ	P.85	〔漫画〕
岩松淳	産業合理化反対	P.85	〔漫画〕
原哲夫	鐘紡罪悪史	P. 86～97	
	俺達の字引	P. 98～99	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.98	
世田良平	農村の姿（3）法廷戦から大衆の威力へ！	P. 100～107	
丘上すみ子	血のメーデーとドイツの婦人	P. 108～111	婦人欄
佐野京子	労働婦人の威力を示せ！	P. 112～116	婦人欄
阿毛（藤枝丈夫訳）	上海の女工の生活状態	P. 117～123	婦人欄
永島一	落語 「頑張れ！ メーデー」	P. 124～129	
岸留史	川柳	P.129	
山田清三郎	山陰を旅して	P. 130～137	
中野重治	一東京埼玉農村少年の活動	P. 137～142	労農少年団訪問記
野川隆	二山梨の全農少年部	P. 142～145	労農少年団訪問記
東京 秋山謙一	婦人欄に就いて	P.146	
片岡鉄兵（須山計一画）	アヂ太プロ吉世界漫遊記（第四回） イギリスの巻（二）	P. 147～164	
	二月号増刊及び三月号の「同志南喜一への信頼」「同志南の家族」の記事訂正について。	P.164	
東京 北村鉄夫	四月号「戦旗の下に」欄 東哲二君に	P.165	戦旗の下に

大津 井田八郎	(ママ) 常〔帝〕麻工場閉鎖後報	P.166	戦旗の下に
横浜 亜地武郎	法廷だより	P.167	戦旗の下に
東京 山川初治	東京第六区エセ無産党社会民主主義者の選挙闘争	P.168	戦旗の下に
中部地方協議会	同志中村義彦は遂に倒れた	P.170	戦旗の下に
戦旗熊本支局	熊本の×××裁判	P.172	戦旗の下に
東京 榛名五郎	杉浦鉄工所争議団を強めろ！	P.173	戦旗の下に
春夢生 山口七郎 一支那の読者 朝鮮の京城の或る戦友より 新潟刑務所 山添直	赤い隅	P. 166~174	
堀田豊	全農第三回大会傍聴記	P. 175~179	
	戦旗防衛基金三千円募集――全支局読者諸君に檄す	P.180	支局の頁
	戦旗三千円基金募集応募者氏名（到着順）	P.182	支局の頁
北日本××号支局委員会	誌代滞納は階級的裏切りだ！！	P.182	支局の頁
東京第××号支局責任者	全読者は読者班へ！戦闘的支局委員会を確立しろ！	P.184	支局の頁
片岡鉄兵 (Jun〔岩松淳画〕)	通信工手	P. 187~199	小説
久板栄二郎（岡本唐貴画）	メーデー用労働者余興劇 去年と今年（5場）	P. 200~214	戯曲
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 216~217	
1930年5月号改訂版（第3巻第8号――通巻第28号 5月10日発行）			
――二週年記念号――			
	グラフ 戦ひの日五月一日	P. 1~1	
	グラフ 日本各地のメーデー	P. 2~3	
	グラフ 世界各地のメーデー	P. 4~5	
	グラフ 土地を農民へのスローガンの下に	P. 6~7	
	グラフ 全農第三回大会	P. 8~8	

窪川鶴次郎	千九百三十年のメーデー来る	P. 12～26	
少年戦旗編輯局	少年戦旗をきたへ上ろ	P. 27～27	
鍛冶満夫	工場から農村から 暴動化した米子のメーデー	P. 28～32	
桂井敏夫	工場から農村から 如何にして幹部は除名されたか	P. 32～36	
瀧川誠三郎	工場から農村から 産業別単一労働組合を結成せよ！	P. 36～38	
安藤雄三郎	工場から農村から 歯ブラシ工場から	P. 38～39	
森正三	工場から農村から 台湾の水利事業とはこんなものだ	P. 39～44	
畑常雄	工場から農村から 血を以て毒蜂倒せと死力をつくす雨龍争議	P. 44～49	
関生	工場から農村から 朝鮮から	P. 49～51	
田村四郎	工場から農村から 血塗られた王番田の小作争議	P. 51～53	
	鐘紡四万の兄弟総罷業に入る	P. 54～57	
	メーデーと共に迎える戦旗の二週年	P. 58～63	
伊藤信吉	メーデー詩集 燕	P. 64～65	
橋本正一	メーデー詩集 メーデーの歌	P. 65～66	
仙庭康	メーデー詩集 百万の中の母と子	P. 66～69	
森山啓	メーデー詩集 広場でメーデーの日に	P. 69～70	
藤野啓次	支那における軍閥戦争	P. 71～84	
岩松淳	漫画	P. 85～85	
原哲夫	鐘紡罪惡史(一)	P. 86～97	
	俺たちの字引	P. 98～99	
世田良平	法廷戦から大衆の威力へ(農村の姿三)	P. 100～107	
丘上すみ子	婦人欄 血のメーデーとドイツの婦人	P. 108～111	
佐野京子	婦人欄 労働者婦人の威力を示せ！	P. 112～116	
阿仁	婦人欄 上海女工の生活状態	P. 117～123	
永島一	落語 頑張れメーデー	P. 124～129	
山田清三郎	山陰を旅して	P. 130～137	
中野重治	労農少年団訪問記 東京埼玉農村少年の活動	P. 137～142	
野川隆	労農少年団訪問記 山梨の全農少年部	P. 142～145	

片岡鉄兵	アヂ太プロ吉世界漫遊記--イギリス篇	P. 147~164	
北村鉄夫	戦旗の下に	P. 165~174	
山口七郎	赤い隅	P. 166~174	
堀田豊	全農第三回大会傍聴記	P. 175~179	
	支局の頁	P. 180~186	
片岡鉄兵	小説 通信工手	P. 187~199	
久板栄二郎	戯曲 去年と今年	P. 200~214	
戦旗編集部	編輯後記	P. 216~217	

1930年6月号（第3巻第9号—通巻第29号 6月1日発行）

〔柳瀬正夢〕	〔表紙・画〕		
	カット〔写真〕東京のメーデー		
	見ろ！ 俺達の威力！！ 来年のメーデーはこの勢を万倍にせよ		〔グラフ〕
	鐘紡のストライキ		〔グラフ〕
	×を以て土地を守る王番田の小作人と耕作を楽しむサヴエートロシアの農民		〔グラフ〕
	〔米国の失業反対の大デモ〕		〔グラフ〕
	〔扉〕	P. 11~11	
	一九三〇年のメーデーは如何に闘はれたか	P. 12~13	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
佐藤益男	東京のメーデー	P.13	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
大阪支局報告	大阪のメーデー	P.18	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
関西第××号支局報告	神戸のメーデー	P.20	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
緒方保	横浜のメーデーに参加する	P.22	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
北日本第××号支局報告	最初のメーデーを如何に闘ったか！	P.24	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
山野秀夫	豊橋のメーデー	P.26	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
北川正彦	和歌山市のメーデー	P.27	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
中部第××号支局報告	新潟のメーデー	P.28	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
	岐阜のメーデー	P.30	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか

中部第××号報告	上田市のメーデー	P.33	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
福井支局報告	福井市のメーデー	P.33	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
	台湾のメーデー	P.35	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか
戦旗社 戦旗編輯局	面目一新せる六月号発行に際して	P. 37～37	
山代吉宗	磐城・入山二大炭坑争議の経験――常磐地方の鉱山運動小史	P. 38～50	
	反帝国主義同盟本部より戦旗社への手紙	P. 51～51	
大月源二	四・一六――メーデー記念 プロレタリア統計展記	P. 52～55	
森山啓	起ち上がる――富山第一ラミー紡績会社の兄弟に贈る	P. 56～58	詩
上田進	横顔	P. 58～60	詩
下川儀太郎	再び立上る日の為に――東京市電の兄弟へ	P. 60～62	詩
東園満智子	おつ母さん――同志富山ラミー紡のH子さんに贈る	P. 62～63	詩
K. H〔橋本錦永〕	〔カット〕	P.56	
世田良平	全国農村の闘争記録断片――農村の姿4	P. 64～69	
	俺達の字引	P. 70～71	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.70	
射水洋一路	合法主義者の非合法運動の失敗 特に議会主義の行詰りについて	P. 72～78	工場から農村から
秋田仙北郡全農支部協議会 北川耕二	仙北郡最初の動員	P. 78～79	工場から農村から
神戸 辻山義雄	船員失業群の増加をどうする	P. 80～82	工場から農村から
千葉 村田正二	戦ふ農民の意気を見よ	P. 83～84	工場から農村から
朝鮮××少年同盟 金光均	日本の兄弟よ	P. 84～86	工場から農村から
石川五郎	上瓦屋の農民遂に立つ	P. 87～90	工場から農村から
	〔漫画・プロフィンテルン第5回世界大会と日本労働組合全国協議会〕	P.90	
山野清	鐘紡争議は何処へ行つたか？	P. 91～99	
東京交通労働組合自動車部第 二支部 北川安夫	再敗した東京市電総罷業	P. 100～107	
	〔漫画・争議のニュース〕	P.100	
上島貞雄	神戸市電の争議	P. 107～109	

ニューヨーク 内山登	前田河の無智をアメリカから暴露する	P. 110～112	海外の同志から
野中武治	ドイツ通信	P. 112～113	海外の同志から
日本プロレタリア美術家同盟合作	〔漫画〕 すべての産業のゼネスト万才！	P. 114～117	
中村栄二 新城信一郎	アヂ太プロ吉消費組合の巻（二場）	P. 118～124	
	少年戦旗は六月号から新聞のかたちになった！ 一部たつた五銭になった！	P.125	
市営自動車 村上幸子	1 私達は今度のストライキから何を学びとつたか？	P. 126～130	婦人欄
川村エイ子	2 農村婦人の戦ひ	P. 130～131	婦人欄
神戸 ゴム工場 山本みつゑ	3 産業合理化による賃銀値下げと闘へ！！	P. 131～132	婦人欄
西うめ子	4 貯金局ニュース	P. 133～134	婦人欄
松井圭子	5 ロシア前衛婦人の活動	P. 134～138	婦人欄
中山耕太郎	メーデーを前に支那労働者は如何に闘つたか？	P. 139～147	
杉本良吉	三月六日ー全世界に捲き起こつた失業者群の示威	P. 148～153	
	支局は戦旗発行のいしづえだ 打続く発禁に対し全国各支局は誌代の完納配布網の強化を以つて答へよ	P.154	支局の頁
	メーデーに新読者獲得に東京大崎支局勇敢に戦ふ	P.155	支局の頁
戦旗深川支局 篤本勉	戦旗は労働者農民の血と肉だ	P.155	支局の頁
	戦旗防衛三千円基金募集〔基金応募者氏名（到着順）〕	P. 158～162	
鹿児島 立花薫	現業委員会を粉碎せよ	P. 163～165	戦旗の下に
間島要	漁村から	P. 165～166	戦旗の下に
御船二郎	発禁には全国的配布網で戦へ	P. 166～169	戦旗の下に
八王子 結城八郎	小学校教員は教員労働者の組織を持たう	P. 169～171	戦旗の下に
朝冬木	福島炭坑へオルグを頼む	P. 171～172	戦旗の下に
金平今吉	丸善の寄宿から	P. 172～173	戦旗の下に
	赤い隅	P. 164～172	
日本プロレタリア作家同盟中央委員会	ブルジョア出版に対する我々の態度はかうでなければならぬ	P. 174～179	
細野孝二郎	貧農組合 前篇	P. 180～198	小説
西沢隆二	鶴見闘争史 はしがき	P. 199～213	小説
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 214～214	

1930年6月号改訂版（第3巻第10号—通巻第30号 6月10日発行*）

〔*表紙には「6月5日発行」と印刷されている。〕

	グラフ	P. 1～10	
	扉	P. 11～11	
	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか	P. 12～36	
	一九三〇年のメーデーは如何に戦はれたか	P. 12～13	
	全国各地に於けるメーデー	P. 13～36	
中村栄二 新城信一郎	アヂ太プロ吉 消費組合の巻	P. 18～36	
	面目一新した六月号発行に際して	P. 37～37	
山代吉宗	磐城入山二大炭坑争議の経験	P. 38～50	
	反帝同盟本部より戦旗社への手紙	P. 51～51	
大月源二	プロレタリア統計展記	P. 52～55	
森山啓	起ち上る(詩)	P. 56～57	
上田進	横顔(詩)	P. 58～60	
下川儀太郎	再び起ち上る日のために(詩)	P. 60～62	
東園満智子	お母さん(詩)	P. 62～63	
世田良平	全国農村の闘争記録断片	P. 64～69	
	俺達の字引	P. 70～71, 36～36	
射水洋一路	合法主義者の非合法運動の失敗特に議会主義の行詰りについて	P. 72～78	
	工場から農村から	P. 72～90	
北川耕二	仙北郡最初の動員	P. 78～79	
辻山義雄	船員失業群の増加をどうする	P. 80～82	
村田正二	戦ふ農民の意気を見よ	P. 83～84	
金光均	日本の兄弟よ	P. 84～86	
石川五郎	上瓦屋の農民遂に立つ	P. 87～90	
山野清	鐘紡争議は何処へ行ったか?	P. 91～99	
北川安夫	再敗した東京市電総罷業	P. 100～107	

上島貞雄	神戸市電の争議	P. 107～109	
山内登	前田河の無智をアメリカから暴露する	P. 110～111	
	海外の同志から	P. 110～113	
野中武治	ドイツ通信	P. 112～113	
日本プロレタリア美術家同盟	漫画 総ての産業のゼネスト万歳	P. 114～117	
村上幸子	私達は今度のストライキから何を学びとつたか？	P. 126～130	
	婦人欄	P. 126～138	
川村エイ子	農村婦人の戦ひ	P. 130～131	
山本みつゑ	産業合理化による賃銀値下げと戦へ	P. 131～132	
西うめ子	貯金局ニュース	P. 133～134	
松井圭子	ロシヤ前衛婦人の活動	P. 134～138	
中山耕太郎	メーデーを前にして支那労働者は如何に戦つたか？	P. 139～147	
杉本良吉	三月六日	P. 148～153	
	支局の頁	P. 154～157	
	戦旗三千円基金募集	P. 158～162	
立花薫	戦旗の下に 現業委員会を粉碎せよ	P. 163～165	
	赤い隅	P. 164～172	
間島要	戦旗の下に 漁村から	P. 165～166	
	戦旗の下に 発禁には全国的配布網で戦へ御船二郎	P. 166～169	
結城八郎	戦旗の下に 小学校教員は教育労働者の組織をもたう	P. 169～171	
朝冬木	戦旗の下に 福島の炭坑へオルグをたのむ	P. 171～172	
金平今吉	戦旗の下に 丸善寄宿舎から	P. 172～173	
日本プロレタリア作家同盟中央委員会	ブルジョア出版に対する我々の態度はかうでなければならぬ	P. 174～179	
細野孝二郎	小説 貧農組合(前篇)	P. 180～198	
西沢隆二	小説 鶴見闘争史	P. 199～213	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 214～214	

	〔表紙・画〕		
	戦ふインドの兄弟		〔グラフ〕
	外国の同志におくれをとるな！		〔グラフ〕
	奴等は露骨に噛みついて来たぞ！		〔グラフ〕
	各地に闘争する兄弟！		〔グラフ〕
	戦旗三千円基金募はかく戦はれた (ママ)		〔グラフ〕
	〔扉〕 〔画〕 失業者は現業員と腕をくんで断然デモ・ストだ！！		
日本プロレタリア美術家同盟合作	〔漫画〕 失業に抗して闘へ！！	P. 10～13	
寺島一夫	失業と失業に対する闘争	P. 14～28	
エフィーモフ	〔漫画〕 「西欧に於ける闘争」	P.14	
高山洋吉	プロフインテルン第五回大会を迎えて	P. 29～34	
世田良平	工場失業群の洪水は農民闘争を斯く激化する――農村の姿五	P. 35～39	
窪川鶴次郎	窓	P. 40～41	詩
森山啓	牢獄の詩――俺達の前衛に捧げる	P. 41～44	詩
久坂栄二郎	片山潜	P. 45～53	革命家列伝（3）
ベルリン 吉本洪	ベルリン、メーデー印象記	P. 54～56	海外の同志から
サンフランシスコ 江渡文雄	アメリカ通信	P. 56～57	海外の同志から
松崎啓次	科学物語 催涙ガスの話	P. 58～61	
関東消費組合	第四回国際消費組合デーを闘へ	P. 61～61	
大竹直次	講座 日本プロレタリアートの戦略に関する問答	P. 62～73	
竹内一美	鐘紡罪悪史を読む	P.73	
安田三郎	戦ひ進む岸紡争議	P. 74～80	工場から農村から
三河島山下工場 木村利一	山下鉛筆工場に俺達も戦つたぞ	P. 81～83	工場から農村から
日本××労働組合××分会 近森敏	全協の旗の下に政治的ゼネストにそなへろ！	P. 83～85	工場から農村から
神戸 浦島光雄	日本海員組合とはこんなものだ	P. 86～90	工場から農村から
大阪 奥野光二	吹田友禅工のストライキ	P. 91～94	工場から農村から

星製薬 古谷訓	星製薬の争議は必ず勝つぞ	P. 94~96, 153~153	工場から農村から
原哲夫	鐘紡罪悪史(二)	P. 97~107	
徐向揚	満洲でのメイ・デイを報ずる	P.107	
	俺達の字引	P. 108~109	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.108	
水島祐二	プロ・キノ「プロレタリア映画の夕」	P. 110~111	
山代吉宗	磐城・入山二大炭坑争議の経験(二)――常磐地方の鉱山運動小史	P. 112~123	
K・K	〔カット〕 ストライキだ!	P.112	
永田春夫、平井一	戦旗防衛講演会をきいて	P.113	
藤枝丈夫	1 支那のソヴェートと婦人	P. 124~132	婦人欄
山浦美子	2 保険局から	P. 132~134	婦人欄
ストーヤ・マルコヴツチ	3 三度投獄三度逃亡――ある婦人革命家の生活から	P. 134~137	婦人欄
東京セルロイド工作所 松田文子	4 今度こそ断然頑張るぞ!	P. 137~139	婦人欄
藤枝丈夫	支那赤衛軍の偉大なる発展	P. 140~153	
東京 平岡吉弥	三度、逋信部内の兄弟へ	P. 155~156	戦旗の下に
千葉 根津男	鴨場を廃止しろ	P. 156~157	戦旗の下に
茨城県麻生町 山田一	霞ヶ浦漁民問題	P. 157~159	戦旗の下に
月島 高木進	俺達も戦ひを開始したぞ	P. 159~160	戦旗の下に
某百貨店労働者	デパートの労働者店員よ即時組合結成へ。	P. 160~162	戦旗の下に
京都 諏訪生	ブルの九官鳥坊主を叩き出せ	P. 162~163	戦旗の下に
金沢 島田秀雄	日鮮労働者の団結	P. 163~165	戦旗の下に
	赤い隅	P.156	
日本プロレタリア作家同盟中央委員会	芸術大衆化に関する決議	P. 166~176	
酒田の一労働者	訂正 「全国農村の断片録」農村の姿4 ――について	P.176	
猪野省三	谷の工場地	P. 177~192	小説
細野孝二郎	貧農組合(前篇の二)	P. 193~218	小説

	戦旗防衛三千円基金募集〔応募者氏名〕	P. 219～224	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 225～225	
1930年7月号改訂版（第3巻第12号—通巻第32号 7月10日発行*）			
〔*裏表紙には「7月1日発行」と印刷されている。〕			
	グラン	P. 1～8	
日本プロレタリア美術家同盟 合作	漫画失業に抗して闘へ！	P. 10～13	
寺島一夫	失業と失業に対する闘争	P. 14～28	
高山洋吉	プロフィンテルン第五回大会を迎えて	P. 29～34	
世田良平	工場失業群の洪水は農民闘争を斯く激化する(農村の姿五)	P. 35～39	
窪川鶴二郎	詩 窓	P. 40～41	
森山啓	詩 牢獄の歌	P. 41～44	
久下栄二郎	片山潜(革命家列伝三)	P. 45～53	
	海外の同志から	P. 54～54	
吉本洪	ベルリンメーデー印象記	P. 54～56	
江渡文雄	アメリカ通信	P. 56～57	
松崎啓次	催涙ガスの話(科学物語)	P. 58～61	
関東消費組合連盟	第四回国際消費組合デーを闘へ	P. 61～61	
□・・・□	日□プ□・・・□の戦略□・・・□	P. 62～	
安田三郎	戦ひ進む岸紡争議	P. 74～81	
	工場から農村から	P. 74～96, 153～153	
木村利一	山下鉛筆工場に俺たちも戦ったぞ	P. 81～83	
近森敏	全協の旗の下に政治的ゼネストに備へよ	P. 83～85	
浦島光雄	日本海員組合とはこんなものだ	P. 86～90	
奥野光二	吹田友禅工のストライキ	P. 91～94	
古谷順	星製薬の争議は必ず勝つぞ	P. 94～96, 153～153	

原哲夫	鐘紡罪惡史(二)	P. 97~107	
	俺達の字引	P. 108~109	
水島祐二	プロ・キノ・「プロレタリア映画の夕」	P. 110~111	
山代吉宗	磐城入山大炭坑争議の経験(二)	P. 112~123	
藤枝丈夫	支那ソヴェートと婦人	P. 124~132	
	婦人欄	P. 124~139	
山浦美子	保険局から	P. 131~134	
ストーヤ・マルコヴツチ	三度投獄、三度逃亡、	P. 134~137	
松田文子	今度は断然頑張るぞ	P. 137~139	
藤枝丈夫	支那赤衛軍の偉大なる発展	P. 140~153	
平吉吉弥	戦旗の下に 三度逋信部内の兄弟へ	P. 155~156	
根津男	戦旗の下に 鴨場を廃止しろ	P. 156~157	
山田一	戦旗の下に 霞ヶ浦漁民問題	P. 157~159	
高木進	戦旗の下に 俺たちも戦ひを開始したぞ	P. 159~160	
某百貨店労働者	戦旗の下に デパートの労働者店員よ即時組合結成へ！	P. 160~162	
諏訪生	戦旗の下に プルの七官鳥坊主を叩き出せ	P. 162~163	
島田秀雄	戦旗の下に 日鮮労働者の団結	P. 163~165	
日本プロレタリア作家同盟中央委員会	芸術大衆化に関する決議	P. 166~176	
猪野省三	小説 谷の工場地	P. 177~192	
細野孝二郎	小説 貧農組合(二)	P. 193~218	
	戦旗三千元基金募集	P. 219~224	
	編輯後記	P. 225~225	

1930年8月号（第3巻第13号—通巻第33号 8月1日発行）

〔朝野方夫〕	〔表紙・画〕		
	ルーマニアの兄弟がデモで王城を襲ふ！！	P.1	〔グラフ〕
	帝国主義の包圍攻撃を蹴飛ばして偉大なる社会主義建設は進む！	P.2	〔グラフ〕
	〔扉〕		

西条勇	「八・一」を前にしての世界情勢	P. 10～15	
木原譲	最近の植民地革命運動	P. 16～22	
	〔漫画〕 お手々つないで	P.22	
長妻健二	国際ブルジョアジーの反ソヴェート活動	P. 23～27	
北岡徹夫	支那革命運動の最近の状勢	P. 28～39	
デニ	〔漫画〕 『ソヴェート政府のために』	P.33	
中山耕太郎	講座 世界的不景気はどうなるか	P. 40～49	
山口五郎	星製薬争議はなぜ敗れたか	P. 50～52	工場から農村から
東京交通労働組合××支部 藤村章	共済組合に巣喰ふダラ幹をおつぱり出せ	P. 52～58	工場から農村から
山田肇	俺達の敵解×派にそなへろ	P. 58～60	工場から農村から
栃木足利 西東発	飢餓と闘争の足利から	P. 60～67	工場から農村から
神戸 深山岩夫	海上ダラ幹の狂奔	P. 67～68	工場から農村から
朝鮮 金光均	殖民地から	P. 69～70	工場から農村から
山梨 高山信造	×を以て土地を守る奥野田の兄弟を勝たせろ	P. 70～73	工場から農村から
ベルリン 浜口出	ドイツ××青年同盟の偉大なる闘争	P. 74～84	海外の同志から
ベルリンで 藤森成吉	毒ガス芸術を！	P. 84～88	海外の同志から
ベルリン 在独日本人左翼グループ	戦旗の諸兄に寄せる	P. 88～91	海外の同志から
ロスアンゼルス 南川照二	「帝国平原」事件	P. 91～93	海外の同志から
アーヴング・S・クライツベルグ (秦巳三雄 上野壮夫 共訳)	帝国平原	P. 94～95	詩
全日本無産者芸術団体協議会 日本プロレタリア作家同盟	労農芸術家聯盟分裂に関する声明	P. 96～97	
英二	八月一日国際反戦デーヲ守レ！	P.98	〔漫画〕
	印度革命を×れ！	P.99	〔漫画〕
	前衛を××しろ！	P.100	〔漫画〕

K. S u y a m a〔須山計一〕	反動的労働組合法と社会民主主義者	P.101	〔漫画〕
	労働者農民の力で戦旗を発行しろ！	P.102	〔漫画〕
北岡徹夫	資本主義の第三期とプロレタリア文学	P. 103～107	
西東なほみち	エスペラントとプロレタリア	P. 108～113	
	〔写真・ソヴェート労働者のラヂオの利用〕	P.113	
	俺たちの字引	P. 114～115	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.114	
南条みち代	1 星製菓の争議で私達は何を知ったか	P. 116～119	婦人欄
アミイ・ハアグリーブ	2 英国の婦人繊維労働者の生活	P. 119～123	婦人欄
××交換局 伊藤十木子	3 私達も立たう	P. 123～126	婦人欄
レネ・オーフェルラツハ	4 愛国社会主義者は婦人をどんな風にダマしてゐるか	P. 126～130	婦人欄
東洋モス××工場 今井スミ子	5 全国の紡績産業の同志に	P. 130～131	婦人欄
伊藤信吉	燃える歌	P.118	婦人欄
石井秀	女子軍の意気	P.122	婦人欄
福岡××支局 今井圭三	少年の組織をわすれるのは階級的うらざりだ	P. 132～138	少年欄
徐白	××主義少年運動を拡大せよ	P. 138～141	少年欄
	各地にピオニールはモリモリ闘つてゐるぞ！	P. 133～141	少年欄
全日本無産者芸術団体協議会	ナツプ機関誌創刊に際して	P. 142～143	
藤吉正夫	第一回「八・一」デーは如何に闘はれたか	P. 144～153	
グロツパ	〔漫画〕	P.153	
ベルリン 野中武治	ドイツ通信	P. 157～157	戦旗の下に
山形支局	農民の意気を見ろ	P. 160～161	戦旗の下に
新潟県今町 坂井耕作組合	全農民第一主義の旗を押立て再び全農へ加入す	P. 161～162	戦旗の下に
中島章	釧路中学校の読書会は如何にして解散したか？	P. 162～164	戦旗の下に
和歌山 中根恒夫	俺達も闘つてゐるぞ！	P. 164～165	戦旗の下に
結城進	暴圧をケツて三重モツプルの組織は進む	P. 166～167	戦旗の下に

大阪 細野寿夫 高知 高木生 K・N生 失名 神田M印刷 片野生 木原赫 千葉 宮森宏二 京都 山田晴雄 下級官吏 大阪 二葉生 東京工廠 柳島民一	赤い隅	P. 158~159	
橋本英吉（〔大月源二〕）	ガス！	P. 168~184	小説
越中谷利一	旗かげ	P. 185~193	小説
窪川いね子	小作人の息子	P. 194~208	小説
	戦旗防衛三千円基金募集〔応募者氏名〕	P. 209~215	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 216~216	
1930年8月号改訂版（第3巻第14号—通巻第34号 8月8日発行*）			
〔*表紙には「8月7日発行」と印刷されている。〕			
	グラフ	P. 1~	
西条勇	「八・一」を前にしての世界情勢	P. 10~15	
木原讓	最近の植民地革命運動	P. 16~22	
長妻健二	国際ブルジョアジイの反ソヴェート活動	P. 23~27	
北岡徹夫	支那革命運動最近の状勢	P. 28~39	
中山耕太郎	講座 世界的不景気はどうなるか？	P. 40~49	
	工場から農村から	P. 50~73	
山口五郎	星争議はなぜ敗れたか	P. 50~52	
藤村章	共済組合に巣喰ふダラ幹を叩出せ	P. 52~58	
山田肇	俺たちの敵×解派にそなへろ	P. 58~60	

西東発	飢餓と闘争の足利から	P. 60~67	
深山岩夫	海上ダラ幹の狂奔	P. 67~68	
金光均	植民地から	P. 69~70	
高山信造	血をもつて土地を守る奥野田の兄弟を勝たせろ	P. 70~72	
浜口出	ドイツ××青年同盟の偉大なる闘争	P. 74~84	
	海外の同志から	P. 74~93	
藤森成吉	毒ガス芸術を！	P. 84~88	
在独日本人グループ	戦旗の同志諸兄に寄せる	P. 88~91	
南川照二	「帝国平原」事件	P. 91~93	
クライツベルク	詩 帝国平原	P. 94~95	
	労働芸術家聯盟分裂に関する声明	P. 96~97	
	時事漫画	P. 98~102	
北岡徹夫	資本主義の第三期と文学	P. 103~107	
西東なほみち	エスペラントとプロレタリア	P. 108~113	
	俺たちの辭引	P. 114~115	
西条みち代	星製薬の争議で私たちは何を知ったか	P. 116~119	
	婦人欄	P. 116~131	
アミー・ハアグリーブ	英国の婦人繊維労働者の生活	P. 119~123	
伊藤十木子	私たちも立たう	P. 123~126	
レネ・オーフェルラツハ	愛国社会主義者は婦人をどんな風にダマしてゐるか	P. 126~130	
今井スミ子	全国の紡績産業の同志に	P. 130~131	
今井圭三	少年の組織を忘れるのは階級的裏切りだぞ	P. 132~138	
	少年欄	P. 132~141	
	各地にピオニールはモリモリ闘つてゐるぞ	P. 133~141	
徐白	××主義少年運動を拡大せよ	P. 138~141	
	ナツプ機関誌創刊に際して	P. 142~143	
藤吉政夫	第一回国際八・一デーは如何に闘はれたか	P. 144~153	
野中武治	ドイツ通信	P. 157~160	

	戦旗の下に	P. 157～167	
	赤い隅	P. 158～167	
山形支局	農民の意気を見ろ	P. 160～161	
坂井耕作組合	全農民第一主義の旗を押立て再び全農へ加入す	P. 161～162	
中島章	訓路中学校の読書会はいかにして解散したか？	P. 162～164	
中根恒夫	俺たちも闘つたぞ	P. 164～165	
結城進	暴圧をケツて三重モツプルの組織はモリ ■進む	P. 166～167	
橋本英吉	小説 ガス！	P. 168～184	
越中谷利一	小説 旗かけ	P. 185～193	
窪川いね子	小説 小作人の息子	P. 194～208	
	防衛三千円基金募集	P. 209～215	
戦旗編輯局	編輯後記	P. 216～216	

1930年9月号（第3巻第15号—通巻第35号 9月1日発行）

〔朝野方夫〕	〔表紙・画〕		
	倦まず怯まず戦ひつゞけるインドの兄弟	P.1	〔グラフ〕
	軍閥戦争反対と帝国主義戦争反対で戦ふ支那の兄弟	P.4	〔グラフ〕
	日毎に高まる争議の波 闘へ！闘へ！闘ふことだけが唯一つ 俺たちに与へられた解放の鍵だ！！	P.6	〔グラフ〕
〔大月源二〕	〔扉・画〕		
日本プロレタリア美術家同盟合作	国際無産青年デーを闘ひ抜け	P.10	〔漫画〕
岩松淳	プロレタリアスポーツから赤色××団へ	P.14	〔漫画〕
鈴木賢二	〔無題〕	P.15	〔漫画〕
高山洋吉	国際青年デーを迎ふ	P. 16～19	
藤野啓次	支那革命の飛躍的進展—赤衛軍の長江進出と対支干渉××の危険	P. 20～30	
高山洋吉	ソヴェート同盟共産党第十六回大会	P. 31～46	
牧島貞夫	講座 国際青年運動の闘争の歴史	P. 48～60	
me	〔カット〕	P.62	工場から農村から

東京日日 丹下昇	東日の争議をきっかけに全新聞産業のゼネストに備へろ！	P. 62～68	工場から農村から
大阪・柏原 米沢仙一	柏原紡績争議団を勝たせろ！	P. 68～71	工場から農村から
鳥取 山田清	労農党は何処へ行つたか	P. 71～74	工場から農村から
沖縄 比嘉亀次郎	沖縄の俺達も闘つたぞ	P. 74～76	工場から農村から
保険分会 山村定夫	保険局情報	P. 76～79	工場から農村から
神戸 深田清之助	俺達の敵社会民主主義者を叩きのめせ！	P. 79～81	工場から農村から
草崎喜七郎	東亜キネマの争議	P. 81～83	工場から農村から
長野須坂町 山代尚生	俺達の所はかうだ	P. 84～86	工場から農村から
大阪・吹田 江口幸太	ゼネストへと戦ひ進む吹田友禅工争議	P. 87～90	工場から農村から
田口哲雄	奥野田争議から何を俺たちは学んだか？	P. 91～94	工場から農村から
岡山浪之助	社会民主主義者を倒せ！――東京鋼板争議ではかうだ。	P. 94～97	工場から農村から
寺島一夫	戦旗社版「失業と失業に対する闘争」	P. 98～100	良書推薦
川内唯彦	プロレタリア科学研究所編「支那問題講話」を推称する	P. 100～102	良書推薦
井上幸次郎	戦旗社版「朝鮮問題」に就て	P. 102～103	良書推薦
三田勝男	希望閣版「佐野学集」一、二巻を手にして	P. 103～105	良書推薦
旗本良子	1 ソヴェート同盟における不休労働週間	P. 106～111	婦人欄
ヴェーラ	2 軍閥ファシスト独裁下の一年	P. 111～115	婦人欄
×鴨撮影所 片山幸子	3 女優部屋から	P. 115～118	婦人欄
関病××東京病院分会 島中みどり	4 全国の病院従業員・看護婦諸姉に訴ふ	P. 119～123	婦人欄
京山あい子	妹よ	P. 108～109	婦人欄
	婦人よなめられるな	P. 116	婦人欄
	俺達の字引	P. 124～125	
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P. 124	
江口渙	大震災とファシズム×の失敗	P. 126～133	
福島鉄	少年組織についての一意見	P. 134～138	青年欄
藤田弘三	青年訓練所にだまされるな	P. 138～141	青年欄
射水洋一路	労働者スポーツ団について	P. 141～146	青年欄

田中健吉	弁天争議団ピオニールは活動してゐるぞ	P.147	各地にピオニールは戦つてゐる！
豊里労農少年団 中山一夫	ピオニールの元気を見ろ！	P.148	各地にピオニールは戦つてゐる！
	大人に負けず戦はうと庄無産少年団の決議	P.149	各地にピオニールは戦つてゐる！
	田辺無産少年団のニュース	P.149	各地にピオニールは戦つてゐる！
伊藤信一	飢餓を越えて	P. 152～154	詩
H・マサカズ	×口は彼らに	P. 154～156	詩
岡田彦造	戦ひ敗れた京成電軌の争議	P. 157～160	戦旗の下に
全農新潟県聯有志団	農民を踏台にするダラ幹を葬れ！	P. 161～162	戦旗の下に
長野 青木生	労農党のダラ幹を葬れ	P. 162～163	戦旗の下に
業平工場 飯岡辰二	産業合理化絶対反対だ！ 大日本自転車業平工場の暴状を見ろ	P. 163～164	戦旗の下に
×軍省×林印刷 小林健造	×軍省構内×林印刷所を叩きつぶせ	P. 164～166	戦旗の下に
満洲 牛田哲二	満洲から	P. 166～167	戦旗の下に
筑豊炭山 一労働者	階級的裏切者水谷長三郎 英雄的労働者のために殴らる	P. 167～168	戦旗の下に
	ソヴェート同盟の仲間から戦旗社への手紙	P.158	赤い隅
	〔その他〕	P.160	赤い隅
山田清三郎（挿絵鈴木賢二）	間際の電報——「出版報国」——風景	P.創1	小説
堀田昇一（挿絵目黒生）	奴隷市場	P. 創作16～創作40	
鹿地亘（挿絵山村一夫）	革命裁判	P. 創作41～創作60	
	戦旗防衛三千円基金募集〔応募者氏名〕	P. 229～232	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 233～233	

1930年9月号改訂版（第3巻第16号——通巻第36号 9月10日発行）

	グラフ	P. 1～8	
	漫画の頁	P. 10～15	
高山洋吉	国際青年デーを迎ふ	P. 16～19	
藤野啓次	支那革命の飛躍的發展	P. 20～30	
高山洋吉	ソヴェート同盟共産党第十六回大会	P. 31～46	
牧島貞夫	講座 国際青年運動の闘争の歴史	P. 48～60	

丹下昇	工場から農村から 東日の争議をきっかけに全新聞産業のゼネ・ストに備へろ	P. 62～68	
米沢仙一	工場から農村から 柏原紡績争議を勝たせろ	P. 68～71	
山田清	工場から農村から 労農党は何処へ行つたか	P. 71～74	
比嘉亀次郎	工場から農村から 沖縄の俺達も戦つたぞ	P. 74～76	
山村定夫	工場から農村から 保険局情報	P. 76～79	
深田清之助	工場から農村から 俺達の敵・社会民主主義者を叩きのめせ	P. 79～81	
草崎喜七郎	工場から農村から 東亜キネマの争議	P. 81～83	
山代尚生	工場から農村から 俺達の所はかうだ	P. 84～86	
江口幸太	工場から農村から ゼネ・ストへと戦ひ進む吹田友禅工争議	P. 87～90	
田口哲雄	工場から農村から 奥野田争議から何を俺達は学んだか	P. 91～94	
岡田浪之助	工場から農村から 社会民主主義者を倒せ！	P. 94～97	
寺島一夫	良書推薦 「失業と失業に対する闘争」	P. 98～100	
川内唯彦	良書推薦 「支那問題講話」を推稱する	P. 100～102	
井上幸次郎	良書推薦 「朝鮮問題」に就て	P. 102～103	
三田勝彦	良書推薦 「佐野学集」一・二巻を手にして	P. 103～105	
旗本良子	婦人欄 ソヴェート同盟における不休労働週間	P. 106～111	
京山あい子	婦人欄 妹よ(詩)	P. 108～109	
ヴェーラ	婦人欄 軍閥・ファシズム独裁下の一年間	P. 111～115	
片岡幸子	婦人欄 女優部屋から	P. 115～118	
島中みどり	婦人欄 全国の病院従業員、看護婦、諸姉妹に訴ふ	P. 119～123	
	俺たちの字引	P. 124～125	
江口渙	大震災とファシズム××の失敗	P. 126～133	
福島鉄	青年欄 少年組織についての一意見	P. 134～138	
藤田弘三	青年欄 青年訓練所にだまされるな	P. 138～141	
射水洋一路	青年欄 労働者スポーツ団について	P. 141～146	
	青年欄 全国にピオニールは戦つてゐるぞ	P. 147～150	
伊藤信一	詩 飢餓を越えて	P. 152～154	
H・マサカズ	詩 ×口は彼らに	P. 154～156	

岡田彦造	戦旗の下に 戦ひ敗れた京成電軌の争議	P. 157~160	
	戦旗の下に	P. 157~168	
小林一郎	赤い隅	P. 158~168	
全農新潟県聯有志団	戦旗の下に 農民を踏台にするダラ幹を葬れ	P. 161~162	
青木生	戦旗の下に 労農党のダラ幹を葬れ	P. 162~163	
飯岡辰二	戦旗の下に 産業合理化絶対反対だ	P. 163~164	
小林健造	戦旗の下に ×軍省構内×林印刷所を叩きつぶせ	P. 164~166	
牛田哲二	戦旗の下に 満洲から	P. 166~167	
一労働者	戦旗の下に 階級的裏切者水谷長三郎英勇的労働者に殴らる	P. 167~168	
山田清三郎	小説 間際の電報	P. 創1~15	
堀田昇一	小説 奴隷市場	P. 創16~40	
鹿地亘	小説 革命裁判	P. 創41~60	
	戦旗防衛三千元基金募集	P. 229~232	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 233~233	

1930年10月号（第3巻第17号—通巻第37号 10月10日発行）

Meguro〔目黒生〕	〔表紙・画〕		
	デモの巨波うなるアメリカ		〔グラフ〕
	見ろ！ 兄弟の意気！〔各地の争議〕		〔グラフ〕
	戦ひの中から新しい組織へ！		〔グラフ〕
	〔扉〕		
射水洋一路	国際的批判と鋭い自己批判	P. 10~17	
野山貞夫	労農党の解消運動とその意義	P. 18~24	
在モスカウ 片山潜	トルキシブ鉄道連絡開通式にコミンテルン代表として出席するの記	P. 25~48	
me	〔カット〕	P.50	工場から農村から
伊藤極	京成電車ストライキ実記	P. 50~56	工場から農村から
交通関西支部 佐藤宏之	鉄道の兄弟よ、頑張らう！	P. 56~59	工場から農村から
村山光夫	日本通信の旗の下に	P. 60~62	工場から農村から

山本竜太郎	資本家の最新の番頭、全協刷新同盟の正体を見ろ！	P. 62～68	工場から農村から
下関 山本哲次	下関印労のゼネスト	P. 68～71	工場から農村から
東京曲木工場 岡田泰助	ダラ幹に売られた俺達の争議はこうだ。	P. 71～75	工場から農村から
川内唯彦	講座 レーニンの解党派批判	P. 76～84	
英	〔漫画〕 下手人蒋介石叩き出さる！	P.84	
鈴木泰助	落成した奴等の組合	P. 85～87	詩
穴戸六郎	母よ！ その日のために	P. 87～89	詩
森山啓	神や仏や坊主共について	P. 90～91	詩
広田雄三	新潟の俺たちの夏季大学	P. 92～95	青年欄
ベルリン 藤田健吉	労農児童第二回世界大会	P. 95～107	青年欄
西本初子	一婦人欄についての一意見	P. 108～117	婦人欄
××係 山田美代子	二保険局から	P. 117～123	婦人欄
×××硝子工場 石井みつ子	三しやくにさはるうちの工場	P. 123～124	婦人欄
旗本良子	めざましいソヴェート同盟の婦人活動	P. 108～120	婦人欄
	エラ・メーの一週忌	P. 120～124	婦人欄
	ブル共を震ひ上らせた八・一赤色デーの戦跡	P. 126～138	
	〔漫画と写真〕 奴等をふつとばせ！	P. 126～139	
広島 野口広一	金一千円也でダラ幹に売られた広島合同運送争議！	P.139	
柁不二夫	シカゴに於ける全国失業者大会	P. 140～164	
C・O・ネルソン	繁栄の都「シカゴ」の街頭に溢れた失業労働者の群	P.140	〔写真〕
労働者カメラ・リーグ	シカゴに於ける失業者大会の白人と黒人の代表者たち	P.144	〔写真〕
労働者カメラ・リーグ	七月三日のワイゼンヘルグの葬式デモ	P.155	〔写真〕
レツド・エリス	七月四日の失業大会に参加せよ！	P.148	〔漫画〕
デーリー・ワーカー所載	仕事を！ しからずんば賃金をよこせ！	P.149	〔漫画〕
デーリー・ワーカー所載	失業委員会に参加せよ！	P.160	〔漫画〕
	資本家の虚言を曝け！ 飢餓と戦へ！	P.161	〔漫画〕
佐野源三	インドの革命運動	P. 165～170	
建築金物商会 三宅菊三	労農党東京金属の正体	P. 171～175	戦旗の下に

茨城県麻生町 山田一	霞ヶ浦漁民の闘争――第二報	P. 175～177	戦旗の下に
吉松郎	大衆・社民のダラ幹をヒネリ潰せ！	P. 177～178	戦旗の下に
広島 ×島×吉	日本化学の兄弟よ！	P. 178～179	戦旗の下に
郵船浅間丸 久方静之助	日本海員組合のダラ幹を葬れ！	P. 179～180	戦旗の下に
三枝春吉	海上からの通信	P. 180～182	戦旗の下に
	赤い隅	P. 172～182	
堀田昇一	奴隸市場（その二）	P. 創1～創26	小説
鹿地亘	革命裁判（その二）	P. 創27～創41	小説
	戦旗防衛三千元基金募集	P. 226～229	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 230～230	

1930年11月号（第3巻第18号――通巻第38号 11月1日発行）

	〔表紙〕		
	〔扉〕		
	東洋モス争議ニュース		〔グラフ〕
	九州郡築の小作争議		〔グラフ〕
	平壤ゴム工場争議ニュース		〔グラフ〕
高山洋吉	ロシア革命十三週年を迎ふ	P. 12～15	
佐々元十	映画物語 ジンギスカンの後裔――アジアの嵐	P. 16～25	
在モスコウ 片山潜	タタール共和国十年祭――祭典の印象	P. 26～35	
me	〔カット〕	P.36	工場から農村から
和田雉郎	京モス争議でダラ幹は何をしたか？	P. 36～39	工場から農村から
長野県須坂町製糸工場 黒金雨子	こんどは断然たゝかふぞ	P. 39～41	工場から農村から
山内晴夫	伊東屋の争議	P. 41～42	工場から農村から
大阪金属 鷲塚京一郎	全国労働幹部の反動性	P. 42～47	工場から農村から
平壤 韓鉄鎬	平壤ゴムのゼネスト	P. 48～54	工場から農村から
	〔続き漫画〕 地主ぶつつぶせ	P. 37～37	

〇記者	洋モスの兄妹再び起つ	P. 55～61	
貴司山治	十三年前の十一月七日	P. 62～71	
	ドイツ総選挙に於て共産党勝つ	P. 72～74	国際ニュース
	ハンガリアの失業闘争 首都にバリケード築かる	P. 74～74	国際ニュース
	武装自衛軍 東支鉄道を占領す	P. 75～75, 111～111	国際ニュース
日本労働組合全国協議会中央 常任委員会	十一月七日ロシア革命記念闘争に関する指令（第一号）	P.76	資料欄
全協・日本繊維労働組合本部 常任委員会	組合名変更に関する声明書	P.78	資料欄
村上元次	モスクウまで行つて赤恥かいた南一派	P. 79～83	
貴司山治 (K i b e [木部正行画])	公判闘争事実小説 波	P. 84～98	
堀田昇一 (挿絵安藤良三)	自由労働者の闘争 奴隷市場 (その三)	P. 99～111	
小出民声	ソヴェート同盟の食糧問題	P. 112～116	
山岸六郎	ソヴェート同盟の神様退治	P. 116～118	
秦巳三雄 (ママ) (挿画鈴木賢三〔二〕)	少女ファティマ	P. 119～131	
松本広	共産党公判見聞記	P.132	戦旗の下に
関東×××組合労農党员	裏切り者大山一統を葬れ！！ 労農党を即時解消しろ！！	P.135	戦旗の下に
三田川四郎	ダラ助の正体を見よ！	P.138	戦旗の下に
三重 広田幸夫	三重の国際青年デー	P.139	戦旗の下に
康海島	反動的宗教団体をぶち壊せー 「俺達の地方ではかうだ」	P.141	戦旗の下に
	赤い隅	P.133	

出版 山本英吉、交通 花輪 幸夫、交通 中島恵子 竹下 五郎、松本三郎、秋田雨雀、 本社記者	労働者を中心にしたソヴェート同盟に関する座談会	P.143～163	
	戦旗防衛基金応募者氏名（九月十八日ー十月十九日）	P.164	
戦旗編輯局	編輯ノート	P.165	

1930年11月号改訂版（第3巻第19号ー通巻第39号 11月1日発行*）

〔*表紙には「11月19日発行」と印刷されている。〕

	グラフ	P.5～11	
高山洋吉	ロシア革命十三週年を迎ふ	P.12～15	
佐々元十	映画物語 ジングスカンの後裔	P.16～25	
片山潜	タタール共和国十年祭	P.26～35	
	工場から農村から	P.36～54	
和田雉郎	京モス争議でダラ幹は何をしたか！	P.36～39	
	地主ふつとばせ(漫画)	P.37～37	
黒金雨子	こんどは断然たゝかふぞ	P.39～41	
山内晴夫	伊東屋の争議	P.41～42	
鷺塚京一郎	全国労働幹部の反動性	P.42～47	
韓鉄鎬	平壤ゴムのゼネスト	P.48～54	
	洋モスの兄弟再び起つ	P.55～61	
貴司山治	十三年前の十一月七日	P.62～71	
	国際ニース ドイツの総選挙	P.72～74	
	国際ニース ハンガリーの失業闘争	P.74～74	
	国際ニース 東支鉄道再び襲撃さる	P.75～75	
村上元次	モスコウまで行って赤恥かいた南一派	P.79～83	
貴司山治	波 公判闘争 事貴小説	P.84～98	
堀田昇一	奴隷市場 自由労働組合の闘争	P.99～111	
小出民声	ソヴェート同盟の食糧問題	P.112～116	

山岸六郎	ソヴェート同盟の神様退治	P.116～118	
秦巳三雄	少女ファティマ ロシアのピオニールの物語	P.119～131	
	戦旗の下に	P.132～142	
花輪幸夫 中島恵子 山本英吉 竹下五郎 松本三郎 秋田雨雀	労働者を中心としたソヴェート同盟 座談会	P.143～163	

1930年11月臨時増刊号（11月10日発行）

――ロシア革命13周年記念――

	〔表紙〕		
	レーニンの道の上にソヴェート同盟は前進する	P. 2～3	
窪川鶴次郎	革命十三周年を記念するソヴェート同盟	P.2	
	ソヴェート同盟に於る労働者農民の生活	P. 4～5	
	ソヴェート同盟を×れ！	P. 6～7	
	支那ソヴェート勢力分布図	P.8	

1930年12月号（第3巻第20号――通巻第40号 12月8日発行*）

〔*表紙には「12月18日発行」と印刷されている。〕

	〔表紙〕		
戦旗編輯局	〔巻頭言〕 戦旗十二月号の発行に際して		
	南窓・河原林の兄弟起つ		〔グラフ〕
	洋モス争議ニュース		〔グラフ〕
	ニュース		〔グラフ〕
	〔扉〕 〔写真 モスコ―赤の広場とレーニン廟〕		
萩原貞一、自由 吉本鉄、金属 大隅巖、金属 山口勇夫、紡績 豊田徳次郎、上野 壮夫	首切り・失業をケツ飛ばせ――失業反対座談会	P. 10～31	
田中铁三	プロフインテルン第五回大会の意義	P. 32～34	
窪川鶴次郎	労農党解消運動の近況	P. 35～40	

秦已三雄（挿絵鈴木賢二）	少女ファティマ(2)	P. 41～49	
	同志山代のおつ母さん	P. 49～49	
高山洋吉	恐慌の一年間――労働者はどう戦ったか？	P. 50～61	
	〔写真と漫画〕 失業と闘はう！	P. 51～51	
足利 朝倉明子	織物工場から	P. 62～65	工場から農村から
河田広三郎	日本海員組合ダラ幹のやり口を見ろ！！	P. 65～66	工場から農村から
石井強	団平争議の報告	P. 66～71	工場から農村から
全農奈良県聯 近藤計一	嵐の中の再建万歳！	P. 71～73	工場から農村から
洋モス 三工場 佐々木よし子、四工場 池田君子	〔洋モス後報〕 組合同盟の幹部は官憲とグルだ！	P. 74～78	
杉村五郎	台湾の暴動	P. 79～83	
	獄窓閑話	P.83	
在ベルリン 三上やよひ	ドイツ婦人の選挙闘争	P. 84～87	
KH生	白テロに抗しろ！	P.87	
	ドイツ総選挙に於て共産党勝つ（後報）	P. 88～92	国際ニュース
	ソヴェート同盟内の反革命組織曝かる	P. 92～94	国際ニュース
	〔写真――ソ同盟赤軍の大演習 フランス炭坑労働者のデモ ニューヨークの失業反対デモ ドイツ金属労働者のゼネスト炭坑爆発〕	P.88	国際ニュース
	赤い隅――読者の論壇	P. 95～99	
戦旗社全員会議	戦旗社ブツ潰しの陰謀に就いて全労農大衆の革命的批判に訴ふ！ ――田村、北村除名に関する声明	P.100	
戦旗社委員会	奴等のデマを一蹴せよ！	P.102	
戦旗社委員会	声明	P.104	
〔全日本無産者芸術団体協議会ほか五団体〕	戦旗社破壊の陰謀に対し我々の態度を声明す	P.104	
東京地方局聯委員会	戦旗防衛五千円基金募集に応じろ！	P.105	
第二無産者新聞 無産青年	声明書	P.107	

全協日本センギ労働組合本部 常任委員会	戦旗へのメッセーヂ	P.107	
伊藤信吉	戦ひの前に	P. 1～3	詩
森一（挿絵朝野方夫）	工場実話小説 首切り反対だ！	P. 4～12	
堀田昇一（挿絵木部正行）	自由労働者の闘争 奴隷市場（終篇）	P. 13～28	
	戦旗防衛五千円基金募集の全国的カムパに応じろ！〔応募者氏名〕	P.29	
戦旗編輯局	編輯ノート	P. 30～30	

1931年1月号（第4巻第1号——通巻第41号 1月1日発行*）

〔*表紙には「1月10日発行」と印刷されている。〕

〔柳瀬正夢〕	〔表紙・画〕		
	ドイツの首都ベルリンに開かれた赤色スポーツ祭		〔グラフ〕
	〔ナツプの活動から〕		〔グラフ〕
	〔全農磯野支部の同志たち 朝鮮××党員公判の傍聴者たち〕		〔グラフ〕
	〔扉〕		
西沢隆二	レーニンの年譜から	P. 10～12	
江口渙 田辺耕一郎	カール・リープクネヒトとローザ・ルクセンブルグの最後	P. 13～23	
中条百合子	正月とソヴェート勤労婦人	P. 25～31	
窪川鶴次郎 橋本英吉 西沢隆二 田辺耕一郎 貴司山治合作	アヂ太プロ吉失業闘争記	P. 32～50	
倉紡マス工場女工 山本花子	倉敷紡績万寿工場のストライキ	P. 51～61	
松山文雄	踊るワ、喚くワ、ダラ幹祭りだ	P.52	〔漫画〕
	起て、市電一万五千の兄弟	P.53	〔漫画〕
吉田明（松山文雄画）	対市共同闘争従業員大会の傍聴記	P. 62～65	
橋本英吉	職場と街頭	P. 66～76	
朝鮮××党日本総局被告一同	戦旗を通じて全国の労働者農民諸君に送る	P.76	
北野秀雄	無産者病院とブル病院（一）	P. 77～81	
黒島伝治	入営する青年たちは何をなすべきか	P. 82～85	

梶不二男〔夫〕 <small>(ママ)</small>	スポーツ団も労働者のものにしろ！	P. 86～91	
徳永直	同志×村の遺作	P. 92～98	
貴司山治 (松山文雄画)	バス車掌七百人	P. 100～111	
	各国の兄弟たちはロロシア記念日をいかに戦つたか	P. 112～114	海外の同志に後れをとるな
	ドイツ金属労働者のゼネスト	P. 114～116	海外の同志に後れをとるな
産業労働調査所	声明書	P.116	
江馬修〔大月源二画〕	印度革命の話 十七人の兵士――三場	P. 117～130	
Jun〔岩松淳〕	〔カット〕	P.131	赤い隅
岡山 ×××	俺たちは「戦旗」をアクまで守る	P.131	赤い隅
福岡 ××××介	デマにはだまされないぞ！	P.132	赤い隅
東京 ×××操	戦旗社の同志・俺たちを迷はせないでくれ！	P.132	赤い隅
名古屋 ×××市	僅かだが基金にしてくれ	P.132	赤い隅
長野 ××元×	裏切者をのさばらすとは何だ！	P.132	赤い隅
熊本 ××	実戦で彼等を粉碎しろ！	P.133	赤い隅
新潟読者会 K生	奴等はスパイだ犬だ！	P.133	赤い隅
×田×	進め！ 進め！	P.133	赤い隅
×猛	裏切者を列外へ一蹴しやう！	P.134	赤い隅
兵庫××一	スパイ退治だ！	P.134	赤い隅
第二×××新聞無産青年	声明書	P.135	
全協日本センギ労働組合本部 常任委員会	戦旗へのメツセーヂ	P.135	
戦旗社	戦旗横取り陰謀事件の真相に就いて	P. 136～142	
プロレタリア科学研究所中央委員会	『戦旗』分裂策動に対する声明書	P.143	裏切者の策動を粉碎しろ！
日本プロレタリア・エスペラ 〔ン〕テイスト書記局	声明書	P.143	裏切者の策動を粉碎しろ！
東京地方局聯中央委員会	戦旗ボルセヴィキ化に就て策動分子の陰謀を粉碎しろ！	P.144	裏切者の策動を粉碎しろ！
中部支局学生委員会	戦旗ブツ潰しの陰謀にダマされるな！	P.145	裏切者の策動を粉碎しろ！

×の×××支局	田村北村一派をテツテー的に粉碎しろ！	P.145	裏切者の策動を粉碎しろ！
関西××号	激レイ文	P.146	裏切者の策動を粉碎しろ！
東京××号	決ギ	P.146	裏切者の策動を粉碎しろ！
×の×××号	声明書	P.146	裏切者の策動を粉碎しろ！
戦旗×××支局委員会	声明書	P.147	裏切者の策動を粉碎しろ！
戦旗×××支局	刷同の陰謀を叩きのめし戦旗を死守せよ！	P.148	裏切者の策動を粉碎しろ！
戦旗社	戦旗防衛五千円基金募集に込ぜよ！〔応募者氏名〕	P. 150～151	
	編輯ノート	P. 152～152	

1931年2月号（第4巻第2号—通巻第43号 2月1日発行）

	〔表紙〕		
	失業者は世界中に二千五百万人！！		〔グラフ〕
	まさにかくの如し！！		〔グラフ〕
	資本主義国家の恐慌、失業をよそに、着々建設の歩みをすゝめるソヴェート同盟		〔グラフ〕
〔大月源二〕	〔扉・画〕		
豊島昇	『第五十九議会』のバケの皮—オレ達はこいつと如何に闘ふべきか	P. 10～19	
金属工 中野清吉	不景気は労働者の頭上へ落ちかゝる！	P. 22～33	
^(ママ) 中条首〔百〕合子	なぜソヴェート同盟に失業がないか？	P. 23～30	
小出啓三	「工場の兄弟と腕を組んで失首クビ切をケトバセ！	P.33	〔漫画〕
松山文雄	〔失業防止委員会・・・〕	P.34	〔漫画〕
志賀三郎	岡山最初のピオニール『闘争ニュース』二三	P. 36～43	工場から農村から
神戸 山本一郎	兵神ゴムのピストル事件の真相—赤色××団を作れ！	P. 43～46	工場から農村から
小杉哲三	逋友同志会のダラ幹振りを見ろ	P. 46～49	工場から農村から
×号機関助手	俺達国鉄従業員の奴隸的生活を見てくれ！	P. 49～54	工場から農村から
山岡坦述（荒木平造画）	プロレタリア武道	P. 56～73	
	〔漫画〕 戦争準備のための産業合理化絶対反対！	P.73	

新城信一郎	プロ裁判	P. 74～87	
那賀川畔太	ソヴェート同盟××にそなへる日本の飛行機	P. 88～95	
	支那 中国ソヴェート第一回全国代表大会	P.96	国際欄
	荒れ狂う白テロを蹴つて！	P.100	国際欄
	ドイツ ルール地方の炭田の兄弟起つ！	P.101	国際欄
	イギリス 南ウエルス炭田の兄弟も起つ！	P.102	国際欄
	アメリカ 外国生れの共産党員の送還	P.103	国際欄
	インド 正月早々ボムベイ市外は血に染まる	P.105	国際欄
	ポーランド 白テロと戦ふ西ウクライナの兄弟	P.105	国際欄
	ソヴェート同盟 鮮銀事件の真相 『産業党』の陰謀	P.109	国際欄
	オーストラリア 組合官僚を蹴つて着々闘争へ！	P.116	国際欄
	〔写真〕 一路、ソヴェート支那××へ！ 支那の兄弟は戦いつづけてゐるぞ！	P.96	国際欄
	ソヴェート同盟の農民生活 ヴアルガの共同農場	P. 101～115	国際欄
在ベルリン 三上やよひ	ドイツ勤労婦人全国大会	P. 115～119	国際欄
黒島伝治	国境	P. 120～132	小説
堀田昇一	建国祭をたゞきつぶぜ！	P. 134～135	壁小説
窪川いね子（光子〔画〕）	食堂のめし	P. 136～137	壁小説
貴司山治（光子〔画〕）	バス車掌七百人	P. 139～146	小説
〔ナウモフ〕（新城信一郎 冬木道夫 共訳）	ロシア十月革命物語り 血の十月	P. 147～160	
	赤い隅	P.162	
	東京戦旗城東支局の活動	P.162	支局の頁
	戦旗大阪中央支局	P.163	支局の頁
	にの五×号支局のレポ	P.165	支局の頁
	資本家地主は何故『戦旗』をつぶさうとするか	P. 167～170	
ドイツ・プロレタリア作家同盟 秘書 ルードウキヒ・レン	ドイツ	P.171	抗議〔『戦旗』「並びに×××員」 に対する日本当局の×圧に対し〕

中国代表 蕭三	支那	P.172	抗議〔『戦旗』「並びに×××員」に対する日本当局の×圧に対し〕
作家と芸術家のデヨン・リード・クラブ	アメリカ	P.172	抗議〔『戦旗』「並びに×××員」に対する日本当局の×圧に対し〕
ハロルド・ヘスロプ・エリス	イギリス	P.173	抗議〔『戦旗』「並びに×××員」に対する日本当局の×圧に対し〕
	戦旗五千円基金募集に込ぜよ！	P.174~179	
	〔応募者氏名〕	P.179	
戦旗編輯局	編輯ノート	P.180~180	

1931年2月号改訂版* (第4巻第3号—通巻第44号 2月20日発行)

*詳細不明。出典の『戦旗 別巻(資料編)』には、書誌情報のみが記されている。

1931年3・4月合併号 (第4巻第4号—通巻第45号 3月25日発行*)

—白色テロル反対号— 〔*表紙には「3月29日発行」と印刷されている。〕

	〔表紙〕		
	〔各地の小作・労働争議〕		〔グラフ〕
	白テロに抗して		〔グラフ〕
	〔戦旗防衛講演会〕		〔グラフ〕
	〔扉〕		
	一九一九年三月一日	P.10	〔漫画〕 三月の暦
	一九一九年三月四日	P.11	〔漫画〕 三月の暦
F. M〔松山文雄〕	一九二九年三月五日	P.12	〔漫画〕 三月の暦
	一八七一年三月十八日	P.13	〔漫画〕 三月の暦
Meguro〔目黒生〕	失業反対デー	P.14	〔漫画〕 三月の暦
Meguro〔目黒生〕	〔カット〕	P.16	講座
松村五郎	コミンテルンの話	P.16	講座

	〔漫画〕 ロシアと日本	P. 26～27	
牧山清	ロシア三月××	P. 28～35	三月革命物語
佐々木孝丸	パリ・コンミュン	P. 36～41	三月革命物語
一海員	三、一闘争記念に際して浦潮での見聞記	P. 42～45	
貴司山治（光子〔画〕）	バス車掌七百人（三）	P. 46～55	
	プロ川柳	P. 56～56	
〔青木恵一郎〕	小作争議の戦術	P. 57～67	講座
	卑劣極まる三月二日三日の本社襲撃に就て――戦旗ブツブシのあらゆる奸策に対し全読者は大衆抗議でこたえろ！――	P. 68～70	
北島敬	山宣の思ひ出――山宣遭難記念京都労働者農民大会記	P. 71～73	
	世界各国に於ける失業闘争の波	P. 74～81	〔国際欄〕
	〔写真〕 世界各国の兄弟は戦つてゐるぞ！	P. 74～81	〔国際欄〕
	××帝国主義のため支那の兄弟三千名は焼×された！	P.81	〔国際欄〕
戦旗東京地方支局联合会	三月本社白テロについて	P. 82～83	支局の頁
戦旗堺支局	俺等はかうして支局を再建してゐる	P. 83～85	支局の頁
戦旗大牟田支局	どうして読者を獲得するか	P. 86～87	支局の頁
戦旗神戸支局	工場農村欄の復活異議なしだ！	P. 88～88	支局の頁
戦旗高田支局	文戦劇場の本質暴露	P. 82～83	支局の頁
東京城南支局 大津投	読書会の持ち方について	P. 83～85	支局の頁
局聯 城東支局委員会	抗議！	P. 85～88	支局の頁
ナウモフ （新城信一郎 冬木道夫 共訳）	ロシア十月革命物語 血の十月〔二〕	P. 89～106	
	ビラ・ニュース用プロレタリアカツト集 第五輯	P. 108～109	
堀田昇一	ダラ幹をたたき出せ！	P. 110～111	〔壁小説〕
佐藤嶽夫	職場大会万歳！	P. 112～113	〔壁小説〕
山岡坦述（荒木平造画）	プロレタリア闘争術 2	P. 114～133	
	戦旗防衛基金発表について――今月は基金の発表が出来ない。	P.137	
	三・一五、四・一六と前衛	P. 138～139	

戦旗編輯局	編輯ノートー戦旗は嵐をついて進む！！	P. 140～141	
1931年5月号（〔第4巻第5号ー一通巻第46号〕 5月1日発行*）			
ーメーデー戦旗三周年記念特輯号ー 〔*表紙には「4月30日発行」と印刷されている。〕			
Ken〔鈴木賢二〕	〔表紙・画〕		
	メーデーを前に戦ひの手はのびる		〔グラフ〕
	〔扉・巻頭言〕メーデーを迎ふ		
	戦旗発刊三周年に際して	P. 6～10	
	戦旗の財政的危機に際して全支局の読者諸君に訴ふ	P. 6～10	
	犠牲者山田清三郎の釈放を要求しろ！	P. 11～11	敵の攻撃は益々猛烈だぞ！ー大衆抗議で発行停止の危機と戦へ！
中川三郎	メーデーを前にして	P. 12～29	メーデー特輯
	デモとストライキで戦つた一九三〇年の世界のメーデー	P. 30～34	メーデー特輯
	日本に於けるメーデー	P. 35～38	メーデー特輯
鈴木小兵衛	豊多摩にて	P. 29～29	
岡山 一労働者	三、一五の岡山に於ける前衛の一人西原は白テロにやられたぞ！	P. 38～38	前衛ノ話
	通信・原稿募集	P. 39～39	
吉村光夫	国鉄教習所はどんな所か？	P. 40～43	工場・農村・職場から
零不二子	東京市立中野療養所争議について	P. 44～45	工場・農村・職場から
長野幸次	社会時評 ソヴェート通商代表狙撃事件	P. 46～51	
	文化時評 ハリコフでひらかれた国際革命文学局総会	P. 46～51	
布施辰治	静岡地方の犠牲者の家族及救援同志に対する挨拶	P. 46～53	犠牲者に対する法律的救援
〔須山計一〕	連続漫画 鉄ちゃん(一)	P. 47～50	
橋本英吉	壁小説 社会ファシスト	P. 52～53	
	ソヴェート同盟	P.54	国際ニュース
	中国 蒋介石の攻撃に対する中国ソヴェート赤軍の逆襲	P.57	国際ニュース
	国際失業反対デー	P.59	国際ニュース
	漫画とニュース	P.54	
〔青木恵一郎〕	小作争議戦術(第二回)	P. 60～65	

深見はるの	全農第四回大会傍聴記	P. 66～67	
徳永直 (Ken〔鈴木賢二画〕)	メーデーまで	P. 68～80	小説
	文化時評 「春」	P.80	
東京地方戦旗×××××	一步退却より二歩前進へ！	P.81	支局の頁
×京学生×××	読者倍加闘争を闘ひ抜かう！	P.82	支局の頁
城東浅草下谷×××	ニュースの使命！！――白テロをケトばして読者倍加へ！	P.82	支局の頁
大阪×田×吉投	一、支局の頁、東京城南支局同志大津の意見の批判	P.83	支局の頁
戦旗大阪中央支局	ナツプについて	P.84	支局の頁
	赤い隅	P.81	
〔反帝同盟青年部〕日本委員会	アツピール	P. 86～86	
〔戦旗社ほか三団体〕	国際×帝国主義展覧会を支持せよ！！	P. 87～87	
	戦旗防衛 五千円基金募集カンパニヤを七月三十一日まで延長して戦はう！〔基金応募者発表（一月二十三日ヨリ四月八日マデ）〕	P. 89～89	
	ソヴェート同盟通商代表アニケーエフ君暗殺未遂事件に抗議す	P. 93～93	
	編輯ノート	P. 93～93	

1931年新5月号（第4巻第6号――通巻第47号 5月21日発行）

――メーデー★戦旗三周年記念号――

	〔表紙〕		
	戦旗発刊三周年に際して	P.3	
	犠牲者山田清三郎の釈放を要求しろ！	P.5	敵の攻撃は益々猛烈だぞ！――大衆抗議で発行停止の危機と戦へ！
	日本に於けるメーデーの歴史	P.6	
	デモとストライキで戦つた一九三〇年の世界のメーデー	P.8	
	ソヴェート同盟 反ソヴェート戦線漸く拡大す	P.11	国際ニュース
	中国 蒋介石の攻撃に対する中国ソヴェート赤軍の逆襲	P.12	国際ニュース
	漫画ニュース	P.11	
〔青木恵一郎〕	小作争議戦術(第二回)	P.13	

〔反帝同盟青年部〕 日本委員会	アツピール	P.16	
〔戦旗社ほか三団体〕	国際×帝国主義展覧会を支持せよ	P.16	
深見はるの	全農第四回大会傍聴記	P.17	
〔須山計一〕	連続漫画 鉄ちゃん(一)	P.17	
中野重治	根	P.20	〔壁小説〕
橋本英吉	社会ファシスト	P.21	〔壁小説〕
	戦旗の財政的危機に際して全支局の読者諸君に訴ふ	P.22	
	基金応募者発表――一月二十三日ヨリ四月八日マデ	P.22	
戦旗編輯局	編輯ノート	P.25	

1931年6・7月合併号（第4巻第7号――通巻第48号 7月1日発行）

	〔表紙〕 〔写真 ソヴェート・ロシア赤軍の兵士〕		
	〔写真〕 大阪天王寺公会堂の戦旗防衛大講演会 藤田満雄作『銅像』的一幕		
	反ソヴェート戦線とソヴェート同盟		〔グラフ〕
	〔彼等是用意してゐる〕		〔グラフ〕
	〔今年のメーデー〕		〔グラフ〕
〔鈴木賢二〕	〔扉〕 〔画 三・一五事件の指導者佐野学氏〕		
須井一	特別読物 三・一五事件挿話	P.10	
中山耕太郎	八・一デーが来る	P.24	
鈴木賢二	〔漫画〕 プロとブル	P.26	
	スペイン王朝の滅亡	P.27	
三輪けい子	戦旗行進曲	P.30	第一回予選発表「戦旗行進局」応募歌
塙保一	戦旗小唄	P.30	第一回予選発表「戦旗行進局」応募歌
秋山三郎	戦旗ぶし	P.31	第一回予選発表「戦旗行進局」応募歌
小川壬生男	戦旗行進曲	P.32	第一回予選発表「戦旗行進局」応募歌
	アメリカ青年労働代表の赤軍代表記	P.34	
	大震災に襲はれたサヴェート同盟の兄弟を救へ！	P.38	

小川信一	共産党の公判が来る！ 第四次日本共産党事件の記事解禁 減俸と労働者 煙突男・もぐら男・ハンスト！	P.39	社会時評
中山耕太郎	支那赤衛軍はどうしてゐるか	P.46	社会時評
須山計一	連続漫画 鉄ちやん (第二回)	P.39	
	世界のメーデー	P.39	
	日本のメーデー	P.41	
	報告漫画	P.44	
大宅壮一	文化時評 労働組合と反宗教闘争	P.48	
	赤い隅	P.48	
宮竹蹴吉	俺達のスポーツ	P.55	
壺井繁治	俺達の本 是非読まねばならぬ二つの本に就いて	P.58	
篠田謹	貧農の生活を聞いてくれ	P.60	工場農村職場から
北村悦二	郵便局から	P.61	工場農村職場から
一炭坑労働者	(ママ) を達も組織を持たう！	P.61	工場農村職場から
中越製布工場 鳥山ミチ	朝から夜中まで	P.62	工場農村職場から
豊多摩刑務所 程島武夫	獄中の同志から	P.63	
	〔写真〕 アメリカ黒人に加へられたリンチ	P.64	海外の同志から
バンクーバー 無産青年同盟	戦旗社並に勇敢なる同志諸君！	P.64	海外の同志から
学生七百五十人の国際突撃隊	親愛なる同志諸君！	P.64	海外の同志から
ハリコフ、ウクライナ 地理科大学学生	親愛なる同志諸君！働く兄弟諸君！	P.65	海外の同志から
××支局委員	「戦旗発行三週年に際して」の論文に対する意見 〔解答〕	P.66	支局の頁
東京地方局レン中央委員会	××支局の任務についての一意見	P.67	支局の頁
中野重治	ルンペンのこと	P.68	
	〔写真〕 アメリカ黒人党員の演説	P.68	
	フーヴァの二十ヶ年計画	P.70	
	俺達の言葉	P.73	

戦旗社	戦旗社出版部の発展的回復へ	P.74	
山村彦太郎	プロレタリアートと坊主	P.75	
	報告漫画	P.76	
小林多喜二	プロレタリアの修身	P.78	壁小説二篇
立野信之	「罰」の逃げる話	P.80	壁小説二篇
安瀬利郎 (Ken [鈴木賢二画])	爆発(一)	P.82	
	全支局の読者諸君に送る檄!	P.96	
	基金応募者発表――四月九日より六月十八日までの分	P.97	
	報告漫画	P.98	
戦旗編輯局	編輯ノート	P.99	

1931年原9月号* (第4巻第8号――9月17日発行)

[*この号は発行前に押収された。巻号・発行日は扉および奥付によった。]

	[サヴェート・ドイツ・国内闘争の状況]		[グラフ]
	[扉]		
戦旗社	狂暴なる白色テロルに抗して戦旗八・九月合併号をおくる	P.2	
	××青年同盟の歌	P.4	
窪川鶴次郎	国際青年デーに参加しよう	P.5	
松村作治	×よ! 指令を	P.8	詩
金竜濟	鮮血の思出――九月一日のために	P.10	詩
山本忠平	二人の子持ちになつた労働者のお母あに送る	P.12	詩
佐野嶽夫	青年の歌	P.13	詩
壺井繁治	青年運動の指導者 カール・リープクネヒト	P.15	われらの偉人(1) (ドイツ)
島崎俊夫	今年の八・一デーはどう戦はれたか?	P.17	
滝田貞蔵	選挙の話――来るべき府県会議員選挙について	P.19	
細迫兼光	三党合同の現在について	P.21	
荒川耕作	全農青年部から	P.21	
	戦旗社の新しい任務	P.24	

矢島昇一	公判廷に戦ふわれらの輝ける前衛	P.32	
朝野方夫画	〔絵物語〕 赤軍は何故強いのか？	P.36	
深沢巻吉	労働者この頃の衛生	P.39	
××工場赤色スポーツ団 吉田虎太	おれたちのからだをきたへろ	P.43	
中条百合子	サヴェート労働者の夏休み	P.44	
久板栄二郎	公判廷に於けるオヤヂープロレタリア掛合噺	P.47	
	俺達の言葉	P.55	
谷村捷三	万宝山問題と軍政改革について。フーヴァー・モラトリアム。	P.56	社会時評
豊多摩刑務所ニテ 山×清×郎	獄窓から	P.59	
中野重治	プロレタリア作家の国際組織とブルジョア作家の国際組織 文化団体協議会の話	P.60	文化時評
須山計一	連続漫画 鉄ちゃん（第三回）	P.62	
小林多喜二	俺達の本 読ませたい本と読みたい本	P.66	
反宗教闘争同盟準備会書記局	反宗教闘争同盟準備会に対する官憲の暴圧について全国の労働者農民大衆に訴ふ	P.67	
〔『プロ・エス通信』〕 エス・パピリオフ	サヴェート同盟青年労働者からの通信	P.68	
	サヴェート中央黒土地方の共同農場員、農業労働者、小農、中農が自分の過去の生活と現在の生活について書いた手紙	P.69	
エミール、ルツクス	ドイツ 農業労働者の生活に関する手紙	P.73	海外の同志から
〔ドイツの同志よりの手紙〕	親愛なる日本の兄弟！	P.73	海外の同志から
バンクーバー市青年同盟	アメリカ 浅原、木村を排撃	P.74	海外の同志から
一船員	スペイン・モロツコ 自由・平等の宣言	P.75	海外の同志から
三人の青年××党员	中国サヴェート 赤軍の兄弟よ！来れ！俺達は武器を捨てて待つ！	P.75	海外の同志から
北芝一夫	左翼文化団体の共同で「戦旗の夕べ」を闘ふ、	P.76	

	新しい方針の実践へ！ 日本プロレタリア作家同盟	P.79	最近における各文化団体の活動情勢報告
	日本プロレタリア劇場同盟	P.81	最近における各文化団体の活動情勢報告
	日本プロレタリア美術家同盟（P・Pの活動）	P.83	最近における各文化団体の活動情勢報告
	日本プロレタリア映画同盟〔プロキノ〕の活動	P.84	最近における各文化団体の活動情勢報告
	ポエムとその活動 日本プロレタリア・エスペランティスト同盟	P.86	最近における各文化団体の活動情勢報告
	「反宗闘争同盟準備会」は八・一カンパを如何に戦つたか 反宗闘争同盟準備会東京府联合会	P.87	最近における各文化団体の活動情勢報告
	プロレタリア科学研究所の活動	P.88	最近における各文化団体の活動情勢報告
	最近に於ける産業労働調査所の活動	P.90	最近における各文化団体の活動情勢報告
	新興教育研究所の任務並びに最近の活動について	P.90	最近における各文化団体の活動情勢報告
梶不二夫	海外に於ける労働者の文化問題	P.79	
国際××作家同盟書記局 ベラ・イレシ	労農芸術家聯盟（文戦）に対する国際××作家の回答	P.94	
山口生	戦旗の夕べを持ちたい	P.96	工場農村職場から
埼玉 青年生	青年と小使ひ銭	P.96	工場農村職場から
篠田謹	あくまで闘ふぞ	P.97	工場農村職場から
金子金太	樺太木材労働者から	P.97	工場農村職場から
下関 森川貞一	防空演習	P.98	工場農村職場から
大阪 青木隆夫	商店従業員に働きかけろ	P.98	工場農村職場から
突貫生	プチブルをかつとばせ	P.99	工場農村職場から

宇都宮 大×××	生活記録	P.100	工場農村職場から
木曾 ×木生	誌上を通じて	P.101	工場農村職場から
PP作品	〔漫画〕 戦争と労働者農民	P.102	
堺支局 高××一	新読者の資格条件	P.103	支局の頁
ムサシノ支局編輯係	投書に就いて	P.103	支局の頁
台湾 T・R支局	本社の財政を	P.104	支局の頁
戦旗社編輯局	戦旗に対する要求の暫定的決算報告	P.105	支局の頁
	諸者から	P.106	
	〔写真〕 プロレタリア的な娯楽を持つ赤軍の兵士達	P.106	
	基金募集発表ー六月十九日ヨリ八月二十日マデ	P.109	
徳永直	壁小説（1）帝国主義デマ	P.112	
小林多喜二	壁小説（2）争はれない事実	P.114	
加賀信一	壁小説（3）『救援船レーニン号』	P.116	
貴司山治	用意はいいか	P.121	
編輯局	編輯ノート	P.131	

1931年9月号（第4巻第8号ー一通巻第49号 9月17日発行）

	〔表紙〕		
エミール、ルツクス	ドイツ 農業労働者の生活に関する手紙	*	海外の同志から
〔ドイツの同志よりの手紙〕	親愛なる日本の兄弟！	*	海外の同志から
バンクーバー市青年同盟	アメリカ 浅原、木村を排撃	*	海外の同志から
一船員	スペイン・モロツコ 自由・平等の宣言	*	海外の同志から
	俺達の言葉	*	
朝野方夫画	〔絵物語〕 赤軍は何故強いのか？	*	
徳永直	壁小説（1）帝国主義デマ	*	
小林多喜二	壁小説（2）争はれない事実	*	
壺井繁治	青年運動の指導者 カール・リープクネヒト	*	われらの偉人（1）（ドイツ）
矢島昇一	公判廷に戦ふわれらの輝ける前衛	*	

滝田貞蔵	選挙の話――来るべき府県会議員選挙について	*	
松村作治	×よ！指令を	*	詩
金竜濟	鮮血の思出――九月一日のために	*	詩
山本忠平	二人の子持ちになつた労働者のお母あに送る	*	詩
細迫兼光	三党合同の現在について	*	
荒川耕作	全農青年部から	*	
中野重治	プロレタリア作家の国際組織とブルジョア作家の国際組織 文化団体協議会の話	*	文化時評
須山計一	連続漫画 鉄ちやん（第三回）	*	
小林多喜二	俺達の本 読ませたい本と読みたい本	*	
戦旗社	狂暴なる白色テロルに抗して戦旗八・九月合併号をおくる	*	
石川浩三	戦旗社の新しい任務	*	
山口生	戦旗の夕べを持ちたい	*	工場農村職場から
埼玉 青年生	青年と小使ひ銭	*	工場農村職場から
篠田謹	あくまで闘ふぞ	*	工場農村職場から
金子金太	樺太木材労働者から	*	工場農村職場から
北芝一夫	左翼文化団体の共同で「戦旗の夕べ」を闘ふ	*	

*ノンブル（ページ番号）無し。祖父江昭二「『戦旗』復刻版改題」（『戦旗 別巻(資料編)』）では、原9月号が「印刷が終わり製本のりづけも終わって、表紙をつける直前にそれは製本所から押収され」、「しかし印刷所にあるその紙型または鉛板の押収は免れたか、あるいは部分的な被害にとどまった」が、これまでのように「改訂版を出すことが経済的に不可能だった」ため、「残された紙型あるいは鉛版などを利用しつつも、内容を縮小した九月号を作った」と推測している。

1931年11月号（第4巻第9号――11月7日発行）

――ロシア革命記念特別号――

	ロシア革命第十四週年記念日来る	P.1	
山野鷺吉	ロシア革命の国際的意義はどこにあるか？	P.1	
姉川茂安	モスクウよ！――第十四週年記念日に	P.1	
	革命家小伝（1）レーニン	P.1	
	革命家小伝（2）スターリン	P.1	
	革命家小伝（3）セン・片山	P.1	

	〔写真〕 俺達の兄弟	P.2	
中条百合子	ロシアの過去を物語る革命博物館を観る	P.2	
貴司山治	資本家や地主はどこへ行つたか？	P.2	
K E I〔須山計一〕	〔漫画〕 ソヴェートロシア五ヶ年計画	P.2	
N・ルボフ	サヴェート同盟赤軍将校よりの手紙〔『プロ・エス通信』〕	P.2	
小檜山五郎	満蒙問題を中心とした最近の中国事情	P.3	
	〔画 五ヶ年計画とレーニン〕	P.3	
	プラウダの漫画	P.3	
黒島伝治	奉天市街を歩く	P.4	
一読者	記念日に際して	P.4	赤い隅
横川一雄	ある貧農のうたつた詩	P.4	赤い隅
滋賀県 藤山勇	牢獄につながつた同志へ	P.4	赤い隅
	文盲退治 国費教育費三十四億留！	P.4	
	サヴェート同盟の労農通信員	P.4	

1931年12月終刊号（第4巻第10号――12月30日発行）

戦旗社	戦旗社の解体に際して檄す！	P.1	
	日本プロレタリア文化聯盟の任務（草案）	P.1	
中田正三	戦旗支局の発展的転化	P.2	
	日本プロレタリア文化聯盟規約草案	P.3	
戦旗社	社告	P.3	
川俣三四郎	満蒙問題と戦争	P.4	

『婦人戦旗』5月創刊号*（1931年5月1日発行）

〔*表紙には「戦旗五月号臨時増刊」と印刷されている。〕

	発刊の言葉	P.1	
山村とし子	婦人よ進め	P.2	
	メーデー歌	P.2	
中条百合子	ひとつとではない――ソヴェート勤労婦人の現状	P.3	

省線K 駅出札掛 木下ふじ子	自動発売機に劣る出札掛の生活	P.4	工場農村職場から
尼ヶ崎日本紡織布 田山あや子	日本紡のストライキで私達は始めて知った	P.5	工場農村職場から
貴司山治	チューリップ	P.6	
山中兆子	製糸女工の唄	P.8	
松山文雄	〔漫画〕 一本にかたまつた腕の力	P.8	
婦人戦旗社編輯局	編輯ノート	P.8	
三・一五 四・一六公判闘争のために（1931年7月28日発行）			
〔九左翼文化団体共同編輯・戦旗社発行*〕 〔*扉「巻頭言」の下部に印刷されている。〕			
〔大月源二〕	〔表紙・画 階級裁判絶対反対〕		
日本赤色救援会	公判闘争特別基金五千円募集！！		
〔戦旗社ほか七団体**〕 〔**扉「巻頭言」の署名団体名には、「日本プロレタリア・エスペランティスト同盟」が脱落しているので一団体少なくなっている。〕	〔扉・巻頭言〕 公判闘争のために		
	〔グラフ・渡政のおつ母さん 前衛の検束 共産党公判の傍聴者〕		
松山文雄	〔漫画〕 裁かれるのはどつちだ？		
	公判闘争のために	P.4	
目黒生	〔漫画〕 キヤツラの総動員	P.13	
	共産党員の公判に対する抗議	P.14	
	同志藤沼瞭一の歌	P.15, 18, 31, 43, 51, 73	
	日本労働組合全国協議会を守れ	P.16	
	前衛の活動	P.19	
豊多摩 田中清玄	何よりも組織	P.32	獄中だより
豊多摩 鍋山貞親	議会について	P.32	獄中だより
市ヶ谷 唐沢清八	日本帝国主義の侵略性	P.32	獄中だより

豊多摩 高橋貞樹	獄中読書について	P.33	獄中だより
豊多摩 鈴木小兵衛	ロシア語を学ぶ	P.33	獄中だより
豊多摩 中尾勝男	同志の面かけ	P.33	獄中だより
横浜 阿部作蔵	吾々も頑丈だ	P.34	獄中だより
市ヶ谷 市川正一	断じて戦ふ？	P.34	獄中だより
	モツプルの活動〔同志佐野学氏・中尾勝男氏を訪ふ〕	P.35	
	治安維持法について	P.38	
	日本赤色救援会の活動	P.44	
	国際赤色救援会（モツプル）の活動	P.48	
徳永直	三羽烏最後の一人『渡政』	P.52	
須山計一	〔漫画〕 公判闘争を工場から職場から	P.55	
久板栄二郎	オヤヂ万歳！！（三景）――公判闘争準備のピクニック余興劇	P.56	
小林多喜二	飴玉闘争	P.69	